

基本計画書

基 本 計 画								
事 項	記 入 欄						備 考	
計 画 の 区 分	大学の収容定員に係る学則変更							
フ リ ガ ナ 設 置 者	ガッコウホウジン チバケイアイガクエン 学校法人 千葉敬愛学園							
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	ケイアイダイガク 敬 愛 大 学 (Keiai University)							
大 学 本 部 の 位 置	千葉県千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号							
大 学 の 目 的	敬愛大学は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施すことで文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。							
新設学部等の目的	経済学部経済学科、経営学科における教育研究組織や教育研究内容及び教育研究環境などの整備状況を踏まえたうえで、受験生からの進学需要及び地域社会からの人材需要の高い専門分野における養成規模の充実を図ることにより、地域社会へのさらなる貢献を目指すこととし、入学者選抜の機能が低下しない範囲で、経済学部経済学科並びに経営学科の収容定員変更を行うこととした。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	経済学部 【Faculty of Economics】 経済学科 【Department of Economics】	4	130 (115)	2年次 1 3年次 1	525 (465)	学 士 (経済学) 【Bachelor of Economics】	令和6年4月 第1年次	千葉県千葉市 稲毛区穴川 1丁目5番21号
	経営学科 【Department of Business Administration】	4	130 (110)	2年次 1 3年次 1	525 (445)	学 士 (経営学) 【Bachelor of Business Administration】	令和6年4月 第1年次	同 上
	国際学部 【Faculty of International Studies】 国際学科 【International Studies】	4	98	2年次 1 3年次 1	397	学 士 (国際学) 【Bachelor of Arts in International Studies】	平成9年4月 第1年次 平成10年4月 第2年次 平成11年4月 第3年次	同 上

	こども教育学科 【Department of Children's Education】	4	「0」	2年次「0」 3年次「0」	「0」	学 士 (こども教育学) 【Bachelor of Arts in Children's Education】	平成23年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 平成25年4月 第3年次	同 上	※令和3年度より学生募集停止(第1年次) ※令和4年度より編入学生募集停止(第2年次) ※令和5年度より編入学生募集停止(第3年次)
	教育学部 【Faculty of Education】 こども教育学科 【Department of Child Education】	4	72	2年次 1 3年次 1	293	学 士 (教育学) 【Bachelor of Education】	令和3年4月 第1年次 令和4年4月 第2年次 令和5年4月 第3年次	同 上	
	計		430 (395)	2年次 4 3年次 4	1740 (1600)				
	同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	○令和6年4月 千葉敬愛短期大学の名称変更予定 千葉敬愛短期大学 → 敬愛短期大学 ○令和6年4月 千葉敬愛短期大学の位置変更予定 千葉県佐倉市山王1丁目9番地 → 千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設分	経済学部 経済学科	12 (12)	3 (2)	1 (1)	0 (0)	16 (15)	0 (0)	97 (97)
		経営学科	10 (10)	5 (3)	1 (1)	0 (0)	16 (14)	0 (0)	91 (91)
		国際学部 国際学科	12 (12)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	55 (55)
		教育学部 こども教育学科	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	43 (43)
		計	43 (43)	16 (13)	3 (3)	0 (0)	62 (59)	0 (0)	— (—)
	既設分	「なし」	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合 計		43 (43)	16 (13)	3 (3)	0 (0)	62 (59)	0 (0)	— (—)

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計		
	事 務 職 員		50 人 (50)	10 人 (10)	60 人 (60)		
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	図 書 館 専 門 職 員		3 (3)	0 (0)	3 (3)		
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計		53 (53)	10 (10)	63 (63)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地 ・稲毛キャンパス (25,987.00㎡) 千葉敬愛短期大学 (必要面積3,000㎡)と共用 (収容定員300人) 敬愛学園高等学校 (必要面積8,400㎡)と共用 (収容定員1371人)	
	校 舎 敷 地	0 ㎡	30,148.95 ㎡	0 ㎡	30,148.95 ㎡		
	運 動 場 用 地	24,724.56 ㎡	30,559.00 ㎡	0 ㎡	55,283.56 ㎡	運動場用地 ・稲毛キャンパス (7,965.00㎡) 千葉敬愛短期大学、敬愛学 園高等学校と共用	
	小 計	24,724.56 ㎡	60,707.95 ㎡	0 ㎡	85,432.51 ㎡	・萩台グラウンド (22,594.00㎡) 千葉敬愛短期大学、敬愛学 園高等学校と共用	
	そ の 他	2,990.44 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,990.44 ㎡	千葉県高校校地面積基準 運動場の面積 8,400㎡以上、校地等の基準 は無い。	
	合 計	27,715.00 ㎡	60,707.95 ㎡	0 ㎡	88,422.95 ㎡		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	千葉敬愛短期大学 (必要面積 2,850㎡) (収容定員300人)	
		9,331.02 ㎡ (9,331.02 ㎡)	9,423.40 ㎡ (9,423.40 ㎡)	3,269.91 ㎡ (3,269.91 ㎡)	22,024.33 ㎡ (22,024.33 ㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	29 室	23 室	4 室	13 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)		
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
		大学全体		67 室			
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
	大学全体	80,000 [4,000] (119,019 [28,810])	25,800 [25,600] (26,108 [25,829])	25,700 [25,600] (25,673 [25,612])	7,800 (7,756)	1,538 (1,538)	0 (0)
	計	80,000 [4,000] (119,019 [28,810])	25,800 [25,600] (26,108 [25,829])	25,700 [25,600] (25,673 [25,612])	7,800 (7,756)	1,538 (1,538)	0 (0)
図書館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		
	1,1341.74 ㎡		324		90,000		
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	3,931.11 ㎡		テニスコート場 3面		野球場 1面		

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には電子ジャーナル・データベース整備費用(運用コスト含む)を含む	
		教員1人当り研究費等			350千円	350千円	350千円	350千円	—千円		—千円
		共同研究費等			11,900千円	11,900千円	11,900千円	11,900千円	—千円		—千円
		図書購入費	17,100千円	17,100千円	17,100千円	17,100千円	17,100千円	—千円	—千円		
	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円			
学生納付金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	経済学部	1,280千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	—千円	—千円				
	国際学部	1,280千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	—千円	—千円				
	教育学部	1,300千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、付随事業収入、手数料収入他								
既設大学等の状況	大学の名称	敬愛大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員充足率	開設年度	所在地		
	経済学部	年	人	年次人	人		倍		千葉県千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号		
	経済学科	4	115	2年次1	465	学士(経済学)	1.11 1.12	昭和41年度			
	経営学科	4	110	2年次1 3年次1	445	学士(経営学)	1.11	平成25年度			
	国際学部										
	国際学科	4	98	2年次1 3年次1	397	学士(国際学)	1.09	平成9年度			
こども教育学科	4	「—」	2年次「—」 3年次「—」	「—」	学士(こども教育学)	「—」	平成23年度		※令和3年より学生募集停止(こども育学科第1年次) ※令和4年より学生募集停止(こども育学科第2年次) ※令和5年より学生募集停止(こども育学科第3年次)		
教育学部											
こども教育学科	4	72	2年次1 3年次1	219	学士(教育学)	1.02	令和3年度		※令和3年4月届出により設置		
大学の名称	千葉敬愛短期大学										
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
現代子ども学科	年	人	年次人	人		倍		千葉県佐倉市山王1丁目9番			
	2	150	—	300	短期大学士(教育学)	0.92	昭和25年度		※令和3年度入学定員減(△50人)		
附属施設の概要	該当なし										

学校法人千葉敬愛学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由	
敬愛大学				敬愛大学					
経済学部				経済学部					
		(2年次)	(3年次)			(2年次)	(3年次)		
経済学科	115	1	1	465	経済学科	<u>130</u>	1	1	<u>525</u>
経営学科	110	1	1	445	経営学科	<u>130</u>	1	1	<u>525</u>
計	225	2	2	910	計	<u>260</u>	2	2	<u>1050</u>
国際学部				国際学部					
		(2年次)	(3年次)			(2年次)	(3年次)		
国際学科	98	1	1	397	国際学科	98	1	1	397
計	98	1	1	397	計	98	1	1	397
教育学部				教育学部					
		(2年次)	(3年次)			(2年次)	(3年次)		
こども教育学科	72	1	1	293	こども教育学科	72	1	1	293
計	72	1	1	293	計	72	1	1	<u>293</u>
大学合計	395	4	4	1600	大学合計	<u>430</u>	4	4	<u>1740</u>
千葉敬愛短期大学				敬愛短期大学				名称変更 (令和5年度 届出予定)	
現代子ども学科	150	—	300	現代子ども学科	150	—	300		
計	150	—	300	計	150	—	300		

(1) 都道府県内における位置関係の図面



- 1.(1)都道府県内における位置関係の図面 1ページ
- 2.出典:ENEOSホールディングス株式会社
- 3.引用:https://eneos-ss.com/search/touyu/pc/kenmap.php?f_code=12
- 4.千葉県の図表の稲毛区部分に矢印と地名を追記。

稲毛区内における位置関係の図面



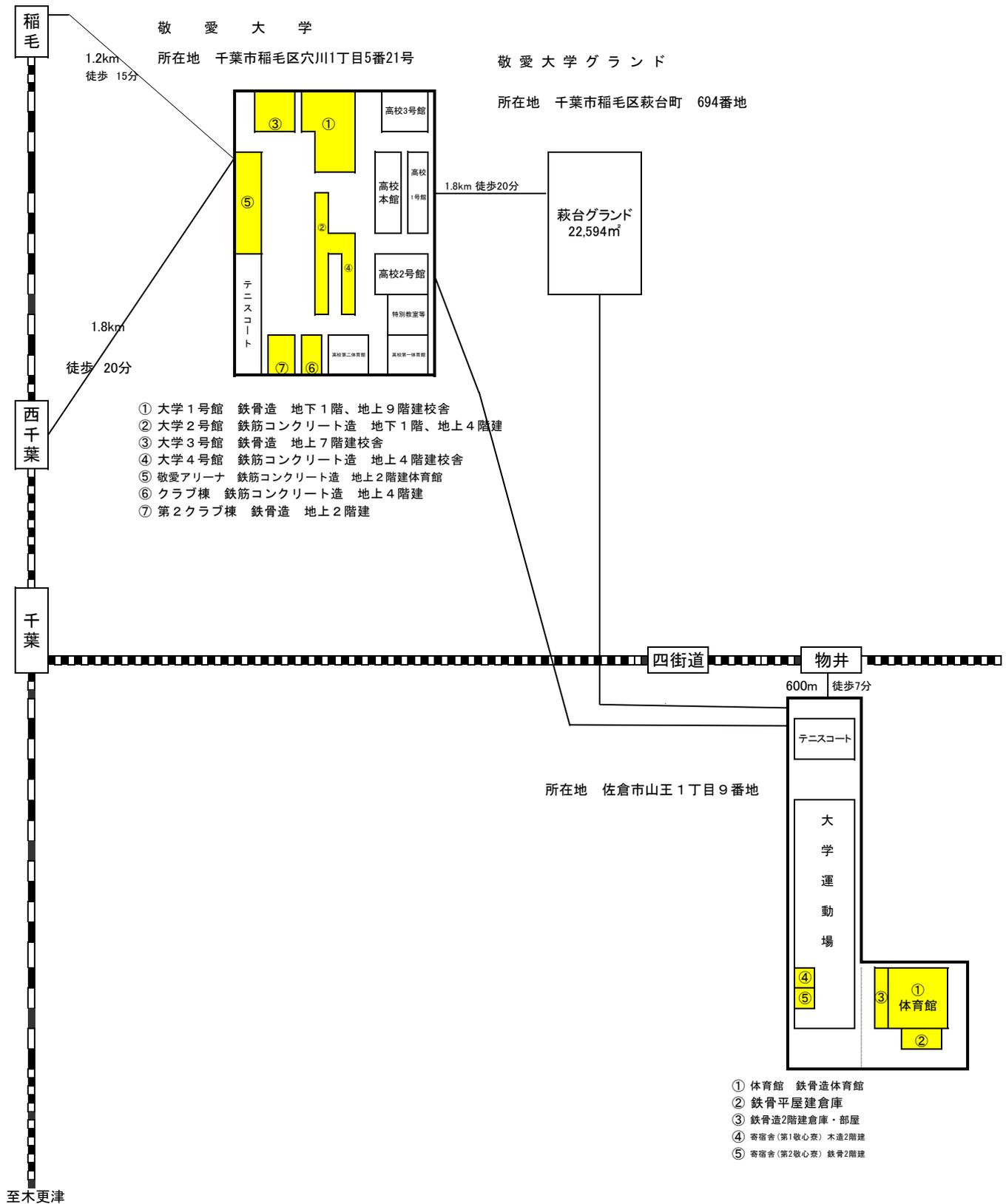
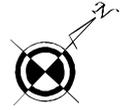
1. (1) 都道府県内における位置関係の図面 2ページ 稲毛区内における位置関係の図面
2. 出典: グーグル合同会社
3. 引用: <https://www.google.com/maps/@35.6309888,140.0993479,14.5z?entry=ttu>
4. 稲毛区の地図に大学部分に矢印と地域名を追記。

大学の位置

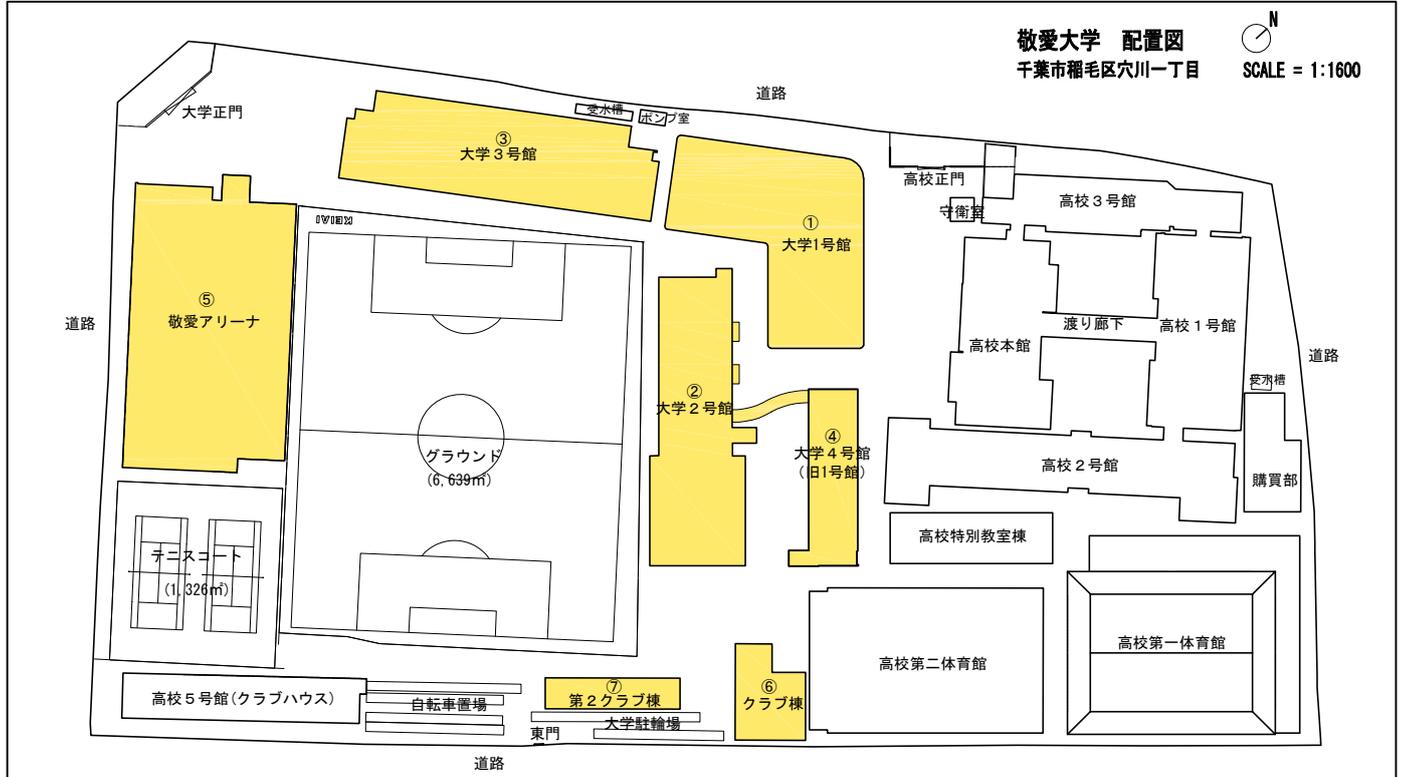


1. 都道府県内における位置関係の図面 2ページ 大学の位置図面
2. 出典: グーグル合同会社
3. 引用: <https://www.google.com/maps/@35.6332772,140.1033582,17.25z?entry=ttu>
4. 稲毛区の地図に大学部分を枠線で囲み、住所を追記。

(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所用時間がわかる図面



(3) 校舎、運動場等の配置図 (その1)



敬愛大学 配置図
 千葉市稲毛区穴川一丁目
 SCALE = 1:1600

土地

敬愛大学土地面積	15,300㎡
敬愛学園高校土地面積	18,652㎡
稲毛キャンパス土地合計面積	33,952㎡

建物

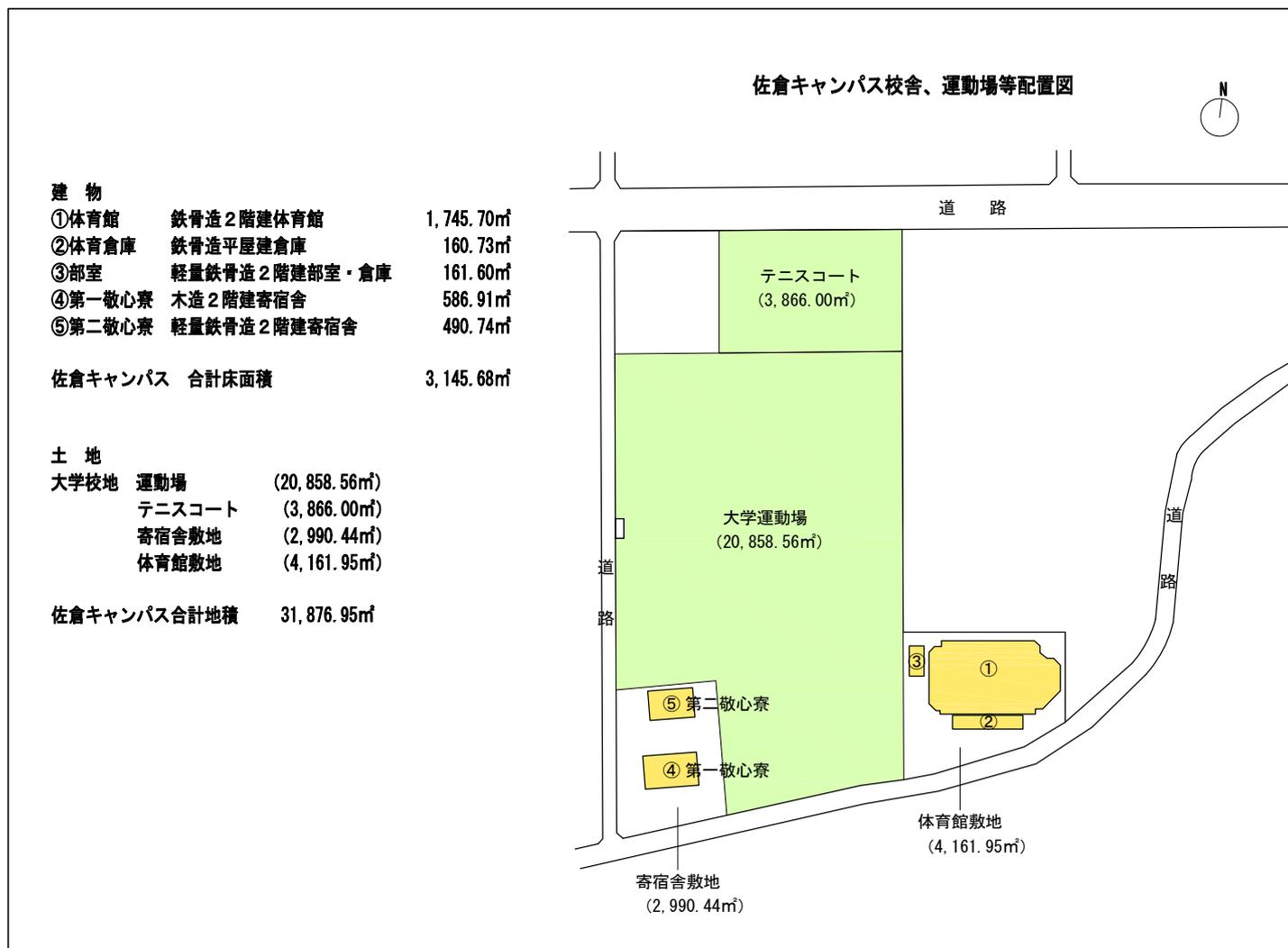
①大学1号館 鉄骨造 地下1階、地上9階建校舎	9,932.82㎡
(法人 464.10㎡を除く)	
②大学2号館 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上4階建校舎	3,546.88㎡
(法人 35.55㎡を除く)	
③大学3号館 鉄骨造 地上7階建校舎	7,215.90㎡
④大学4号館 鉄筋コンクリート造 地上4階建校舎	1,328.73㎡
⑤敬愛アリーナ 鉄筋コンクリート造 地上2階建校舎	2,185.41㎡
(学園高校 799.72㎡を除く)	
⑥クラブ棟 鉄筋コンクリート造校舎 地上4階建校舎	920.19㎡
⑦第2クラブ棟 鉄骨造 地上2階建部室	364.58㎡

凡例

■ 大学建物
 □ 学園高校建物

大学合計床面積 25,494.51㎡

(3) 校舎、運動場等の配置図 (その2)



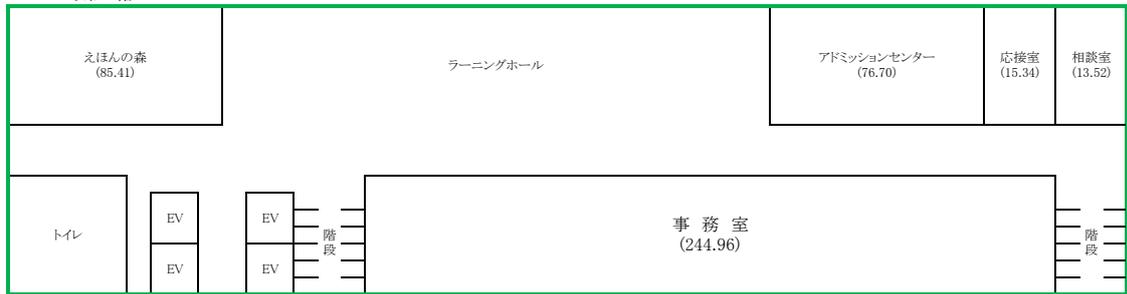
(3) 校舎、運動場等の配置図 (その3)



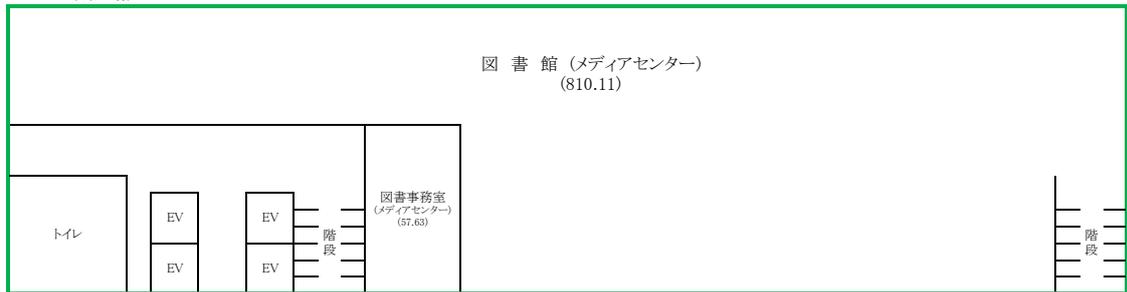
校舎平面図 1号館

	大学専用
	共用
	他の学校の専用

1号館 1階



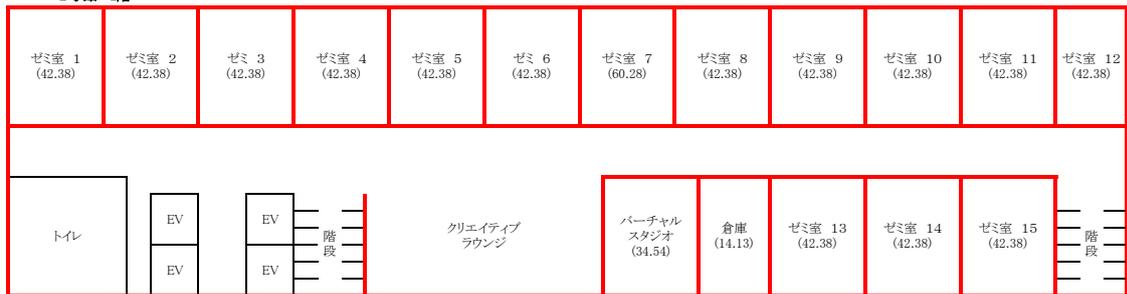
1号館 2階



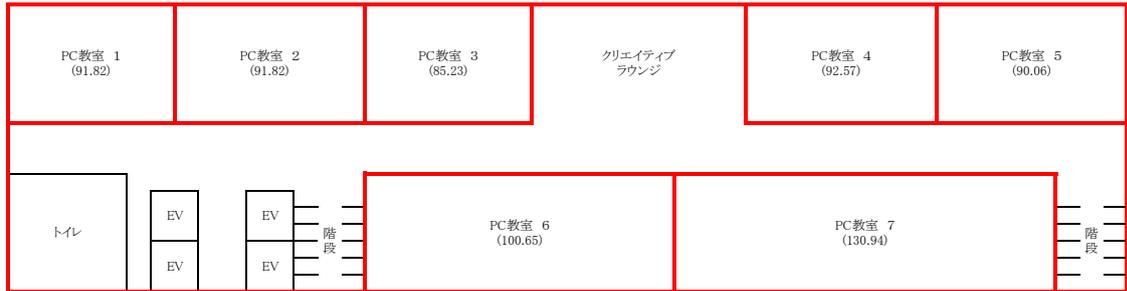
1号館 3階



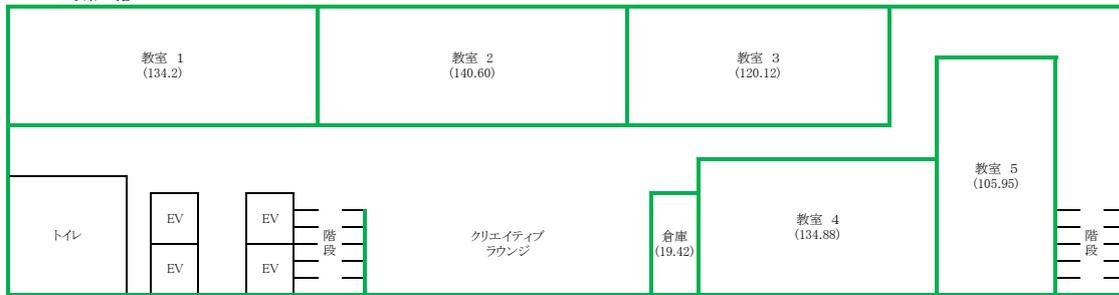
1号館 4階



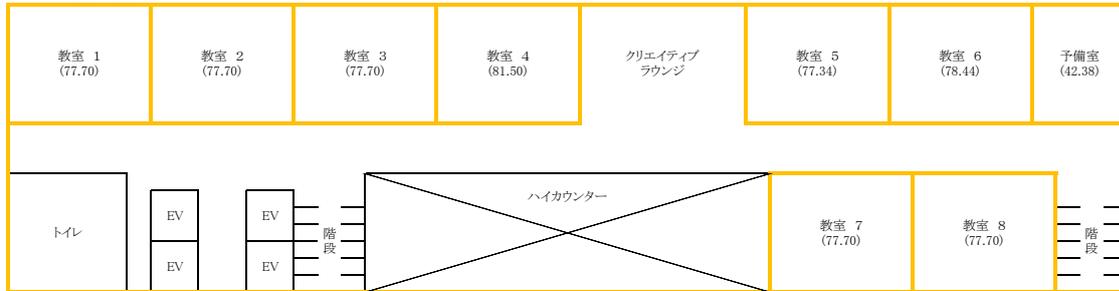
1号館 5階



1号館 6階



1号館 7階



1号館 8階

(研究室 18.20)



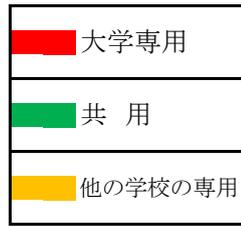
1号館 9階



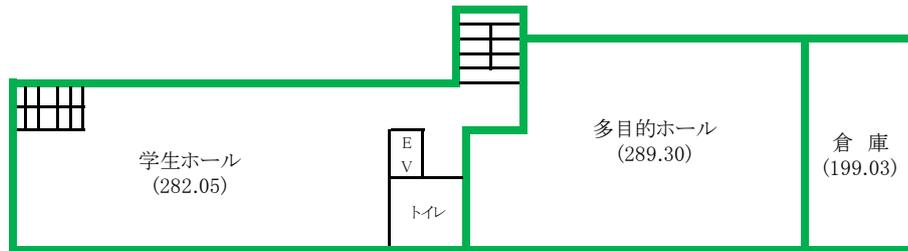
校舎平面図 1号館 地下室



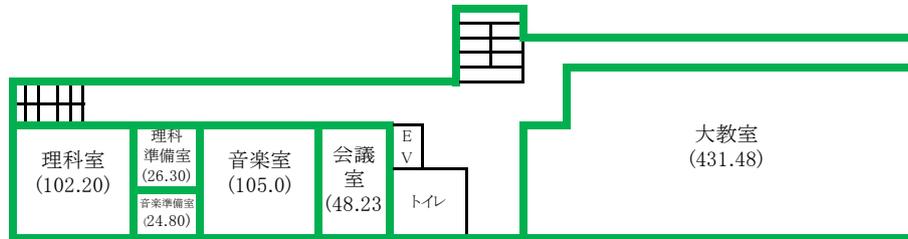
校舎平面図 2号館



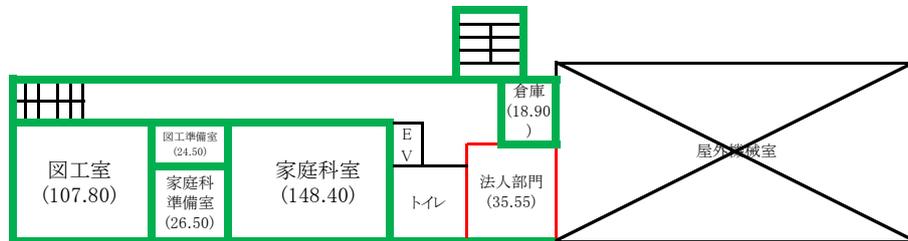
2号館 1階



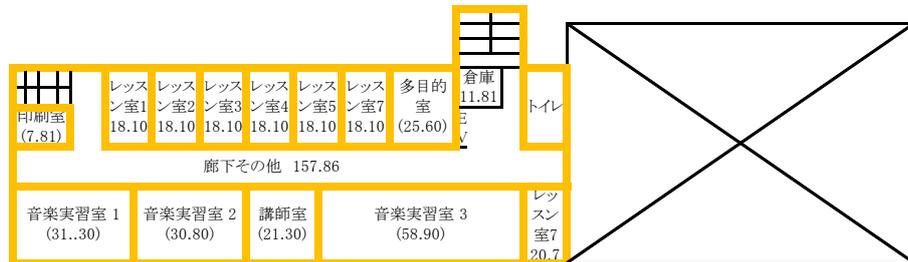
2号館 2階



2号館 3階



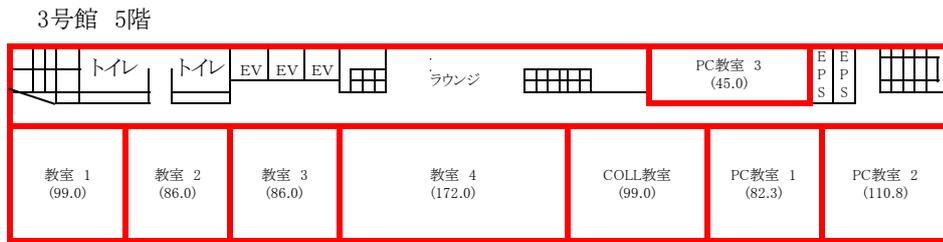
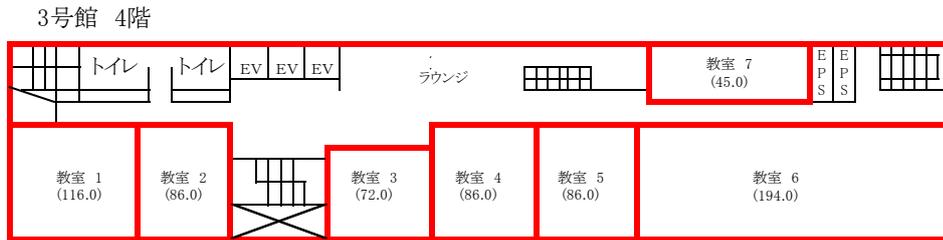
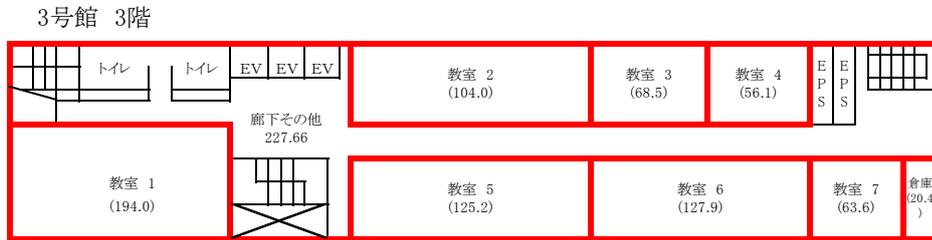
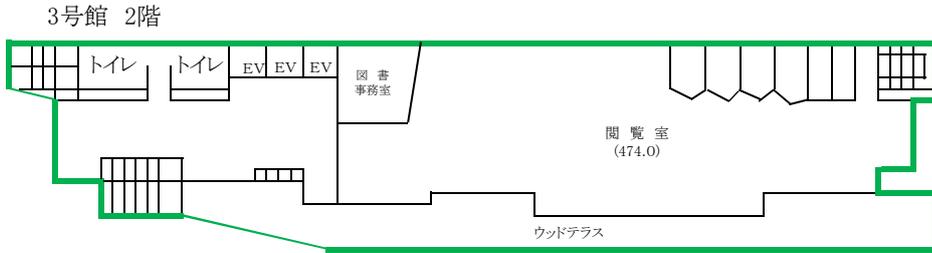
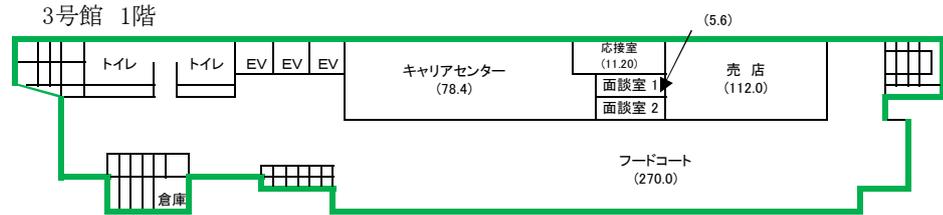
2号館 4階



地下



校舎平面図 3号館



校舎平面図 4号館

	大学専用
	共用
	他の学校の専用

4号館 1階



4号館 2階



4号館 3階



4号館 4階



敬愛大学学則

令和6年4月1日 改正(予定)

敬愛大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第2条 本学は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行いその結果を公表するものとする。

2 自己点検・評価の実施体制及び方法については別に定める。

第2章 学部学科・学生定員及び修業年限等

(学部学科)

第3条 本学に次の学部学科を置く。

- (1) 経済学部 経済学科 経営学科
- (2) 国際学部 国際学科
- (3) 教育学部 こども教育学科

(育成する人材)

第3条の2 学部学科ごとの人材育成に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 経済学部経済学科は、経済学に関する幅広い知識を修得し、実社会で応用できる表現力、コミュニケーション能力、情報収集能力及び経済学的思考力をもって、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (2) 経済学部経営学科は、経営学に関する幅広い知識を修得し、実践的なマネジメント能力及びグローバルな視野を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- (3) 国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身につけ、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。
- (4) 教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成する。

(学生定員)

第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。

(1) 経済学部	経済学科	入学定員	1' \$名
		編入学定員 (2年次)	1名
		(3年次)	1名
	経営学科	入学定員	% \$名
		編入学定員 (2年次)	1名
		(3年次)	1名
		収容定員	1050名
(2) 国際学部	国際学科	入学定員	98名
		編入学定員 (2年次)	1名
		(3年次)	1名
		収容定員	397名
(3) 教育学部	こども教育学科	入学定員	72名
		編入学定員 (2年次)	1名
		編入学定員 (3年次)	1名
		収容定員	293名

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

- 2 8年を超えて在学することはできない。又、編入学、再入学及び転入学の場合は、第13条に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。
- 3 大学の学生以外の者(科目等履修生として大学入学資格を有する者)が、本学において一定の単位を修得した後に、本学に入学する場合で、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、その単位数に応じて、相当期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

(長期履修制度)

第5条の2 前条第1項の規定にかかわらず、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し学位の取得を希望する者(以下「長期履修学生」という。)が、本制度の申請を申し出たとき、学長は、審査のうえ長期履修学生として履修を認めることができる。

ただし、前条第2項に定める在学年限を超えることはできない。

- 2 長期履修制度に関する必要な事項は別に定める。

第3章 学年・学期及び休業日

(学年及び学期)

第6条 学年は4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

2 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日より9月25日まで

後期 9月26日より翌年3月31日まで

3 学長が教育上必要と認める場合は、前項の期日を変更することができる。

(休業日)

第7条 学年中の休業日は次のとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 本学創立記念日 5月4日

(4) 敬愛の日 6月3日

(5) 春季休業 3月24日より3月31日まで

(6) 夏季休業 8月1日より9月25日まで

(7) 冬季休業 12月21日より翌年1月10日まで

2 学長が教育上必要と認める場合は、休業日を変更し、若しくは臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことができる。

第4章 入学・退学・休学・復学及び除籍

(入学の時期)

第8条 入学の時期は学年又は後期の始めとする。

(入学資格)

第9条 第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校を修了した者を含む。）

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣の指定した者

(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定試験に合格した者を含む。）

(6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(7) その他本学において、相当年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

- (8) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

（入学の出願及び検定料）

第10条 入学志願者は所定の入学願書を提出しなければならない。

- 2 提出の時期、提出する書類、方法については別に定める。
- 3 入学検定料については第32条第1項の定めるところによる。

（入学者の選考）

第11条 前条の入学志願者に対しては選考試験を行う。

（入学の手續及び入学許可）

第12条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、第32条第1項に定める入学金を納入しなければならない。

- 2 学長は前項の入学手續を完了した者に入学を許可する。

（編入学・再入学・転入学）

第13条 本学に編入学、再入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ、相当年次に学長が入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とし、入学許可人数については学則第4条の規定に定めるところによる。

- (1) 他の大学を卒業又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

- 3 第1項の規定により再入学又は転入学できる者は、本学を中途退学した者又は、他の大学に在学中の者で転入学により当該大学を退学する者とする。

- 4 第1項の規定により入学を許可された者についての履修方法は、教授会の議を経て学長が決定する。

（転部及び転科）

第14条 本学学生で他の学部に転部又は他の学科に転科を志願する者は、当該学部教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

- 2 転部及び転科の規程は別に定める。

（退学）

第15条 退学しようとする者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

(休学)

第16条 病気及びその他の事由により引き続き3ヶ月以上修学することができないときはその事由を具し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

- 2 休学の期間は、その学年の終わり、又は学期の終わりまでとし、特別の事情のある場合は、引き続き1年に限り休学を許可することができる。
- 3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。
- 4 休学の期間は、在学年数に算入しない。

(転学)

第17条 他の大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

(海外留学)

第18条 外国の大学又は短期大学に留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、1年に限り第30条第1項に定める期間に算入する。

(復学)

第19条 休学期間中にその事由が消滅したときは、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

- 2 復学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

(除籍)

第20条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者
- (2) 第16条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章 教育課程・授業科目・単位・授業の方法・期間及び履修登録等

(教育課程)

第21条 本学の授業科目は学科目制とし、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開講し、体系的な教育課程を編成する。

- 2 経済学部経済学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経済学科専門科目(基本科目A、基本科目B、公共経済コース科目、金融経済コース科目、現代経済コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。
- 3 経済学部経営学科の教育課程は、学部共通科目(基礎科目、言語科目、教養科目、情報科目、キャリア科目)、経営学科専門科目(基本科目A、基本科目B、企業経営コース科目、商業・会計コース科目、スポーツビジネスコース科目、

地域・起業コース科目、展開科目、演習科目)、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。

4 国際学部国際学科の教育課程は、基礎科目(教養科目、演習)、外国語科目(英語、英語以外の外国語、日本語)、情報基礎科目、専門科目(共通、英米語専攻、地域デザイン専攻、国際ビジネス専攻、観光マネジメント専攻、専門研究)、キャリア・インターンシップ科目、自由選択科目、教職及び教科に関する科目を置く。

5 教育学部こども教育学科の教育課程は、教養教育科目(教養科目、外国語科目、キャリア科目)、専門教育科目(専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目、専門研究)を置く。

(授業科目・単位数及び卒業に必要な単位数)

第21条の2 本学の授業科目、卒業に必要な単位数は、別表1~4のとおりとする。

(授業の方法)

第21条の3 授業科目は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又はこれらのうち二以上の併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項に規定する授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の規定により履修することのできる単位数は、第27条第1項、第28条第1項及び第29条第1項に定める認定単位と併せて60単位を超えないものとする。

(単位の計算方法)

第22条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準により計算するものとする。

(1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習、実技等についての学修は、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業をもって1単位とする。

(4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の併用により行う場合については、前3号の組合せに応じ、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず卒業論文、卒業研究及び校外学修等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

(授業期間)

第23条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。

2 各授業科目の授業は10週又は15週にわたる期間を単位として行う。ただし教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(履修登録及び履修制限)

第24条 授業科目の履修方法については、前期開講科目は前期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。また、後期開講科目も同様に後期の指定された期日までに履修登録をして許可を得なければならない。

- 2 履修登録の取扱いについては別に定める。
- 3 各学部の年次別の履修登録上限単位数は、次のとおりとする。

(1) 経済学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 46単位

ただし、第21条第2項及び同条第3項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(2) 国際学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 46単位

ただし、第21条第4項に規定する教職及び教科に関する科目の履修単位は上記の単位数に含めない。

(3) 教育学部

- 1年次 42単位
- 2年次 42単位
- 3年次 42単位
- 4年次 42単位

- 4 他学部等の授業科目を履修する場合は、学長の許可を得て履修し、単位を修得したときは、相当する科目群の科目として、学長が単位を認定することができる。

第6章 単位の認定等

(試験の評定)

第25条 試験の評定は100点を満点とし、60点以上を合格とする。

- 2 試験は、筆記試験、論文レポート、試問、その他の方法により行う。

(単位の授与)

第26条 授業科目を履修した者に対しては、試験に合格した場合に単位を与える。

(単位の互換)

第27条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学及び学部間の協議に基づき、当該大学又は短期大学及び学部間の授業科目の履修を認めることができる。

- 2 前項の規定により学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で第30条第1項に定める単位として認定することができる。

3 前2項の規定は、第18条に定める留学の場合に準用する。

(既修得単位の認定)

第28条 大学・短期大学又は専修学校の専門課程を卒業し又は中途退学した後、
本学第1年次に入学した者の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、
第30条第1項に定める単位として認定することができる。

2 前項により認定することができる単位は、前条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

(大学以外の教育施設等における学修)

第29条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における
学修その他文部科学大臣が定める学修を本学における授業科目の履修とみなし
第30条第1項に定める単位として認定することができる。

2 前項により認定できる単位は、第27条第1項及び第28条第1項により認定する単位と併せて60単位を超えないものとする。

第7章 卒業等

(卒業の要件及び学士の学位)

第30条 本学に4年以上在学し、第21条の2に定める授業科目及び単位数を修得した
者については教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は学年末、又は前期末にこれを行うことができる。

3 卒業を認定された者には学士の学位を授与する。

4 学位の授与に関する規定は別に定める。

(免許状の種類)

第31条 本学において次の教育職員免許状を取得することができる。

(1) 経済学部 経済学科

中学校教諭一種免許状(社会)

高等学校教諭一種免許状(地理歴史)

高等学校教諭一種免許状(公民)

(2) 経済学部 経営学科

高等学校教諭一種免許状(商業)

(3) 国際学部 国際学科

中学校教諭一種免許状(英語)

高等学校教諭一種免許状(英語)

(4) 教育学部 こども教育学科

小学校教諭一種免許状

2 教育職員の免許状取得の要件については別に定める。

第8章 入学検定料・入学金及び授業料等

(学費等)

第32条 本学の入学検定料、学費及び教職課程履修費の金額は別表5～7のとおりとする。

2 入学検定料、学費及び教職課程履修費等に関する必要な事項は、別に定める。

第9章 教職員組織

(教職員)

第33条 本学に学長、学部長、教授、准教授及び事務職員を置く。

2 副学長を置くことができる。

3 前項のほか、講師、助教、助手、技術職員その他必要な職員を置くことができる。

(学長・副学長・学部長の職務)

第34条 学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第10章 大学運営会議・教授会及び各種委員会

(大学運営会議)

第35条 本学の重要事項を審議するために大学運営会議を置く。

2 大学運営会議に関する必要な事項は別に定める。

(教授会)

第36条 本学各学部の教育研究に関する重要事項を審議するためにそれぞれに教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について、決定を行うに当たり意見を述べることができる。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 教授会の組織には、准教授、講師及びその他の教職員を加えることができる。

5 教授会に関する必要な事項は別に定める。

(合同教授会)

第37条 学長が必要と認めたとき又は各学部長から特に要請があったときは、学長は合同教授会を招集することができる。

2 合同教授会は、学長が特に必要と認めた大学の重要事項を審議する。

(各種委員会)

第38条 学長が必要と認めたとき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究し、その運営を図ることができる。

2 各種委員会に関する事項は別に定める。

第11章 科目等履修生及び外国人留学生等

(科目等履修生)

第39条 本学において特定の授業科目を履修しようとする者については、教育研究に支障のない範囲内において教授会の議を経て科目等履修生として、学長が入学を許可することができる。

2 科目等履修生が履修した授業科目を試験に合格したときは、第25条及び第26条の規定を準用して当該科目の単位を付与することができる。

3 科目等履修生に関する事項は別に定める。

(特別聴講生)

第40条 他の大学、短期大学との協議に基づき、当該大学又は短期大学の学生を特別聴講生として、学長が入学を許可することができる。

2 特別聴講生に関する事項は別に定める。

(聴講生)

第41条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、学長が聴講を許可することができる。

2 聴講生に関する事項は別に定める。

(外国人留学生)

第42条 外国籍を有し第9条第3号に該当する者が、本学に入学を希望した場合は、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 外国人留学生については、第45条(育英・奨学)に関する規定を除き、正規の学生についての規定を準用する。

3 外国人留学生に関する事項は別に定める。

(委託生)

第43条 公共機関その他から委託生としての入学の申し出のある時は本学の教育、研究に支障のない限り、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 委託生に関する事項は別に定める。

(公開講座)

第44条 学術文化の普及のため、本学において公開講座及び課外講座を開講することができる。

2 公開講座及び課外講座に関する事項は別に定める。

第12章 育英及び奨学に関する事項

(育英・奨学)

第45条 本学に育英及び奨学に関する制度を置く。

2 育英及び奨学に関する事項は別に定める。

第13章 賞罰

(褒賞)

第46条 品行方正、学術優秀又は善行のあった学生に対しては、賞状又は商品を授与し褒賞することができる。

2 褒賞に関する事項は別に定める。

(懲戒)

第47条 本学の規定に違反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対しては懲戒する。懲戒は、戒告、停学及び退学とする。

2 退学処分は次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- (2) 成績不良で学業継続の見込みがないと認められた者
- (3) 正当な理由なくして出席不良の者
- (4) 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

3 懲戒に関する事項は別に定める。

第14章 附属施設・寄宿舍・厚生施設

(附属施設)

第48条 本学にメディアセンター及び総合地域研究所を置く。

2 各附属施設に関する事項は別に定める。

(寄宿舍)

第49条 本学に寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関する事項は別に定める。

(厚生施設)

第50条 本学に厚生施設を置く。

2 厚生施設に関する事項は別に定める。

第15章 改正

(改正)

第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、第24条、第26条については、この限りにあらず。

附 則

- 1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 昭和55年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、入学検定料は、昭和56年度入学志願者から、授業料は昭和55年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和58年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和55年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 昭和60年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。ただし、第28条の改正については、昭和55年度以降の入学者に適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、入学検定料については昭和62年度入学者から適用する。
- 2 第27条の規定にかかわらず、当分の間総定員は次のとおりとする。

昭和62年度	総定員	500名
昭和63年度	総定員	600名
昭和64年度	総定員	700名

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和56年度以降の入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和58年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第28条の改正は昭和60年度以降の入学者から適用する。
- 2 第21条第3項および第26条第1項の改正は、平成2年度以降の入学者から適用し、平成元年度以前に入学した者は、なお従前の例による。
- 3 平成元年度以前に入学して教育職員免許状を取得しようとする者については、なお従前の例による。
- 4 第28条の規定にかかわらず平成2年度から平成10年度までの間入学定員は次のとおりとする。

経済学部経済学科 260名

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第21条第3項及び第26条第1項の改正は、平成3年度入学者から適用し、平成2年度以前に入学した者はなお従前の例による。
- 3 第27条第1項第2号及び第3号の改正は、平成2年度入学者から適用し、平成元年度以前に入学した者はなお従前の例による。
- 4 第28条第1項の改正は、昭和60年度以降の入学者から適用する。ただし入学検定料については、平成3年度入学志願者から適用する。
- 5 第29条の規定にかかわらず平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第26条第3項の改正は、平成3年度卒業生から適用する。
- 3 第28条第1項の改正は、昭和62年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第28条第1項の改正は、昭和63年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、昭和63年度以降の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、平成元年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第29条第1項の改正は、平成2年度入学者から適用する。ただし、検定料については、平成8年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成2年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成3年度入学者から適用する。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成4年度入学者から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者の施設費については、180,000円とする。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	平成3年度～平成10年度	平成11年度
経済学部経済学科	320名	260名

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項の改正は、平成5年度入学者から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者の施設費については、190,000円とする。
- 3 第31条第の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
経済学部経済学科	308名	296名	284名	272名	260名

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第30条第1項に定める別表の改正は、平成17年度入学者から適用する(220,000円)。ただし、平成16年度以前の入学者の施設費については、210,000円とする。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際協力量科は、改正後の学則第3条第1項第2号の規定にかかわらず、平成19年3月31日に当該学科に在学する学生が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 2 第33条第1項第6号に規定する施行前における助教授としての在職は、施行後の准教授としての在職とみなす。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、第7条第5号の改正は平成17年度入学生から適用する。
- 3 附則第1項の規定にかかわらず、第30条第1項に定める別表の改正は、平成18年度入学者から適用する(240,000円)。ただし、平成17年度以前の入学者の施設費については、220,000円とする。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際学科の地域こども教育専攻をこども学科に改める。なお、国際学科の国際学専攻及び地域こども教育専攻は、改正後の学則第3条第1項第2号の規定にかかわらず、当該専攻に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するも

のとする。

附 則

- 1 この学則は、平成23年7月1日から施行する。
- 2 第11条、第14条、第17条並びに第18条第2項の改正は、平成20年度入学者より適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第31条の改正は、平成24年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年12月11日から施行する。
- 2 第12条の改正は、平成23年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 経済学部経済学科の現代マネジメント専攻を経営学科に改める。なお、経済学科の経済専攻及び現代マネジメント専攻は、改正後の学則第3条第1項第1号の規定にかかわらず、在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第29条第1項の規定は、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者は(「高等学校教諭一種免許状(情報)」)なお従前のおりとする。
- 4 第30条第1項に定める別表の施設費の分割納入については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度までの入学者についてはなお従前のおりとする。
- 5 第31条の規定にかかわらず平成25年度から平成28年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済学部	経済学科	920名	773名	624名	475名
	経営学科	110名	223名	339名	455名
国際学部	国際学科	580名	474名	419名	386名
	こども学科	190名	262名	284名	284名
	合 計	1,800名	1,732名	1,666名	1,600名

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第29条第2項の規定は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前の入学者はなお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学金、授業料等の改正は、平成28年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、平成27年度以前の入学者はなお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第5条の2の規定は、平成29年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成31年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず平成31年度から平成34年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
経済学部	経済学科	471名	467名	465名	465名
	経営学科	451名	447名	445名	445名
国際学部	国際学科	386名	386名	389名	397名
	こども教育学科	286名	288名	291名	293名
	合 計	1,594名	1,588名	1,590名	1,600名

- 3 第31条第1項第1号の規定は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前の入学者の経済学部経済学科における高等学校教諭一種免許状(商業)の取得については、なお従前のおりとする。
- 4 第32条第1項に定める別表の入学検定料の改正は、平成32年度入学志願者から適用する。
- 5 第42条第2項の規定は、平成31年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第1項に定める別表の入学試験項目の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 3 第32条第1項に定める別表の学費(入学金、授業料、施設費)の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者

はなお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正前の学則に定める国際学部こども教育学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわらず、令和3年3月31日に国際学部こども教育学科に在籍する学生がいなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第4条の規定にかかわらず令和3年度から令和6年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経済学部	経済学科	465名	465名	465名	465名
	経営学科	445名	445名	445名	445名
国際学部	国際学科	389名	397名	397名	397名
	こども教育学科	219名	148名	74名	—
教育学部	こども教育学科	72名	145名	219名	293名
	合 計	1,590名	1,600名	1,600名	1,600名

- 4 第21条の2に定める教育課程表(別表1～4)は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和2年度以前の入学者の教育課程表については、なお従前のおりとする。
- 5 第31条第1項第3号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部国際学科における中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)及び高等学校教諭一種免許状(公民)の取得については、なお従前のおりとする。
- 6 第31条第1項第4号の規定は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者の国際学部こども教育学科における小学校教諭一種免許状の取得については、なお従前のおりとする。
- 7 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和3年度入学志願者から適用する。
- 8 第32条第1項に定める別表6の学費(入学金、授業料、施設費)及び別表7の教職課程履修費の改正は、令和3年度入学者(編入学者、転入学者を含む)から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項及び第5項に定める各学部、学科の教育課程の改正は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。
- 3 第21条の2に定める教育課程表(別表1～4)は、令和4年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和3年度以前の入学者の教育課程表については、

なお従前のおりとする。

- 4 第32条第1項に定める別表5の入学検定料の改正は、令和4年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第21条第2項、第3項、第4項に定める各学部、学科の教育課程の改正及び第21条の2に定める教育課程表(別表1～3)は、令和5年度入学者(編入学者、転入学者を除く)から適用し、令和4年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和6年度から令和9年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経済学部	経済学科	480名	495名	510名	525名
	経営学科	465名	485名	505名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
	合 計	1,635名	1,670名	1,705名	1,740名

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分		授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考			
学部 共通科目	基礎 科目 必修 科目	文章表現	2	1	必修科目	22	全科目必修			
		口頭表現	2	1						
		基礎数学	2	1						
		入門経済学	2	1						
		入門経営学	2	1						
		キャリアデザインを学ぶ	2	1						
		キャリアプランニング	2	1						
		AI・DSへのいざない	2	1						
		健康科学	2	1						
		情報基礎 I	1	1						
		情報基礎 II	1	1						
		基礎演習 I	1	1						
		基礎演習 II	1	1						
		言語 科目	必修 科目	英 語 I A				1	1	日本人必修科目
英 語 I B	1			1						
英 語 II A	1			1						
英 語 II B	1			1						
日 本 語 I	2			1	留学生必修科目					
日 本 語 II	2			1						
教養 科目	選 択 科 目	フランス語 I	1	1	16単位以上選択	16				
		フランス語 II	1	1						
		ドイツ語 I	1	1						
		ドイツ語 II	1	1						
		中国語 I	1	1						
		中国語 II	1	1						
		応用中国語 I	1	2						
		応用中国語 II	1	2						
		時事英語 I	1	2						
		時事英語 II	1	2						
		ビジネス英語 I	1	2						
		ビジネス英語 II	1	2						
		Basic Grammar I	1	1						
		Basic Grammar II	1	1						
		コリア語 I	1	1						
		コリア語 II	1	1						
		TOEIC® 向上講座 I	2	2						
		TOEIC® 向上講座 II	2	2						
		Speaking I	1	2						
		Speaking II	1	2						
		Writing I	1	2						
		Writing II	1	2						
		Listening I	1	2						
		Listening II	1	2						
		Debate I	1	2						
		Debate II	1	2						
		English Conversation(オンライン英会話) I	1	1				2	3	4
		English Conversation(オンライン英会話) II	1	1				2	3	4
		敬天愛人講座	2	1				2	3	4
		敬愛プログラム	2	1				2	3	4
		スポーツ教育 I	1	1				2	3	4
		スポーツ教育 II	1	1				2	3	4
		哲学	2	1				2	3	4
		心理学	2	1				2	3	4
社会心理学	2	1	2	3	4					
歴史学	2	1	2	3	4					
中国文化 I	2	1	2	3	4					
中国文化 II	2	1	2	3	4					
文学	2	1	2	3	4					
日本語学	2	1	2	3	4					
言語学	2	1	2	3	4					
法学	2	1	2	3	4					

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考		
経済学 専攻科	憲法	2	1 2 3 4					
	政治学	2	1 2 3 4					
	社会学	2	1 2 3 4					
	数学Ⅰ	2	1 2 3 4					
	数学Ⅱ	2	1 2 3 4					
	統計学Ⅰ	2	1 2 3 4					
	統計学Ⅱ	2	1 2 3 4					
	環境科学	2	1 2 3 4					
	ボランティア活動	2	1 2 3 4					
	情報 科目	選 択 科 目	情報概論	2	1 2 3 4	2単位以上選択	2	
			データサイエンス総論	2	1 2 3 4			
			英語で学ぶPython	2	1 2 3 4			
			アルゴリズム論	2	2 3 4			
			プレゼンテーション論	2	2 3 4			
			情報セキュリティ論	2	2 3 4			
			AI概論	2	2 3 4			
			プログラミング	2	2 3 4			
			AIデータサイエンス実践	2	3 4			
	キャ リア 科目	選 択 科 目	実践会話Ⅰ	2	2	2単位以上選択	2	
			実践会話Ⅱ	2	2			
			キャリアディベロップメント	2	2			
			企業の魅力発見	2	2			
			実践的キャリア演習Ⅰ	2	3			
			実践的キャリア演習Ⅱ	2	3			
			プレインターンシップ	2	3			
			インターンシップ	1	3			
			ポストインターンシップ	2	3			
	経済学 専攻科 専攻科目	選 択 必 修 科 目	経済理論A	2	1 2	経済理論A・B 4単位必修	10	
経済理論B			2	1 2				
日本経済史Ⅰ			2	1 2	日本経済史又は西洋経済史の何れか2科目4単位を選択			
日本経済史Ⅱ			2	1 2				
西洋経済史Ⅰ			2	1 2				
西洋経済史Ⅱ			2	1 2	フィールドワーク入門2単位必修			
フィールドワーク入門			2	2				
基本 科目 B	選 択 科 目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2 3 4	20単位以上選択	20		
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2 3 4				
		マクロ経済学Ⅰ	2	2 3 4				
		マクロ経済学Ⅱ	2	2 3 4				
		経済政策Ⅰ	2	2 3 4				
		経済政策Ⅱ	2	2 3 4				
		経済学特論Ⅰ	2	2 3 4				
		経済学特論Ⅱ	2	2 3 4				
		社会政策Ⅰ	2	2 3 4				
		社会政策Ⅱ	2	2 3 4				
		財政学Ⅰ	2	2 3 4				
		財政学Ⅱ	2	2 3 4				
		金融論Ⅰ	2	2 3 4				
		金融論Ⅱ	2	2 3 4				
		国際経済論Ⅰ	2	2 3 4				
		国際経済論Ⅱ	2	2 3 4				
		簿記・会計概論Ⅰ	2	2 3 4				
		簿記・会計概論Ⅱ	2	2 3 4				
		会計学Ⅰ	2	2 3 4				
		会計学Ⅱ	2	2 3 4				
		民法Ⅰ	2	2 3 4				
		民法Ⅱ	2	2 3 4				
		統計学総論Ⅰ	2	2 3 4				
統計学総論Ⅱ	2	2 3 4						
知的財産権論	2	2 3 4						
情報マネジメント	2	2 3 4						

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分		授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
公共経済コース科目	選択科目	公共経済学	2	2 3 4	10単位以上選択	10	公共経済コース選択者	
		公共選択論	2	2 3 4				
		地方財政論 I	2	2 3 4				
		地方財政論 II	2	2 3 4				
		地方自治論 I	2	2 3 4				
		地方自治論 II	2	2 3 4				
		社会保障論 I	2	2 3 4				
		社会保障論 II	2	2 3 4				
		社会福祉論	2	2 3 4				
		福祉経済論	2	2 3 4				
		行政法 I	2	2 3 4				
		行政法 II	2	2 3 4				
		企業法	2	2 3 4				
		会社法	2	2 3 4				
	経済統計 I	2	2 3 4					
	経済統計 II	2	2 3 4					
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座C(公務員)	2	2				
		進路支援講座D(公務員)	2	2				
		進路支援講座E(公務員)	2	2				
		進路支援講座F(公務員)	2	2				
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座I(教職)	2	2				
		進路支援講座J(教職)	2	2				
経済学科専門科目		選択科目	証券経済論 I	2	2 3 4	10単位以上選択	10	金融経済コース選択者
			証券経済論 II	2	2 3 4			
	銀行論 I		2	2 3 4				
	銀行論 II		2	2 3 4				
	国際金融論 I		2	2 3 4				
	国際金融論 II		2	2 3 4				
	企業金融論 I		2	2 3 4				
	企業金融論 II		2	2 3 4				
	保険論		2	2 3 4				
	金融事情 I		2	2 3 4				
	金融事情 II		2	2 3 4				
	有価証券法		2	2 3 4				
	企業法		2	2 3 4				
	会社法		2	2 3 4				
	経済統計 I	2	2 3 4					
	経済統計 II	2	2 3 4					
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座C(公務員)	2	2				
		進路支援講座D(公務員)	2	2				
		進路支援講座E(公務員)	2	2				
		進路支援講座F(公務員)	2	2				
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座I(教職)	2	2				
		進路支援講座J(教職)	2	2				

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分		授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
現代経済コース科目	選択科目	日本経済論Ⅰ	2	2 3 4	10単位以上選択	10	現代経済コース選択者	
		日本経済論Ⅱ	2	2 3 4				
		日本経済地理	2	2 3 4				
		世界経済地理	2	2 3 4				
		アメリカ経済論Ⅰ	2	2 3 4				
		アメリカ経済論Ⅱ	2	2 3 4				
		ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2 3 4				
		ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	2 3 4				
		中東経済論	2	2 3 4				
		アジア経済論	2	2 3 4				
		国際貿易論	2	2 3 4				
		労働経済論Ⅰ	2	2 3 4				
		労働経済論Ⅱ	2	2 3 4				
		労働法	2	2 3 4				
	経済統計Ⅰ	2	2 3 4					
	経済統計Ⅱ	2	2 3 4					
	進路支援科目	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1				
		進路支援講座C(公務員)	2	2				
		進路支援講座D(公務員)	2	2				
		進路支援講座E(公務員)	2	2				
		進路支援講座F(公務員)	2	2				
		進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2				
		進路支援講座I(教職)	2	2				
		進路支援講座J(教職)	2	2				
		展開科目	選択科目	経済学史Ⅰ	2	2 3 4	16単位以上選択	16
経済学史Ⅱ				2	2 3 4			
社会思想史Ⅰ				2	2 3 4			
社会思想史Ⅱ	2			2 3 4				
金融経済の基礎知識	2			2 3 4				
計量経済学Ⅰ	2			2 3 4				
計量経済学Ⅱ	2			2 3 4				
環境経済学Ⅰ	2			2 3 4				
環境経済学Ⅱ	2			2 3 4				
地域経済論	2			2 3 4				
食料経済論	2			2 3 4				
農業政策	2			2 3 4				
経済数学Ⅰ	2			2 3 4				
経済数学Ⅱ	2			2 3 4				
経営学Ⅰ	2			2 3 4				
経営学Ⅱ	2			2 3 4				
国際地域論Ⅰ	2			2 3 4				
国際地域論Ⅱ	2			2 3 4				
地域産業論	2			2 3 4				
経営立地論	2			2 3 4				
交通論	2	2 3 4						
ビジネスデータ解析	2	2 3 4						
情報ビジネス論	2	3 4						
演習科目	必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2	必修科目	8	全科目必修	
		専門導入演習Ⅱ	1	2				
		専門演習Ⅰ	1	3				
		専門演習Ⅱ	1	3				
		卒業演習Ⅰ	1	4				
		卒業演習Ⅱ	1	4				
		卒業論文	2	4				

別表 1 (第21条の2関係) 経済学部 経済学科 教育課程表

区分		授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考
自由 選択科目	選択科目				14単位以上選択	14	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目A・B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経済学科のカリキュラムに掲載されていない経営学科科目や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職及び教科に関する科目からの履修も可。
教職及び教科に関する科目	選択科目	日本史概論Ⅰ	2	1 2 3 4			教職課程履修者のみ履修可
		日本史概論Ⅱ	2	1 2 3 4			
		世界史概論Ⅰ	2	1 2 3 4			
		世界史概論Ⅱ	2	1 2 3 4			
		地理学概論Ⅰ	2	1 2 3 4			
		地理学概論Ⅱ	2	1 2 3 4			
		地誌学Ⅰ	2	1 2 3 4			
		地誌学Ⅱ	2	1 2 3 4			
		哲学概論Ⅰ	2	1 2 3 4			
		哲学概論Ⅱ	2	1 2 3 4			
		比較政治学	2	1 2 3 4			
		社会学概論	2	1 2 3 4			
		自然地理学Ⅰ	2	1 2 3 4			
		自然地理学Ⅱ	2	1 2 3 4			
		教育原論	2	1 2			
		教育課程論	2	1 2			
		発達心理学	2	1 2			
		教育心理学	2	1 2			
		特別支援教育概論	2	2 3			
		教職概論	2	1 2			
		教育行政	2	2 3			
		教育法規	2	2 3			
		教育方法・技術論	2	2 3			
		教育とICT活用	2	2 3			
		社会科・地歴科指導法Ⅰ	2	2 3			
		社会科・地歴科指導法Ⅱ	2	2 3			
		地理歴史科指導法	2	2 3			
		社会科・公民科指導法Ⅰ	2	2 3			
		社会科・公民科指導法Ⅱ	2	2 3			
		公民科指導法	2	2 3			
		道德教育指導法	2	2 3			
		総合的な学習の時間の指導法	2	2 3			
		特別活動指導法	2	2 3			
		生徒・進路指導論	2	2 3			
		教育相談	2	2 3			
		教職実践演習	2	4			
教育実習指導	1	3 4					
中学校教育実習	4	4					
高等学校教育実習	2	4					
			卒業要件単位数			124	

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分			授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
学部 共通 科目	基礎 科目	必修 科目	文章表現	2	1	必修科目	22	全科目必修
			口頭表現	2	1			
			基礎数学	2	1			
			入門経済学	2	1			
			入門経営学	2	1			
			キャリアデザインを学ぶ	2	1			
			キャリアプランニング	2	1			
			AI・DSへのいざない	2	1			
			健康科学	2	1			
			情報基礎 I	1	1			
			情報基礎 II	1	1			
			基礎演習 I	1	1			
			基礎演習 II	1	1			
言語 科目			英 語 I A	1	1	日本人必修科目	4	日本人は、英語4単位必修
			英 語 I B	1	1			
			英 語 II A.	1	1			
			英 語 II B	1	1			
			日本語 I	2	1	留学生必修科目		留学生科目
			日本語 II	2	1			
教養 科目	選 択 科 目		フランス語 I	1	1		16	
			フランス語 II	1	1			
			ドイツ語 I	1	1			
			ドイツ語 II	1	1			
			中国語 I	1	1			
			中国語 II	1	1			
			応用中国語 I	1	2			
			応用中国語 II	1	2			
			時事英語 I	1	2			
			時事英語 II	1	2			
			ビジネス英語 I	1	2			
			ビジネス英語 II	1	2			
			Basic Grammar I	1	1			
			Basic Grammar II	1	1			
			コリア語 I	1	1			
			コリア語 II	1	1			
			TOEIC®向上講座 I	2	2			
			TOEIC®向上講座 II	2	2			
			Speaking I	1	2			
			Speaking II	1	2			
			Writing I	1	2			
			Writing II	1	2			
			Listening I	1	2			
			Listening II	1	2			
			Debate I	1	2			
			Debate II	1	2			
			English Conversation(オンライン英会話) I	1	1 2 3 4			
			English Conversation(オンライン英会話) II	1	1 2 3 4			
			敬天愛人講座	2	1 2 3 4			
			敬愛プログラム	2	1 2 3 4			
			スポーツ教育 I	1	1 2 3 4			
			スポーツ教育 II	1	1 2 3 4			
			哲学	2	1 2 3 4			
心理学	2	1 2 3 4						
社会心理学	2	1 2 3 4						
歴史学	2	1 2 3 4						
中国文化 I	2	1 2 3 4						
中国文化 II	2	1 2 3 4						
文学	2	1 2 3 4						
日本語学	2	1 2 3 4						
言語学	2	1 2 3 4						
法学	2	1 2 3 4						

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
	憲法	2	1 2 3 4				
	政治学	2	1 2 3 4				
	社会学	2	1 2 3 4				
	数学 I	2	1 2 3 4				
	数学 II	2	1 2 3 4				
	統計学 I	2	1 2 3 4				
	統計学 II	2	1 2 3 4				
	環境科学	2	1 2 3 4				
	ボランティア活動	2	1 2 3 4				
	情報科目	選択科目					
情報概論		2	1 2 3 4				
データサイエンス総論		2	1 2 3 4				
英語で学ぶPython		2	1 2 3 4				
アルゴリズム論		2	2 3 4				
プレゼンテーション論		2	2 3 4				
情報セキュリティ論		2	2 3 4				
AI概論		2	2 3 4				
プログラミング		2	2 3 4				
AIデータサイエンス実践	2	3 4					
キャリア科目	選択科目			2単位以上選択	2		
	実践会話 I	2	2				
	実践会話 II	2	2				
	キャリアディベロップメント	2	2				
	企業の魅力発見	2	2				
	実践的キャリア演習 I	2	3				
	実践的キャリア演習 II	2	3				
	ブレインターンシップ	2	3				
	インターンシップ	1	3				
	ポストインターンシップ	2	3				
経営学科専門科目	基本科目 A	必修科目		必修科目	10	全科目必修	
		経営学 I	2				1 2
		経営学 II	2				1 2
		簿記・会計概論 I	2				1 2
		簿記・会計概論 II	2				1 2
	実地調査入門	2	2				
	基本科目 B	選択科目			20単位以上選択	20	
		経営戦略論 I	2	2 3 4			
		経営戦略論 II	2	2 3 4			
		経営組織論 I	2	2 3 4			
		経営組織論 II	3	2 3 4			
		経営財務論 I	2	2 3 4			
		経営財務論 II	2	2 3 4			
		マーケティング論	2	2 3 4			
		経営分析 I	2	2 3 4			
経営分析 II		2	2 3 4				
人的資源管理 I	2	2 3 4					
人的資源管理 II	2	2 3 4					
産業論	2	2 3 4					
マーケティングリサーチ I	2	2 3 4					
マーケティングリサーチ II	2	2 3 4					
流通論	2	2 3 4					
原価計算論 I	2	2 3 4					
原価計算論 II	2	2 3 4					
経営史 I	2	2 3 4					
経営史 II	2	2 3 4					
国際ビジネス論	2	2 3 4					
生産管理	2	2 3 4					
民法 I	2	2 3 4					
民法 II	2	2 3 4					
ビジネスデータ解析	2	2 3 4					
情報ビジネス論	2	3 4					

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
企業 経営 コース 科目	選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2 3 4	10単位以上選択	10
		企業と社会論	2	2 3 4		
		中小企業論 I	2	2 3 4		
		中小企業論 II	2	2 3 4		
		国際産業組織論	2	2 3 4		
		多国籍企業論	2	2 3 4		
		国際貿易論	2	2 3 4		
		経営心理学	2	2 3 4		
		経営立地論	2	2 3 4		
		地域産業論	2	2 3 4		
		情報マネジメント	2	2 3 4		
		知的財産権論	2	2 3 4		
		経営シミュレーション	2	2 3 4		
		企業法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
	商業・ 会計 コース 科目	選択科目	会計学 I	2		
		会計学 II	2	2 3 4		
		簿記原理 I	2	2 3 4		
		簿記原理 II	2	2 3 4		
		管理会計論	2	2 3 4		
		税務会計論 I	2	2 3 4		
		税務会計論 II	2	2 3 4		
		地域企業会計論	2	2 3 4		
		金融商品取引法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
		流通情報論	2	2 3 4		
		流通経営論	2	2 3 4		
		消費者行動論	2	2 3 4		
		サービスマーケティング論	2	2 3 4		
		Marketing Management	2	2 3 4		
スポ ーツ ビジ ネス コース 科目		選択科目	スポーツビジネス論	2	2 3 4	10単位以上選択
		スポーツ産業論	2	2 3 4		
		スポーツマーケティング論	2	2 3 4		
		スポーツ文化論	2	2 3 4		
		生涯スポーツ実習 I	1	2 3 4		
		生涯スポーツ実習 II	1	2 3 4		
		スポーツ科学概論	2	2 3 4		
		中小企業論 I	2	2 3 4		
		中小企業論 II	2	2 3 4		
		地域企業経営論	2	2 3 4		
		サービスマーケティング論	2	2 3 4		
		Marketing Management	2	2 3 4		
		経営心理学	2	2 3 4		
		消費者行動論	2	2 3 4		
		企業法	2	2 3 4		
		会社法	2	2 3 4		
	観光事業論 I	2	2 3 4			
	観光事業論 II	2	2 3 4			

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
地域・起業コース科目	選択科目	千葉学	2	1 2 3 4	10単位以上選択	10	
		入門ツーリズムⅠ	2	1 2 3 4			
		入門ツーリズムⅡ	2	1 2 3 4			
		ベンチャービジネス論	2	2 3 4			
		地域事業創造論	2	2 3 4			
		中小企業論Ⅰ	2	2 3 4			
		中小企業論Ⅱ	2	2 3 4			
		アントレプレナーシップ論	2	2 3 4			
		地域企業経営論	2	2 3 4			
		管理会計論	2	2 3 4			
		地域企業会計論	2	2 3 4			
		経営立地論	2	2 3 4			
		地域産業論	2	2 3 4			
		千葉県の産業と行政	2	2 3 4			
		旅行ビジネス論	2	2 3 4			
	展開科目	選択科目	経済理論A	2			
		経済理論B	2	2 3 4			
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2 3 4			
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2 3 4			
		マクロ経済学Ⅰ	2	2 3 4			
		マクロ経済学Ⅱ	2	2 3 4			
		経済政策Ⅰ	2	2 3 4			
		経済政策Ⅱ	2	2 3 4			
		金融論Ⅰ	2	2 3 4			
		金融論Ⅱ	2	2 3 4			
		有価証券法	2	2 3 4			
		統計学総論Ⅰ	2	2 3 4			
		統計学総論Ⅱ	2	2 3 4			
		企業金融論Ⅰ	2	2 3 4			
		企業金融論Ⅱ	2	2 3 4			
		労働法	2	2 3 4			
		国際法Ⅰ	2	2 3 4			
		国際法Ⅱ	2	2 3 4			
		経済統計Ⅰ	2	2 3 4			
		経済統計Ⅱ	2	2 3 4			
	日本経済論Ⅰ	2	2 3 4				
	日本経済論Ⅱ	2	2 3 4				
	銀行論Ⅰ	2	2 3 4				
	銀行論Ⅱ	2	2 3 4				
	経済学特論Ⅰ	2	2 3 4				
	経済学特論Ⅱ	2	2 3 4				
演習科目	必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2	必修科目	8	全科目必修
		専門導入演習Ⅱ	1	2			
		専門演習Ⅰ	1	3			
		専門演習Ⅱ	1	3			
		卒業演習Ⅰ	1	4			
		卒業演習Ⅱ	1	4			
		卒業論文・卒業研究	2	4			
自由選択科目	選択科目			14単位以上選択	14	教養科目、情報科目、キャリア科目、基本科目B、各コース科目、展開科目の中から自由に履修できる。経営学科のカリキュラムに掲載されていない経済学科や国際学部国際学科の科目を履修した場合も当欄で単位を認定する。教職課程履修者は教職に関する科目からの履修も可。	

別表 2 (第21条の2関係) 経済学部 経営学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考
教職及び教科に関する科目	選択科目					教職課程履修者のみ履修可
	教育原論	2	1 2			
	教育課程論	2	1 2			
	発達心理学	2	1 2			
	教育心理学	2	1 2			
	特別支援教育概論	2	2 3			
	教職概論	2	1 2			
	教育行政	2	2 3			
	教育法規	2	2 3			
	教育方法・技術論	2	2 3			
	教育とICT活用	2	2 3			
	商業科指導法 I	2	2 3			
	商業科指導法 II	2	2 3			
	総合的な学習の時間の指導法	2	2 3			
	特別活動指導法	2	2 3			
	生徒・進路指導論	2	2 3			
	教育相談	2	2 3			
	教職実践演習	2	4			
	キャリア教育・職業指導 I	2	2 3 4			
キャリア教育・職業指導 II	2	2 3 4				
教育実習指導	1	3 4				
高等学校教育実習	2	4				
			卒業要件単位数		124	

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考			
基礎科目	教養科目	口頭表現	2	1 2 3 4	必修科目	18	18単位以上選択 (内8単位必修)		
		文章表現	2	1 2 3 4	必修科目				
		基礎数学	2	1 2 3 4					
		敬天愛人講座	2	1 2 3 4					
		敬愛プログラム	2	1 2 3 4					
		健康科学	2	1 2 3 4					
		スポーツ教育 I	1	1 2 3 4					
		スポーツ教育 II	1	1 2 3 4					
		哲学	2	1 2 3 4					
		心理学	2	1 2 3 4					
		社会心理学	2	1 2 3 4					
		歴史学	2	1 2 3 4					
		文学	2	1 2 3 4					
		日本語学	2	1 2 3 4					
		言語学	2	1 2 3 4					
		法学	2	1 2 3 4					
		憲法	2	1 2 3 4					
		政治学	2	1 2 3 4					
		社会学	2	1 2 3 4					
		数学 I	2	1 2 3 4					
		数学 II	2	1 2 3 4					
		統計学 I	2	1 2 3 4					
		統計学 II	2	1 2 3 4					
		環境科学	2	1 2 3 4					
		ボランティア活動	2	1 2 3 4					
		世界を知る	2	1 2 3 4					
		AI・DSへのいざない	2	1 2 3 4	必修科目				
		情報概論	2	1 2 3 4					
	演習	1年基礎演習 I	1	1 2 3 4	必修科目				
		1年基礎演習 II	1	1 2 3 4	必修科目				
外国語科目	英語	College English I	2	1 2 3 4	必修科目	16(英米) 20(英米・留) 8(英米以外) 10(英米以外・留)	英米語専攻選択者 16単位以上選択 (留学生は20単位以上選択) 他専攻は8単位以上選択 (留学生は10単位以上選択)		
		College English II	2	1 2 3 4	必修科目				
		Speaking I	1	1 2 3 4	必修科目				
		Speaking II	1	1 2 3 4	必修科目				
		Writing I	1	1 2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Writing II	1	1 2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Listening I	1	1 2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Listening II	1	1 2 3 4	英米語専攻必修科目				
		College English III	2	2 3 4	英米語専攻必修科目				
		College English IV	2	2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Debate I	1	2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Debate II	1	2 3 4	英米語専攻必修科目				
		Basic Grammar I	1	1 2 3 4					
		Basic Grammar II	1	1 2 3 4					
		ビジネス英語 I	1	2 3 4					
		ビジネス英語 II	1	2 3 4					
		時事英語 I	1	2 3 4					
		時事英語 II	1	2 3 4					
		英語以外の外国語	中国語 I	1	1 2 3 4				
			中国語 II	1	1 2 3 4				
			フランス語 I	1	1 2 3 4				
			フランス語 II	1	1 2 3 4				
	ドイツ語 I		1	1 2 3 4					
	ドイツ語 II		1	1 2 3 4					
	日本語	コリア語 I	1	1 2 3 4					
		コリア語 II	1	1 2 3 4					
	日本語	日本語 I	2	1 2 3 4	留学生必修科目				
		日本語 II	2	1 2 3 4					
	情報基礎科目	情報処理 I (情報基礎)	1	1 2 3 4	必修科目			2	2単位必修
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1	1 2 3 4	必修科目				

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考			
専門科目	共通	国際関係入門	2	1 2 3 4		6	6単位以上選択		
		Japan Today	2	1 2 3 4					
		イギリスの文化と社会	2	1 2 3 4					
		アメリカの文化と社会	2	1 2 3 4					
		アジアの文化と社会	2	1 2 3 4					
		国際社会とSDGs	2	2 3 4					
		日本の近現代と世界	2	2 3 4					
		異文化理解	2	2 3 4					
専門科目 (英米語専攻)	導入	英語コミュニケーション	2	1 2 3 4	英米語専攻必修科目	54	英米語専攻選択者 54単位以上選択 (但し14単位は他専攻の専門科目でも可)		
		英語学	2	1 2 3 4	英米語専攻必修科目				
		TOEIC®向上講座 I	2	1 2 3 4					
		英米文化・文学	2	1 2 3 4					
	基本	英語コミュニケーション	英語学概論	2	1 2 3 4				
			英米文化概論	2	1 2 3 4				
			英米文学概論	2	1 2 3 4				
			Advanced Reading I	2	2 3 4			英米語専攻必修科目	
			Advanced Reading II	2	2 3 4			英米語専攻必修科目	
			Advanced Listening I	2	2 3 4			英米語専攻必修科目	
			Advanced Listening II	2	2 3 4			英米語専攻必修科目	
			English for Global Issues I	2	2 3 4			英米語専攻必修科目	
		英語学	マルチメディア (Multimedia)	2	2 3 4				
			TOEIC®向上講座 II	2	2 3 4				
			英文法	2	2 3 4				
			英語の音声	2	2 3 4				
	英米文化・文学	英米文学特講 I (イギリス小説)	2	2 3 4					
		英米文学特講 II (アメリカ小説)	2	2 3 4					
		発展	英語コミュニケーション	English for Global Issues II	2			2 3 4	英米語専攻必修科目
				English Presentation I	2			3 4	英米語専攻必修科目
	English Presentation II			2	3 4			英米語専攻必修科目	
	Advanced Reading III			2	3 4			英米語専攻必修科目	
	Advanced Reading IV			2	3 4			英米語専攻必修科目	
	Academic Writing I			2	3 4			英米語専攻必修科目	
	Academic Writing II		2	3 4	英米語専攻必修科目				
	英語学		英語史	2	2 3 4				
		英語音声学 I	2	2 3 4					
	英米文化・文学	英語音声学 II	2	2 3 4					
		イギリス文学史	2	2 3 4					
		アメリカ文学史	2	2 3 4					
		英米文化特講	2	3 4					
	専門科目 (地域デザイン専攻)	導入	地域デザイン概論	2	1 2 3 4				62
国際政治史			2	1 2 3 4					
基本		千葉学	2	1 2 3 4					
		地域学 I (東アジア)	2	2 3 4					
		地域学 I (東南アジア)	2	2 3 4					
		地域学 I (中東)	2	2 3 4					
		地域学 I (アフリカ)	2	2 3 4					
		地域学 I (ヨーロッパ)	2	2 3 4					
		地域学 I (アメリカ)	2	2 3 4					
		比較文化論	2	2 3 4					
		現代市民社会	2	2 3 4					
		経済政策 I	2	2 3 4					
		経済政策 II	2	2 3 4					
		地方自治論 I	2	2 3 4					
		地方自治論 II	2	2 3 4					
		フィールド調査	2	3 4					
		多文化共生社会	2	3 4					

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考	
発展	移民政策論	2	2 3 4				
	社会開発論	2	2 3 4				
	千葉学実習	2	2 3 4				
	行政法Ⅰ	2	2 3 4				
	行政法Ⅱ	2	2 3 4				
	民法Ⅰ	2	2 3 4				
	民法Ⅱ	2	2 3 4				
	労働法	2	2 3 4				
	地域学Ⅱ(日本・東アジア)	2	3 4				
	地域学Ⅱ(日本・東南アジア)	2	3 4				
	地域学Ⅱ(日本・中東)	2	3 4				
	地域学Ⅱ(日本・アフリカ)	2	3 4				
	地域学Ⅱ(日本・ヨーロッパ)	2	3 4				
	地域学Ⅱ(日本・アメリカ)	2	3 4				
	日本語教員養成	日本語教育入門	2	1 2 3 4			
		現代日本語文法Ⅰ	2	2 3 4			
		現代日本語文法Ⅱ	2	2 3 4			
		心理言語学	2	2 3 4			
		日本語教育方法論	2	2 3 4			
		日本文化論	2	2 3 4			
日本語教育研究Ⅰ		2	2 3 4				
日本語教育研究Ⅱ		2	3 4				
教育実習指導(日本語)	2	3 4					
専門科目(国際ビジネス専攻)	国際経済・経営	入門経済学	2	1 2 3 4		62 国際ビジネス専攻選択者 62単位以上 (但し22単位は他専攻の専門科目でも可)	
		入門経営学	2	1 2 3 4			
		国際法Ⅰ	2	2 3 4			
	AI・データサイエンス	データサイエンス総論	2	1 2 3 4			
		英語で学ぶPython	2	1 2 3 4			
	空港ビジネス	空港ビジネス	2	1 2 3 4			
		入門ツーリズムⅠ	2	1 2 3 4			
		入門ツーリズムⅡ	2	1 2 3 4			
		ホスピタリティ	2	1 2 3 4			
	国際経済・経営	国際経済学	2	2 3 4			
		金融論	2	2 3 4			
		国際法Ⅱ	2	2 3 4			
		国際経営	2	2 3 4			
		簿記会計基礎Ⅰ	2	2 3 4			
		簿記会計基礎Ⅱ	2	2 3 4			
		マーケティング	2	2 3 4			
	AI・データサイエンス	アルゴリズム論	2	2 3 4			
		マーケティングリサーチⅠ	2	2 3 4			
		マーケティングリサーチⅡ	2	2 3 4			
		観光マーケティング調査	2	2 3 4			
社会調査法Ⅰ		2	2 3 4				
社会調査法Ⅱ		2	2 3 4				
AI概論		2	2 3 4				
プログラミング	2	2 3 4					
AI・データサイエンス実践	2	3 4					
空港ビジネス	エアライン論	2	2 3 4				
	観光事業論Ⅰ	2	2 3 4				
	観光事業論Ⅱ	2	2 3 4				
	旅行ビジネス論	2	2 3 4				
	地域観光論	2	2 3 4				
ホテル・ビジネス論	2	2 3 4					

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分		授業科目名	単 位	開講年次	履修方法	単位数	備 考			
発展	国際経済・経営	国際金融論	2	3 4						
		国際貿易論	2	3 4						
		国際経済とビジネスの法	2	3 4						
		国際会計	2	3 4						
		企業ファイナンス	2	3 4						
		情報ビジネス論	2	3 4						
	AI・データサイエンス	社会調査実習Ⅰ	2	3 4						
		社会調査実習Ⅱ	2	3 4						
	空港ビジネス	航空物流論	2	3 4						
専門科目(観光マネジメント専攻)	導入	経営	入門経営学	2	1 2 3 4	62	観光マネジメント専攻選択者 62単位以上 (但し22単位は他専攻の専門科目でも可)			
			経営学	2	1 2 3 4					
		空港・観光	入門ツーリズムⅠ	2	1 2 3 4					
			入門ツーリズムⅡ	2	1 2 3 4					
			空港ビジネス	2	1 2 3 4					
	ホスピタリティ		2	1 2 3 4						
	基本	経営	国際経営	2	2 3 4					
			簿記会計基礎Ⅰ	2	2 3 4					
			簿記会計基礎Ⅱ	2	2 3 4					
			千葉県の産業と行政	2	2 3 4					
			マーケティング	2	2 3 4					
			サービスマーケティング論	2	2 3 4					
			管理会計論	2	2 3 4					
			流通経営論	2	2 3 4					
		観光	観光事業論Ⅰ	2	2 3 4					
			観光事業論Ⅱ	2	2 3 4					
			交通論	2	2 3 4					
			旅行ビジネス論	2	2 3 4					
			ホテル・ビジネス論	2	2 3 4					
			エアライン論	2	2 3 4					
			地域観光論	2	2 3 4					
			観光英語Ⅰ	2	2 3 4					
			観光英語Ⅱ	2	2 3 4					
	観光政策論		2	2 3 4						
	観光統計	2	2 3 4							
	観光マーケティング調査	2	2 3 4							
	異文化理解	日本文化論	2	2 3 4						
		比較文化論	2	2 3 4						
		現代市民社会	2	2 3 4						
		グローバル政治	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(東アジア)	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(東南アジア)	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(中東)	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(アフリカ)	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(ヨーロッパ)	2	2 3 4						
		地域学Ⅰ(アメリカ)	2	2 3 4						
	発展	経営	情報ビジネス論	2	3 4					
			国際観光研究	2	3 4					
		観光	千葉の観光研究	2	3 4					
			観光マーケティング	2	3 4					
		異文化理解	多文化共生社会	2	3 4					
	専門科目	専門研究	2年次専門研究Ⅰ	2	2			必修科目	12	12単位以上
			2年次専門研究Ⅱ	2	2			必修科目		
			3年次専門研究Ⅰ	2	3			必修科目		
			3年次専門研究Ⅱ	2	3			必修科目		
			4年次専門研究Ⅰ	2	4			必修科目		
			4年次専門研究Ⅱ	2	4			必修科目		
卒業論文			2	4						

別表 3 (第21条の2関係) 国際学部 国際学科 教育課程表

区分	授業科目名	単 位	開講年次				履修方法	単 位 数	備 考
キャリア・ インターンシップ科目	キャリアデザインを学ぶ	2	1	2	3	4		4	4単位以上選択
	キャリアプランニング	2	1	2	3	4			
	キャリアディベロップメント	2		2	3	4			
	企業の魅力発見	2		2	3	4			
	実践的キャリア演習Ⅰ	2			3	4			
	実践的キャリア演習Ⅱ	2			3	4			
	ブレインターンシップ	2			3	4			
	インターンシップ	1			3	4			
	ポストインターンシップ	2			3	4			
自由 選択 科目	海外語学研修Ⅰ	2	1	2	3	4		12 8(英米・留) 10(英米以外・留)	12単位以上選択 (英米語専攻を選択した留学生 は8単位以上選択、他専攻を選 択した留学生は10単位以上選 択) ビジネス日本語Ⅰ、Ⅱは留学生 のみ履修可 ※自由選択科目区分以外の 卒業要件単位を超えて修得した 単位を含む(基礎科目、外国語 科目、専門科目、キャリア・イン ターンシップ科目)
	海外語学研修Ⅱ	2	1	2	3	4			
	海外スクーリングⅠ	2	1	2	3	4			
	海外スクーリングⅡ	2	1	2	3	4			
	国内スクーリングⅠ	1	1	2	3	4			
	国内スクーリングⅡ	1	1	2	3	4			
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅰ	1	1	2	3	4			
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅱ	1	1	2	3	4			
	ビジネス日本語Ⅰ	2		2	3	4			
	ビジネス日本語Ⅱ	2		2	3	4			
教 職 及 び 教 科 に 関 す る 科 目	教育原論	2	1	2	3	4			
	教育課程論	2	1	2	3	4			
	教育心理学	2	1	2	3	4			
	発達心理学	2	1	2	3	4			
	特別支援教育概論	2		2	3	4			
	教職概論	2	1	2	3	4			
	教育行政	2		2	3	4			
	教育法規	2		2	3	4			
	英語科指導法Ⅰ	2		2	3	4			
	英語科指導法Ⅱ	2		2	3	4			
	英語科指導法Ⅲ	2		2	3	4			
	英語科指導法Ⅳ	2		2	3	4			
	道徳教育指導法	2		2	3	4			
	総合的な学習の時間の指導法	2		2	3	4			
	特別活動指導法	2		2	3	4			
	教育方法・技術論	2		2	3	4			
	教育とICT活用	2		2	3	4			
	生徒・進路指導論	2		2	3	4			
	教育相談	2		2	3	4			
	教育実習指導	1			3	4			
中学校教育実習	4				4				
高等学校教育実習	2				4				
教職実践演習	2				4				
		卒業要件単位数				124			

別表 4 (第21条の2関係) 教育学部 こども教育学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2
教養教育科目	教養科目	敬天愛人講座	2 1		12単位必修	必修科目以外の科目を8単位以上選択	教養教育科目、専門教育科目の必修科目及び備考1により履修した科目以外の科目から8単位以上選択
		口頭表現	2 1	必修科目			
		文章表現	2 1	必修科目			
		哲学	2 1 2				
		文学	2 1 2				
		国際関係入門	2 1 2	必修科目			
		法学	2 1 2				
		憲法	2 1				
		歴史学	2 1 2				
		心理学	2 1 2				
		基礎数学	2 1 2				
		基礎統計	2 1 2				
		健康運動科学	2 1				
		ボランティア活動	2 1 2				
		情報概論	2 1 2				
		情報処理 I (情報基礎)	1 1	必修科目			
		情報処理 II (プレゼンテーション演習)	1 1	必修科目			
		AI・DSへのいざない	2 1				
	海外スクーリング I	2 1 2 3 4					
	海外スクーリング II	2 1 2 3 4					
	外国語科目	College English I	2 1	必修科目			
		College English II	2 1	必修科目			
		College English III	2 2				
		College English IV	2 2				
		Writing I	1 1 2 3 4				
		Writing II	1 1 2 3 4				
		Listening I	1 1 2 3 4				
		Listening II	1 1 2 3 4				
		Speaking I	1 1 2 3 4				
		Speaking II	1 1 2 3 4				
		Debate I	1 1 2 3 4				
		Debate II	1 1 2 3 4				
		Mother Goose	1 1 2				
海外語学研修 I		2 1 2 3 4					
海外語学研修 II		2 1 2 3 4					
アキヤリ	キャリアプランニング	2 1					
	キャリアデザインを学ぶ	2 1					
	キャリアディベロップメント	2 2					
専門教育科目	専門基礎科目	教育原論	2 1	必修科目	62単位必修	必修科目以外の科目を34単位以上選択	
		発達心理学	2 1	必修科目			
		教育行政	2 2				
		教育課程論	2 1	必修科目			
		教職概論	2 2	必修科目			
		教育方法・技術論	2 2	必修科目			
		教育とICT活用	2 2	必修科目			
		国語(書写を含)	2 2				
		社会	2 2				
		算数	2 2				
		理科	2 1				
		生活	2 2				
		音楽	2 1				
		図画工作	2 1				
		家庭	2 1				
		体育	2 1				
		小学校英語 I	2 1	必修科目			
		小学校英語 II	2 2				
		1年基礎演習 I	1 1	必修科目			
		1年基礎演習 II	1 1	必修科目			
		2年応用演習 I	1 2	必修科目			
		2年応用演習 II	1 2	必修科目			

別表 4 (第21条の2関係) 教育学部 こども教育学科 教育課程表

区分	授業科目名	単位	開講年次	履修方法	単位数	備考 1	備考 2
専門教育科目	専門基幹科目	こども学Ⅰ	2	2	必修科目		
		こども学Ⅱ	2	3	必修科目		
		教育心理学	2	2	必修科目		
		教育法規	2	2			
		生徒・進路指導論	2	3	必修科目		
		特別支援教育概論	2	3	必修科目		
		教育相談	2	3			
		初等国語科指導法	2	2	必修科目		
		初等社会科指導法	2	2	必修科目		
		算数科指導法	2	2	必修科目		
		初等理科指導法	2	2	必修科目		
		生活科指導法	2	3	必修科目		
		初等音楽科指導法	2	2	必修科目		
		図画工作科指導法	2	1	必修科目		
		初等家庭科指導法	2	1	必修科目		
		初等体育科指導法	2	1	必修科目		
		小学校英語指導法Ⅰ	2	2	必修科目		
		小学校英語指導法Ⅱ	2	3			
	道徳教育指導法	2	3	必修科目			
	総合的な学習の時間の指導法	2	2	必修科目			
	特別活動指導法	2	3				
	専門展開科目	文学教材研究	2	2 3 4			
		数と形の不思議	2	2 3 4			
		プログラミング教育	2	2 3 4			
		理科の観察実験	1	2 3 4			
		科学教育論	2	2 3 4			
		音楽と表現	1	2 3 4			
		造形と表現	1	2 3 4			
		教育社会学	2	2 3 4	必修科目		
		メディアリテラシー教育	2	2 3 4			
		学校の安全教育	2	2 3 4			
		学級担任と読書	2	2 3 4			
		社会教育概論	2	2 3 4			
		多文化教育論	2	2 3 4			
		世界のこども教育	2	2 3 4			
		教育哲学	2	2 3 4			
こども教育演習Ⅰ		1	3				
こども教育演習Ⅱ		1	3				
こども教育演習Ⅲ		1	4				
教育実習指導		1	3				
教育実習		4	3				
教職実践演習		2	4				
日本語学		2	2 3				
異文化コミュニケーション		2	2 3				
比較文化論		2	2 3				
日本文化論		2	2 3 4				
児童文学論		2	2 3 4				
英米児童文学		2	2 3 4				
専門研究	3年次専門研究Ⅰ	2	3	必修科目			
	3年次専門研究Ⅱ	2	3	必修科目			
	4年次専門研究Ⅰ	2	4	必修科目			
	4年次専門研究Ⅱ	2	4	必修科目			
	卒業研究	2	4				
		卒業要件単位数			124		

別表 5 (第 32 条関係) 入学検定料

項目	学部			摘 要
	経済学部	国際学部	教育学部	
大学入学共通 テスト利用選抜	10,000 円			単願・併願・3 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料は定額
学校推薦型選抜	16,000 円	16,000 円	16,000 円	指定校推薦、系列校推薦
	32,000 円	32,000 円	32,000 円	公募推薦
総 合 型 選 抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	
一 般 選 抜	32,000 円			2 教科方式 単願・併願・3 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料は定額
	30,000 円			外部試験利用方式 単願・併願・3 併願 共通 ※併願学部数に関係なく、検定料は定額
外国人留学生 選 抜	16,000 円	16,000 円	16,000 円	指定校推薦
	32,000 円	32,000 円	32,000 円	
帰国生・社会人 選 抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	
編 入 学 選 抜	32,000 円	32,000 円	32,000 円	
特 待 生 選 抜	10,000 円	10,000 円	10,000 円	大学入学共通テスト利用選抜者のみ

別表 6 (第 32 条関係) 学 費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	摘 要
入 学 金	250,000 円	250,000 円	250,000 円	入学時のみ
授 業 料	780,000 円	780,000 円	800,000 円	年 額 (前期・後期に分けて分割納入することができる)
施 設 費	250,000 円	250,000 円	250,000 円	年 額 (前期・後期に分けて分割納入することができる)
備 考	編入学者、転入学者、再入学者及び科目等履修生の学費については、別に定める			

別表 7 (第 32 条関係) 教職課程履修費

学部 項目	経済学部	国際学部	教育学部	摘 要
教職課程 履 修 費	60,000 円	60,000 円	—	中学校教諭一種免許状(英語) 中学校教諭一種免許状(社会) の取得希望者
	50,000 円	50,000 円	—	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(商業) の取得希望者
備 考	1. 経済学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(商業) 2. 国際学部で取得可能な教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語) 3. 教育学部で取得可能な教育職員免許状 小学校教諭一種免許状			

変更事項を記載した書類

敬愛大学の収容定員の変更に伴い、下記のとおり敬愛大学学則条文を一部変更する。

I. (学生定員)

第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。

(1) 経済学部経済学科	入学定員	130名
	編入学定員(2年次)	1名
	編入学定員(3年次)	1名
経営学科	入学定員	130名
	編入学定員(2年次)	1名
	編入学定員(3年次)	1名
	収容定員	1,050名
(2) 国際学部国際学科	入学定員	98名
	編入学定員(2年次)	1名
	編入学定員(3年次)	1名
	収容定員	397名
(3) 教育学部こども教育学科	入学定員	72名
	編入学定員(2年次)	1名
	編入学定員(3年次)	1名
	収容定員	293名

以上

敬愛大学 学則変更部分の新旧の比較対照表

新・旧対照表

新	旧																																																																																																																																																																																				
<p>(目的)</p> <p>第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。</p> <p>第2条から第3条の2まで省略</p> <p>(学生定員)</p> <p>第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">(1) 経済学部経済学科</td> <td style="width: 15%;">入学定員</td> <td style="width: 15%; text-align: right;"><u>130名</u></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">経営学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;"><u>130名</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;"><u>1,050名</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 国際学部国際学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;">98名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;">397名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 教育学部こども教育学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;">72名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;">293名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第5条から第50条まで省略</p>	(1) 経済学部経済学科	入学定員	<u>130名</u>					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名				経営学科	入学定員	<u>130名</u>					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	<u>1,050名</u>				(2) 国際学部国際学科	入学定員	98名					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	397名				(3) 教育学部こども教育学科	入学定員	72名					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	293名				<p>(目的)</p> <p>第1条 敬愛大学(以下「本学」という。)は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。</p> <p>第2条から第3条の2まで省略</p> <p>(学生定員)</p> <p>第4条 本学の学部学科の定員は次のとおりとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">(1) 経済学部経済学科</td> <td style="width: 15%;">入学定員</td> <td style="width: 15%; text-align: right;"><u>115名</u></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">経営学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;"><u>110名</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;"><u>910名</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 国際学部国際学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;">98名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;">397名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 教育学部こども教育学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: right;">72名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (2年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>編入学定員 (3年次)</td> <td style="text-align: right;">1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>収容定員</td> <td style="text-align: right;">293名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第5条から第50条まで省略</p>	(1) 経済学部経済学科	入学定員	<u>115名</u>					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名				経営学科	入学定員	<u>110名</u>					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	<u>910名</u>				(2) 国際学部国際学科	入学定員	98名					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	397名				(3) 教育学部こども教育学科	入学定員	72名					編入学定員 (2年次)	1名					編入学定員 (3年次)	1名					収容定員	293名			
(1) 経済学部経済学科	入学定員	<u>130名</u>																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
経営学科	入学定員	<u>130名</u>																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	<u>1,050名</u>																																																																																																																																																																																			
(2) 国際学部国際学科	入学定員	98名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	397名																																																																																																																																																																																			
(3) 教育学部こども教育学科	入学定員	72名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	293名																																																																																																																																																																																			
(1) 経済学部経済学科	入学定員	<u>115名</u>																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
経営学科	入学定員	<u>110名</u>																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	<u>910名</u>																																																																																																																																																																																			
(2) 国際学部国際学科	入学定員	98名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	397名																																																																																																																																																																																			
(3) 教育学部こども教育学科	入学定員	72名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (2年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	編入学定員 (3年次)	1名																																																																																																																																																																																			
	収容定員	293名																																																																																																																																																																																			

(改正)

第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

中 略

附則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず令和6年度から令和9年度までの間、収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経済学部	経済学科	480名	495名	510名	525名
	経営学科	465名	485名	505名	525名
国際学部	国際学科	397名	397名	397名	397名
教育学部	こども教育学科	293名	293名	293名	293名
	合 計	1635名	1670名	1705名	1740名

(改正)

第51条 本学則の改正は、各学部教授会及び大学運営会議の意見を聴いた後、理事会の承認を得て、学長がこれを行う。

附則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

中 略

学則の変更の趣旨等を記載した書類（本文）

目 次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容
 - （ア）教育課程の変更内容
 - （イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容
 - （ウ）教員組織の変更内容
 - （エ）施設・設備の変更内容

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和6年4月より、敬愛大学の経済学部の経済学科及び経営学科の収容定員を以下の通り、変更する。

学 科	収容定員変更前			収容定員変更後		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
経済学科	115	2年次 1 3年次 1	465	<u>130</u>	2年次 1 3年次 1	<u>525</u>
経営学科	110	2年次 1 3年次 1	445	<u>130</u>	2年次 1 3年次 1	<u>525</u>

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

経済学部では、開設以来、本学の教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的な人間力を有した人材として、経済学や経営学に関する理論を学び、実践を通じて現実の問題に応用する実学を身に付けた人材の養成に努めてきたことから、これまで安定的な志願者の確保と高い就職実績を有しており、昨今の18歳人口の減少期においても、入学者選抜の機能を十分に維持できるだけの志願者数を確保しているとともに、就職難の時代においても、毎年多くの企業等から本学の卒業予定者に対する求人が寄せられている。(資料1)、(資料2)

このことは、経済学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの証であり、今後、本学が地域社会に対して高等教育機関としての使命と役割をより一層果たしていくためには、受験生に対して広く教育を受ける機会を提供することで、本学への高い進学需要に応えるとともに、多くの有為な人材を輩出することで、地域社会に対する人的な貢献を果たす必要があると考えている。

このことから、これまでの経済学部における教育研究組織や教育研究内容及び教育研究環境などの整備状況を踏まえたうえで、受験生からの進学需要及び地域社会からの人材需要の高い専門分野における養成規模の充実を図ることにより、地域社会へのさらなる貢献を目指すこととし、入学者選抜の機能が低下しない範囲内で、経済学科と経営学科の収容定員変更を行うこととした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

1) 経済学科

経済学科では、経済学に関する学修を通じて、経済学の知識を基に社会の発展に活かせ

る人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経済学の体系的な理解のもと、経済学的な思考に基づく判断力を身に付け、経済社会における問題解決に向けた経済活動を主体的・創造的に実践することのできる人材を養成することとしている。

経済学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「学部共通科目」と「経済学科専門科目」から編成しており、「学部共通科目」は、「基礎科目」、「言語科目」、「教養科目」、「情報科目」、「キャリア科目」の5つの科目群から構成し、「経済学科専門科目」は、「基本科目A」、「基本科目B」、「コース科目」、「展開科目」、「演習科目」、の5つの科目群から構成しており、教育課程全体の体系的・順次性を確保し、かつ教養教育と専門教育の有機的連携を図ることとしている。

また、「学部共通科目」では、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義を踏まえるとともに、養成しようとする知識や能力を明確にしたうえで、具体的な教育目標を立て、その教育目標に対応する科目群から編成することとしており、「経済学科専門科目」では、基礎・基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次性のある教育課程の編成としている。

「学部共通科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「基礎科目」13科目22単位、「言語科目」4科目4単位、「教養科目」51科目74単位、「情報科目」9科目18単位、「キャリア科目」9科目17単位としており、「学部共通科目」全体として、必修科目17科目26単位、選択科目69科目109単位、合計86科目135単位を配置している。

「経済学科専門科目」の授業科目数と単位数は、「基本科目A」7科目14単位、「基本科目B」26科目52単位、「コース科目」52科目104単位、「展開科目」23科目46単位、「演習科目」7科目8単位、を配置しており、「学科専門科目」全体として、必修科目10科目14単位、選択科目105科目210単位、合計115科目224単位を配置し、4年間の授業全体を通して専門的な知識や能力を体系的に身につけるための教育課程の編成としている。

また、経済学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑に単位を取得することが可能となるよう、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有できるカリキュラムツリーやカリキュラムマップ及び養成する具体的な人材像に対応した履修コースとして、「公共経済コース」、「金融経済コース」、「現代経済コース」の3つの履修コースモデルを示しており、学生の興味と関心や卒業後の進路に応じた適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。(資料3)、(資料4)、(資料5)

このように経済学科では、養成する人材の目的を達成するために、体系的かつ順次性のある教育課程の編成としており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えていることから、収容定員変更に伴う教育課程の変更は行わないこととしている。

2) 経営学科

経営学科では、経営学に関する学修を通じて、グローバルに展開する企業や地域密着型

の企業で活躍できる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経営学に関する幅広い知識とともに、実践的な現場対応力を身に付け、グローバルとローカルという2つの地域的視点で組織をマネジメントできる人材を養成することとしている。

経営学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「学部共通科目」と「経営学科専門科目」から編成しており、「学部共通科目」は、「基礎科目」、「言語科目」、「教養科目」、「情報科目」、「キャリア科目」の5つの科目群から構成し、「経営学科専門科目」は、「基本科目A」、「基本科目B」、「コース科目」、「展開科目」、「演習科目」の5つの科目群から構成しており、教育課程全体の体系性・順次性を確保し、かつ教養教育と専門教育の有機的連携を図ることとしている。

また、「学部共通科目」では、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義を踏まえるとともに、養成しようとする知識や能力を明確にしたうえで、具体的な教育目標を立て、その教育目標に対応する科目群から編成することとしており、「経営学科専門科目」では、基礎・基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次生のある教育課程の編成としている。

「学部共通科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「基礎科目」13科目22単位、「言語科目」4科目4単位、「教養科目」51科目74単位、「情報科目」9科目18単位、「キャリア科目」9科目17単位としており、「学部共通科目」全体として、必修科目17科目26単位、選択科目69科目109単位の合計86科目135単位を配置している。

「経営学科専門科目」の授業科目数と単位数は、「基本科目A」5科目10単位、「基本科目B」25科目50単位、「コース科目」52科目102単位、「展開科目」26科目52単位、「演習科目」7科目8単位、を配置しており、「学科専門科目」全体として、必修科目12科目18単位、選択科目103科目204単位の合計115科目222単位を配置し、4年間の授業全体を通して専門的な知識や能力を体系的に身につけるための教育課程の編成としている。

また、経営学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑に単位を取得することが可能となるよう、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有できるカリキュラムツリーやカリキュラムマップ及び養成する具体的な人材像に対応した履修コースとして、「企業経営コース」、「商業・会計コース」、「スポーツビジネスコース」、「地域・起業コース」の4つの履修コースモデルを示しており、学生の興味と関心や卒業後の進路に応じた適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。(資料6)、(資料7)、(資料8)

このように経営学科では、養成する人材の目的を達成するために、体系性かつ順次性のある教育課程の編成としており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えていることから、収容定員変更に伴う教育課程の変更は行わないこととしている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1) 教育方法

経済学科及び経営学科の授業方法は、学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の修得を目的とする教育内容は、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採ることとしている。

授業の内容に応じた学生数の設定については、授業の内容や授業の方法、施設や設備の状況、実践・実習や演習・研究の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられる人数としており、講義科目は、最大で150人、演習科目は、最大で16人、実践・実習科目は、最大で25人としている。

配当年次は、基礎から応用へと体系的な学習が可能となるよう配慮しており、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないような配当としている。

授業方法は、学生の能動的な学修への参加を促すことから、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることによる能動的学修を導入するとともに、学生の自由な発想力と創造性や感性を養い、実践的な調査力や分析力及び問題発見・解決能力を高めることから、身近な問題や事例を素材とするグループ協同作業で学ぶ問題解決型の学習方式を導入している。

また、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めることから、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1年間に履修科目として登録することができる標準的な単位数の上限を1年次から3年次42単位、4年次46単位と定めている。

さらに、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法や計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うとともに、客観的な評価基準の適用及び厳格な成績評価の方法としてGPA制度を導入している。

このように経済学科及び経営学科では、教育の質保障の観点を踏まえたうえで、教育方法の整備と充実に努めており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えていることから、収容定員変更に伴う教育方法の変更は行わないこととしている。

2) 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、個別のきめ細やかな履修指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生への履修指導体制を整備している。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であるとの認識のもとに、各専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しているとともに、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるよう養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修コースモデルを提示している。

このように、本学では、質保証システムの整備と確立にむけて、個別の学生に対する履修指導体制を整えていることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えており、収容定員変更に伴う履修指導方法の変更は行わないこととしている。

(ウ) 教員組織の変更内容

1) 経済学科

経済学科の教員組織については、教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、年齢構成においても特定の年齢層に偏ることのないよう配慮した組織としている。

経済学科では、令和5年3月現在、大学設置基準に定める基準教員数10人に対して14人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、職位別の配置計画は、教授11人、准教授3人、年齢構成は、60歳台6人、50歳台7人、30歳台1人、から構成することにより、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

経済学科では、今般の収容定員変更により、大学設置基準上で定められる専任教員数が増えることはなく、収容定員変更後においても大学設置基準で定められる専任教員数を上回る専任教員数14人を配置しているが、今般、収容定員が増加することから、新規に専任教員2人を採用することとしており、定員を変更する令和6年4月時点の専任教員数を15人、学年進行終了時の令和9年4月時点の専任教員数を16人とし、職位別の配置は、教授12人、准教授3人、講師1人とすることにより、教員組織の充実を図ることとしている。

なお、経済学科の収容定員変更後の専任教員1人当たりの学生数は、収容定員変更前の33.2人から32.8人となり、大学基準協会が「大学評価達成度並びに水準に関する評定事項」で示している「教養教育担当教員を含め、各学部における専任教員1人あたりの学生数が、人文・社会系では60人以内とする」という水準を下回ることを留意した計画としている。(資料9)

2) 経営学科

経営学科の教員組織については、教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、年齢構成においても特定の年齢層に偏ることのないよう配慮した組織としている。

経営学科では、令和5年3月現在、大学設置基準に定める基準教員数10人に対して14

人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、職位別の配置計画は、教授9人、准教授5人、年齢構成は70歳台1人、60歳台5人、50歳台5人、40歳台1人、30歳台2人から構成することにより、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

経営学科では、今般の収容定員変更により、大学設置基準上で定められる専任教員数が増えることはなく、収容定員変更後においても大学設置基準で定められる専任教員数を上回る専任教員14人を配置しているが、今般、収容定員が増加することから、新規に専任教員2人を採用することとしており、学年進行終了時の令和9年4月時点の専任教員数を16人とし、職位別の配置は、教授10人、准教授5人、講師1人とするることにより、教員組織の充実を図ることとしている。

なお、経営学科の収容定員変更後の専任教員1人当たりの学生数は、収容定員変更前の31.8人から32.8人となるが、大学基準協会が「大学評価達成度並びに水準に関する評定事項」で示している「教養教育担当教員を含め、各学部における専任教員1人あたりの学生数が、人文・社会系では60人以内とする」という水準を下回ることをないよう留意した計画としている。(資料9)

(エ) 施設・設備の変更内容

1) 校地・運動場

経済学科及び経営学科を設置している稲毛キャンパスは、交通の利便性が高く、高等教育機関が集中している文教地区(千葉市稲毛区)に位置しており、現在、校地面積約85,432.51㎡(稲毛キャンパス33,952㎡、佐倉キャンパス28,886.51㎡、萩台グラウンド22,594㎡)を有しており、その内訳は、校舎敷地面積が30,148.95㎡(稲毛キャンパス25,987㎡、佐倉キャンパス4,161.95㎡)、運動場面積が55,283.56㎡(稲毛キャンパス7,965㎡、佐倉キャンパス24,724.56㎡、萩台22,594㎡)、その他2,990となっており、運動用設備としては、野球場、テニスコート等を備えているとともに、敷地内の空地を利用して、学生が休息するための十分な場所を確保することで、大学教育に相応しいキャンパス環境を整えている。

2) 施設・設備

経済学科及び経営学科を設置している稲毛キャンパスは、4棟の校舎等施設を有しており、その総面積は22,024.33㎡で、学部教育に必要となる主要な教室等の内訳としては、講義室29室、演習室23室、実験・実習室4室、情報処理室13室の他、語学教室1室、教員研究室67室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生相談室、学生自習室、学生食堂などを整備している。

経済学科及び経営学科の専任教員の研究室については、専任教員数28名(教授20名、准教授8名)に対して、1室当たり約18㎡の教員研究室28室を設けているとともに、収容定員変更に伴う新規採用教員4人分の教員研究室についても既に整備済である。

稲毛キャンパスの設備については、大学全体における授業科目や授業形態を実施するた

めに必要となる教具650点、校具854点、備品34点を有している。

稲毛キャンパスの図書等については、令和5年3月現在、119,019冊の図書を所蔵しており、その内訳としては、一般教育図書37,032冊（うち外国書8,571冊）、専門図書81,987冊（うち外国書20,239冊）を所蔵しているほか、学術雑誌435種（うち外国雑誌217誌）、電子ジャーナル25,673種、映像資料やCD-ROM等の視聴覚資料7,756点を有している。

稲毛キャンパスで図書館及びラーニング・コモنزの機能を持つメディアセンターは、閲覧席、パソコン用席、ミーティングブース席、オンライン学習用席、可動式テーブル席など様々な座席を設置し、収容定員変更後の大学全体の収容定員1,740人の約18.6%にあたる324席の座席数を確保しているとともに、学内LANに接続されインターネットの利用が可能な情報探索等用パソコン78台、図書館システムでの蔵書検索性パソコン2台、その他コピー機1台を設置している。

また、日本図書館協会や私立大学図書館協議会、千葉県大学図書館協議会への加盟をはじめ、国立情報学研究所の目録所在情報サービスに加盟するとともに、各種研修会等での情報交換や文献複写、相互貸借等のサービスにおいて、他大学図書館との連携を図っている。

このように、経済学科及び経営学科を設置している稲毛キャンパスでは、常に教育研究環境の整備に積極的に取り組み、施設・設備については充実した環境を整えていることから、収容定員変更に伴う施設・設備の変更は行わないこととしている。

学則の変更の趣旨等を記載した書類(添付資料)

目 次

- | | | |
|--------|------|------------------|
| 【資料1】 | 経済学部 | 過去5年間の志願者数等 |
| 【資料2】 | 経済学部 | 過去4年間の求人件数等 |
| 【資料3】 | 経済学科 | カリキュラムツリー |
| 【資料4】 | 経済学科 | カリキュラムマップ |
| 【資料5】 | 経済学科 | 履修モデル |
| 【資料6】 | 経営学科 | カリキュラムツリー |
| 【資料7】 | 経営学科 | カリキュラムマップ |
| 【資料8】 | 経営学科 | 履修モデル |
| 【資料9】 | 経済学部 | 専任教員1人当たりの学生数対比表 |
| 【資料10】 | 経済学部 | 教育課程等の概要 |

【資料 1】 経済学部過去5年間の志願者数等

経済学部

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
入学定員	225	225	225	225	225
志願者数	470	656	806	645	572
受験者数	458	636	779	615	550
合格者数	375	395	384	377	260
入学者数	262	290	275	280	239

※ 経済学部は2年次学科選択制としているため学部により算出

【資料 2】 経済学部 過去の4年間の求人件数等

経済学部 経済学科

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
求人件数	16,068	15,533	16,137	17,458
卒業者数	122	92	112	105
就職希望者数	116	85	97	82
就職者数	114	83	95	81
就職率	98.27%	97.64%	97.93%	98.78%

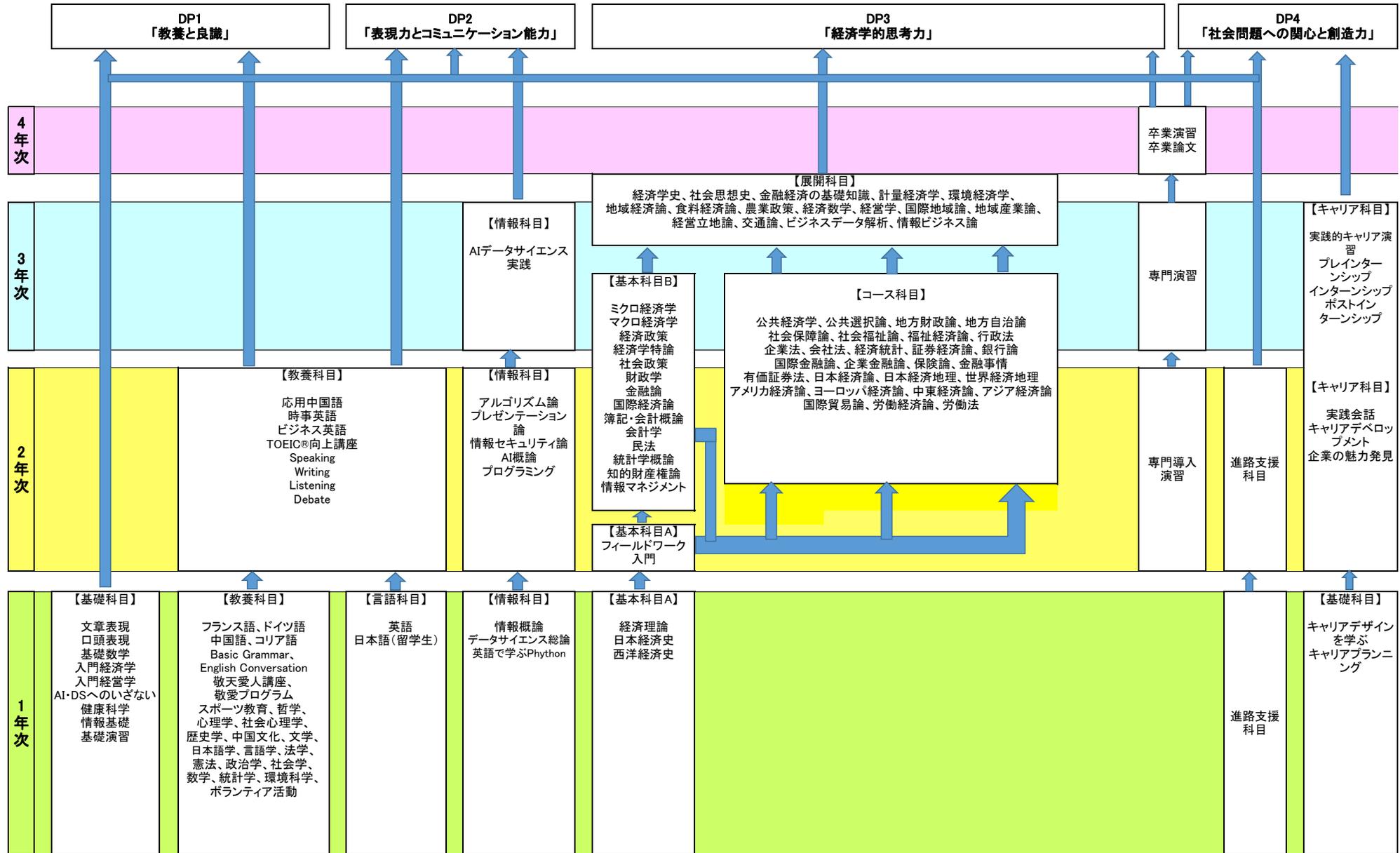
経済学部 経営学科

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
求人件数	16,068	15,533	16,137	17,458
卒業者数	67	62	84	110
就職希望者数	58	50	72	94
就職者数	57	48	65	90
就職率	98.27%	96.00%	90.27%	95.74%

※ 注意

求人件数については大学全体のデータ

【資料 3】 経済学科 カリキュラムツリー



【資料 4】 経済学科 カリキュラムマップ

科目区分		経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等		
						DP1	DP2	DP3	DP4			
学部共通科目		基礎科目 必修科目	文章表現	2	1年～	22 単位	◎	◎			全科目22単位必修	
			口頭表現	2	1年～		◎	◎				
			基礎数学	2	1年～		◎		○			
			入門経済学	2	1年～		◎		◎			
			入門経営学	2	1年～		◎					
			キャリアデザインを学ぶ	2	1年～		◎			○		
			キャリアプランニング	2	1年～		◎			○		
			AI・DSへのいざない	1	1年～		◎	◎				
			健康科学	2	1年～		◎					
			情報基礎 I	1	1年～		◎	○		○		
			情報基礎 II	1	1年～		◎	○		○		
			基礎演習 I	1	1年～		◎	○	○			
基礎演習 II	1	1年～	◎	○	○							
言語科目		必修科目	英語 I A	1	1年～	4 単位	○	◎		☆	日本人は、英語4単位必修	
			英語 I B	1	1年～		○	◎		☆		
			英語 II A	1	1年～		○	◎		☆		
			英語 II B	1	1年～		○	◎		☆		
			日本語 I	2	1年～		○	◎		☆		
			日本語 II	2	1年～		○	◎		☆		
教養科目		選択科目	フランス語 I	1	1年～	16 単位	○	○		☆	16単位以上選択	
			フランス語 II	1	1年～		○	○		☆		
			ドイツ語 I	1	1年～		○	○		☆		
			ドイツ語 II	1	1年～		○	○		☆		
			中国語 I	1	1年～		○	○		☆		
			中国語 II	1	1年～		○	○		☆		
			応用中国語 I	1	2年～		○	○		☆		
			応用中国語 II	1	2年～		○	○		☆		
			時事英語 I	1	2年～		○	○		☆		
			時事英語 II	1	2年～		○	○		☆		
			ビジネス英語 I	1	2年～		○	○		☆		
			ビジネス英語 II	1	2年～		○	○		☆		
			Basic Grammar I	1	1年～				☆			
			Basic Grammar II	1	1年～				☆			
			コリア語 I	1	1年～				☆			
			コリア語 II	1	1年～				☆			
			TOEIC® 向上講座 I	2	2年～				☆			
			TOEIC® 向上講座 II	2	2年～				☆			
			Speaking I	1	2年～				☆			
			Speaking II	1	2年～				☆			
			Writing I	1	2年～				☆			
			Writing II	1	2年～				☆			
			Listening I	1	2年～				☆			
			Listening II	1	2年～				☆			
			Debate I	1	2年～				☆			
			Debate II	1	2年～				☆			
			English Conversation(オンライン英会話) I	1	1年～				◎	☆		
			English Conversation(オンライン英会話) II	1	1年～				◎	☆		
			敬天愛人講座	2	1年～				◎	◎		
			敬愛プログラム	2	1年～				○	◎		☆
			スポーツ教育 I	2	1年～				○			
			スポーツ教育 II	2	1年～				○			
			哲学	2	1年～				○			
			心理学	2	1年～				○			
社会心理学	2	1年～			○							
歴史学	2	1年～			○							
中国文化 I	2	1年～			○							
中国文化 II	2	1年～			○							
文学	2	1年～			○							
日本語学	2	1年～			☆							
言語学	2	1年～			☆							
法学	2	1年～			○							
憲法	2	1年～			○							
政治学	2	1年～			○							
社会学	2	1年～			○							

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3	DP4			
経済学科DP	DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済学的な思考に基づく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。										
	学部共通科目	情報科目	選択科目	数学Ⅰ	2	1年～	◎		○		2単位以上選択
				数学Ⅱ	2	1年～	◎		○		
				統計学Ⅰ	2	1年～	◎		○		
				統計学Ⅱ	2	1年～	◎		○		
				環境科学	2	1年～	○				
				ボランティア活動	2	1年～	○			☆	
		情報概論	2	1年～		○					
		データサイエンス総論	2	1年～	○	○					
		英語で学ぶPython	2	1年～	☆						
		アルゴリズム論	2	2年～		○					
		プレゼンテーション論	2	2年～		○					
		情報セキュリティ論	2	2年～		○					
	AI概論	2	2年～	○	○						
	プログラミング	2	2年～	○	○						
	AIデータサイエンス実践	2	3年～		○	○					
	キャリア科目	選択科目	実践会話Ⅰ	2	2年～		○			2単位以上選択	
			実践会話Ⅱ	2	2年～		○				
			キャリアディベロップメント	2	2年～		○		○		
			企業の魅力発見	2	2年～		○		○		
			実践的キャリア演習Ⅰ	2	3年～		○		○		
			実践的キャリア演習Ⅱ	2	3年～		○		○		
			ブレインターンシップ	2	3年～		○		○		
			インターシップ	1	3年～		○		○		
ポストインターシップ	2	3年～		○		○					
経済学科専門科目	基本科目A	選択必修科目	経済理論A	2	1年～	◎		◎	○	※経済理論4単位必修 フィールドワーク入門2単位必修 ※経済史4単位必修 日本経済史、西洋経済史のいずれかを選択すること。両者のⅠ・Ⅱの組み合わせは不可	
			経済理論B	2	1年～	◎		◎	○		
			日本経済史Ⅰ	2	1年～	○		○	○		
			日本経済史Ⅱ	2	1年～	○		○	○		
			西洋経済史Ⅰ	2	1年～	○		○	○		
			西洋経済史Ⅱ	2	1年～	○		○	○		
			フィールドワーク入門	2	2年～		◎		◎		
			基本科目B	選択科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				◎
	ミクロ経済学Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	マクロ経済学Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	マクロ経済学Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	経済政策Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	経済政策Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	経済学特論Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	経済学特論Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	社会政策Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	社会政策Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	財政学Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	財政学Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	金融論Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	金融論Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	国際経済論Ⅰ	2			2年～			◎	○		
	国際経済論Ⅱ	2			2年～			◎	○		
	簿記・会計概論Ⅰ	2	2年～	◎	☆		○				
簿記・会計概論Ⅱ	2	2年～	◎	☆		○					
会計学Ⅰ	2	2年～	◎	☆		○					
会計学Ⅱ	2	2年～	◎	☆		○					
民法Ⅰ	2	2年～	○			○					
民法Ⅱ	2	2年～	○			○					
統計学総論Ⅰ	2	2年～	○		◎	○					
統計学総論Ⅱ	2	2年～	○		◎	○					
知的財産権論	2	2年～	☆			☆					
情報マネジメント	2	2年～	☆			☆					
コース科目	選択科目	公共経済学	2	2年～			◎	☆	10単位以上選択		
		公共選択論	2	2年～			○	☆			
		地方財政論Ⅰ	2	2年～			◎	☆			
		地方財政論Ⅱ	2	2年～			◎	☆			
		地方自治論Ⅰ	2	2年～			○	☆			
		地方自治論Ⅱ	2	2年～			○	☆			

経済学 科 D P	DP1. 社会科学を機軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。 DP2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。 DP3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済学的な思考に基づく適切な判断力を身につける。 DP4. 社会問題への関心と想像力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。
--------------------	--

科目区分	経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要 単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	
	社会保障論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	社会保障論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	社会福祉論	2	2年～				○	☆	
	福祉経済論	2	2年～				○	☆	
	行政法Ⅰ	2	2年～		○			☆	
	行政法Ⅱ	2	2年～		○			☆	
	企業法	2	2年～		○			☆	
	会社法	2	2年～		○			☆	
	経済統計Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	経済統計Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	証券経済論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	証券経済論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	銀行論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	銀行論Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	国際金融論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	国際金融論Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	企業金融論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	企業金融論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	保険論	2	2年～				○	☆	
	金融事情Ⅰ	2	2年～			☆	○	☆	
	金融事情Ⅱ	2	2年～			☆	○	☆	
	有価証券法	2	2年～		○			☆	
	日本経済論Ⅰ	2	2年～				◎	☆	
	日本経済論Ⅱ	2	2年～				◎	☆	
	日本経済地理	2	2年～		○			☆	
	世界経済地理	2	2年～		○			☆	
	アメリカ経済論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	アメリカ経済論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	中東経済論	2	2年～				○	☆	
	アジア経済論	2	2年～				○	☆	
	国際貿易論	2	2年～				○	☆	
	労働経済論Ⅰ	2	2年～				○	☆	
	労働経済論Ⅱ	2	2年～				○	☆	
	労働法	2	2年～		○			☆	
	進路支援講座A(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座B(数的リテラシー)	2	1年～		○			○	
	進路支援講座C(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座D(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座E(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座F(公務員)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座G(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座H(日経新聞を読む)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座I(教職)	2	2年～		○			○	
	進路支援講座J(教職)	2	2年～		○			○	

進路支援科目

科目区分		経済学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)				卒業要件等	
						DP1	DP2	DP3	DP4		
展開科目	選択科目	経済学史Ⅰ	2	2年～	16 単 位			○		16単位以上選択	
		経済学史Ⅱ	2	2年～				○			
		社会思想史Ⅰ	2	2年～		○					
		社会思想史Ⅱ	2	2年～		○					
		金融経済の基礎知識	2	2年～		◎		○			
		計量経済学Ⅰ	2	2年～				◎	☆		
		計量経済学Ⅱ	2	2年～				◎	☆		
		環境経済学Ⅰ	2	2年～				○			
		環境経済学Ⅱ	2	2年～				○			
		地域経済論	2	2年～				○			
		食料経済論	2	2年～				○			
		農業政策	2	2年～				○			
		経済数学Ⅰ	2	2年～				◎			
		経済数学Ⅱ	2	2年～				◎			
		経営学Ⅰ	2	2年～		○					
		経営学Ⅱ	2	2年～		○					
		国際地域論Ⅰ	2	2年～		○					
		国際地域論Ⅱ	2	2年～		○					
		地域産業論	2	2年～					○		
		経営立地論	2	2年～					○		
交通論	2	2年～				○					
ビジネスデータ解析	2	2年～			○	○					
情報ビジネス論	2	3年～			○	○					
演習科目	必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単 位	○	◎	○	☆	全科目8単位必修	
		専門導入演習Ⅱ	1	2年～		○	◎	○	☆		
		専門演習Ⅰ	1	3年～		○	◎	◎	◎		
		専門演習Ⅱ	1	3年～		○	◎	◎	◎		
		卒業演習Ⅰ	1	4年～		○	◎	◎	◎		
		卒業演習Ⅱ	1	4年～		○	◎	◎	◎		
		卒業論文	2	4年～		○	◎	◎	◎		
自由選択科目	各科目群から卒業要件単位を超えて自由に選択した科目				14 単 位				14単位以上選択		
卒業要件単位数 124単位											
到達目標	公共経済コース		金融経済コース				現代経済コース				
	公共部門(国、地方自治体)において、経済計画、都市計画など政策策定に必要な経済学的分析力、応用力、展開力を身につける		銀行・証券・保険などの金融業界および、その関連業界において、経済動向や経営状況の判断に必要な知識や分析力を身につける				社会が直面する様々な経済問題を、歴史や理論から探求し、日本や世界の経済について考察する力を身につける				

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI-DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 2 1 1													
小計		10		12													22
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													
小計		2		2													4
教養科目 (16)	敬天愛人講座 数学Ⅰ	2 2	憲法 数学Ⅱ	2 2	法学 政治学 統計学Ⅰ	2 2 2	統計学Ⅱ	2									
小計		4		4		6		2									16
情報科目 (2)					AI概論	2	情報概論	2									
小計						2		2									4
キャリア科目 (2)							企業の魅力発見	2	実践的キャリア演習Ⅰ	2							
小計								2		2							4
経済学科 専門科目	基本科目A (10)	●経済理論A ○日本経済史Ⅰ	●経済理論B ○日本経済史Ⅱ	2 2	●フィールドワーク入門	2											
	小計			4		2											10
	基本科目B (20)				ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 民法Ⅰ	2 2 2	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 民法Ⅱ	2 2 2	経済政策Ⅰ 社会政策Ⅰ 財政学Ⅰ	2 2 2	経済政策Ⅱ 社会政策Ⅰ 財政学Ⅱ	2 2 2					
	小計					6		6		6		6					24
	コース科目 (10)				地方自治論Ⅰ 環境経済学Ⅰ	2 2	地方自治論Ⅱ 環境経済学Ⅱ	2 2	公共経済学 進路支援講座C(公務員)	2 2	公共選択論 進路支援講座D(公務員)	2 2					
	小計					4		4		4		4					16
	展開科目 (16)						地域経済論	2	経済学史Ⅰ 経済数学Ⅰ	2 2	経済学史Ⅱ 経済数学Ⅱ 地域産業論	2 2 2	食料経済論	2	農業政策	2	
	小計							2		4		6		2		2	16
演習科目 (8)					●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	
小計						1		1		1		1		1		3	8
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																	
小計																	0
合計		20		22		21		19		17		17		3		5	124

1年計 42

2年計 40

3年計 34

4年計 8

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学(前期/後期) ●キャリアプランニング ●AI・DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 2 1 1														
小計		10		12													22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													4	
小計		2		2													4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座) 数学Ⅰ	2 2	数学Ⅱ	2	法学 政治学 統計学Ⅰ	2 2 2	憲法 統計学Ⅱ	2 2									16	
小計		4		2		6		4									16	
情報科目 (2)			データサイエンス総論	2	AI概論	2	情報セキュリティ論	2			AI・データサイエンス実践	2					8	
小計				2		2		2				2					8	
キャリア科目 (2)									実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2					4	
小計										2		2					4	
経済学科 専門科目	基本科目A (10)	●経済理論A ○日本経済史Ⅰ	●経済理論B ○日本経済史Ⅱ	2 2	●フィールドワーク入門	2											10	
	小計			4		2											10	
	基本科目B (20)				ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 民法Ⅰ	2 2 2	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 民法Ⅱ	2 2 2	金融論Ⅰ 国際経済論Ⅰ 会計学Ⅰ	2 2 2	金融論Ⅱ 国際経済論Ⅱ 会計学Ⅱ	2 2 2					24	
	小計					6		6		6		6					24	
	コース科目 (10)				金融事情Ⅰ	2	金融事情Ⅱ	2	銀行論Ⅰ 国際金融論Ⅰ	2 2	銀行論Ⅱ 国際金融論Ⅱ	2 2					12	
	小計					2		2		4		4					12	
	展開科目 (16)				金融経済の基礎知識	2	地域産業論	2	経営学Ⅰ 国際地域論Ⅰ	2 2	経営学Ⅱ 国際地域論Ⅱ	2 2	ビジネスデータ解析	2	情報ビジネス論	2		16
	小計					2		2		4		4		2		2	16	
演習科目 (8)				●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2		8	
小計					1		1		1		1		1		3	8		
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																	0	
小計																	0	
合計		20		22		21		17		17		19		3		5	124	

1年計 42

2年計 38

3年計 36

4年計 8

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI・DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1														
小計		10		12													22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													4	
小計		2		2													4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座 政治学	2 2	憲法	2	統計学Ⅰ ボランティア活動	2 2	歴史学 社会学 統計学Ⅱ	2 2 2									16	
小計		4		2		4		6									16	
情報科目 (2)			データサイエンス総論	2	AI概論	2					AI・データサイエンス実践	2					6	
小計				2		2						2					6	
キャリア科目 (2)							企業の魅力発見	2	実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2					6	
小計								2		2		2					6	
経済学科 専門科目	基本科目A (10)	●経済理論A ○西洋経済史Ⅰ	2 2	●経済理論B ○西洋経済史Ⅱ	2 2	●フィールドワーク入門	2										10	
	小計		4		4		2										10	
	基本科目B (20)					ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 国際経済論Ⅰ	2 2 2	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 国際経済論Ⅱ	2 2 2	経済政策Ⅰ 統計学総論Ⅰ	2 2	経済政策Ⅱ 統計学総論Ⅰ	2 2	社会政策Ⅰ	2	社会政策Ⅰ	2	24
	小計						6		6		4		4		2		24	
	コース科目 (10)					日本経済論Ⅰ	2	日本経済論Ⅱ	2	アメリカ経済論Ⅰ ヨーロッパ経済論Ⅰ	2 2	アメリカ経済論Ⅱ ヨーロッパ経済論Ⅱ	2 2					12
	小計						2		2		4		4					12
	展開科目 (16)					社会思想史Ⅰ	2	社会思想史Ⅱ	2	計量経済学Ⅰ 環境経済学Ⅰ	2 2	計量経済学Ⅱ 環境経済学Ⅱ	2 2	ビジネスデータ解析	2	情報ビジネス論	2	16
	小計						2		2		4		4		2			16
演習科目 (8)					●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	8	
小計						1		1		1		1		1			8	
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																	0	
小計																	0	
合計		20		22		19		19		15		17		5		7	124	

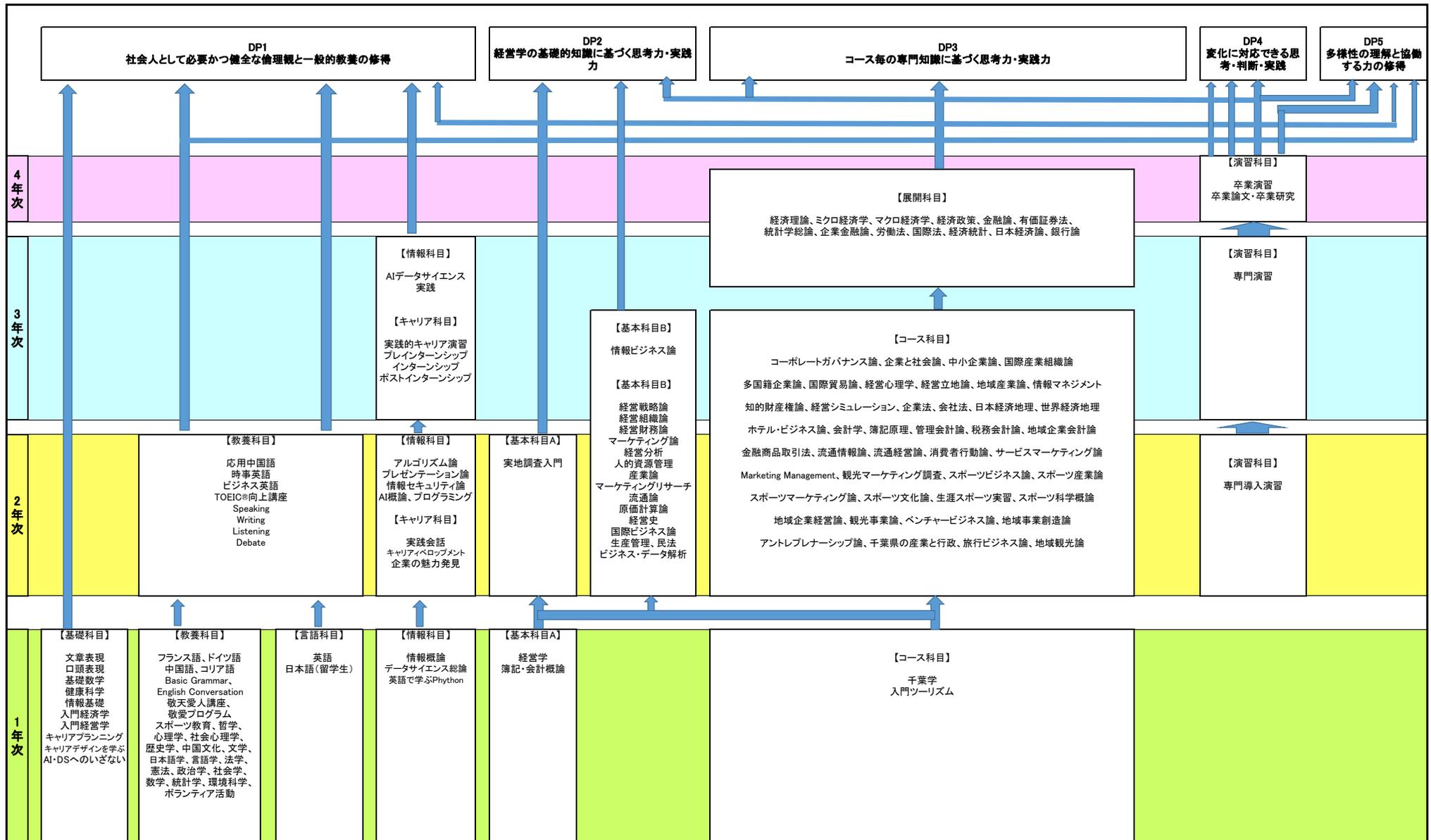
1年計 42

2年計 38

3年計 32

4年計 12

【資料 6】 経営学科 カリキュラムツリー



【資料 7】経営学科 カリキュラムマップ

科目区分		経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等	
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
経営学科DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実践する力を身につけた企業人として変化に対応する力を身につける DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける										
学部共通科目	基礎科目	必修科目	文章表現	2	1年～	22 単位	◎					全科目22単位必修
		口頭表現	2	1年～	◎							
		基礎数学	2	1年～	◎							
入門経済学		2	1年～	◎								
入門経営学		2	1年～	◎								
キャリアデザインを学ぶ		2	1年～	◎								
キャリアプランニング		2	1年～	◎								
AI・DSへのいざない		2	1年～	◎								
健康科学		2	1年～	◎								
情報基礎Ⅰ		1	1年～	◎								
情報基礎Ⅱ		1	1年～	◎								
基礎演習Ⅰ	1	1年～	○				◎					
基礎演習Ⅱ	1	1年～	○				◎					
言語科目	必修科目	英語ⅠA	1	1年～	4 単位	◎					日本人は、英語4単位必修	
		英語ⅠB	1	1年～		◎						
		英語ⅡA	1	1年～		◎						
		英語ⅡB	1	1年～		◎						
		日本語Ⅰ	2	1年～		○						
日本語Ⅱ	2	1年～	○					留学生は、日本語4単位必修				
教養科目	選択科目	フランス語Ⅰ	1	1年～	16 単位	○					16単位以上選択	
		フランス語Ⅱ	1	1年～		○						
		ドイツ語Ⅰ	1	1年～		○						
		ドイツ語Ⅱ	1	1年～		○						
		中国語Ⅰ	1	1年～		○						
		中国語Ⅱ	1	1年～		○						
		応用中国語Ⅰ	1	2年～		☆						
		応用中国語Ⅱ	1	2年～		☆						
		時事英語Ⅰ	1	2年～		○						
		時事英語Ⅱ	1	2年～		○						
		ビジネス英語Ⅰ	1	2年～		○						
		ビジネス英語Ⅱ	1	2年～		○						
		Basic GrammarⅠ	1	1年～		☆						
		Basic GrammarⅡ	1	1年～		☆						
		コリア語Ⅰ	1	1年～		☆						
		コリア語Ⅱ	1	1年～		☆						
		TOEIC® 向上講座Ⅰ	2	2年～		☆						
		TOEIC® 向上講座Ⅱ	2	2年～		☆						
		SpeakingⅠ	1	2年～		☆						
		SpeakingⅡ	1	2年～		☆						
		WritingⅠ	1	2年～		☆						
		WritingⅡ	1	2年～		☆						
		ListeningⅠ	1	2年～		☆						
		ListeningⅡ	1	2年～		☆						
		DebateⅠ	1	2年～		☆						
		DebateⅡ	1	2年～		☆						
		English Conversation(オンライン英会話)Ⅰ	1	1年～		☆						
		English Conversation(オンライン英会話)Ⅱ	1	1年～		☆						
		敬愛愛人講座	2	1年～		○						
		敬愛プログラム	2	1年～		○		○	○			
		スポーツ教育Ⅰ	1	1年～		☆						
		スポーツ教育Ⅱ	1	1年～		☆						
哲学	2	1年～	☆									
心理学	2	1年～	○									
社会心理学	2	1年～	○									
歴史学	2	1年～	○									
中国文化Ⅰ	2	1年～	☆									
中国文化Ⅱ	2	1年～	☆									
文学	2	1年～	○									
日本語学	2	1年～	☆									
言語学	2	1年～	☆									
法学	2	1年～	○									
憲法	2	1年～	☆									
政治学	2	1年～	○									
社会学	2	1年～	☆									

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
経営学科DP	DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実践する力を身につけた企業人として変化に対応する力を身につける DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける											
	学部共通科目	情報科目	選択科目	数学 I	2	1年～	☆					2単位以上選択
			数学 II	2	1年～	☆						
			統計学 I	2	1年～	○						
			統計学 II	2	1年～	○						
			環境科学	2	1年～	☆						
		ボランティア活動	2	1年～	☆							
		情報科目	選択科目	情報概論	2	1年～	○					
		データサイエンス総論	2	1年～	○							
		英語で学ぶPython	2	1年～	☆							
		アルゴリズム論	2	2年～	○							
	プレゼンテーション論	2	2年～	☆								
	情報セキュリティ論	2	2年～	○								
	AI概論	2	2年～	○								
	プログラミング	2	2年～	○								
	AIデータサイエンス実践	2	3年～	○								
	キャリア科目	選択科目	実践会話 I	2	2年～	☆						
	実践会話 II	2	2年～	☆								
	キャリアディベロップメント	2	2年～	○				☆				
	企業の魅力発見	2	2年～	○								
実践的キャリア演習 I	2	3年～	○									
実践的キャリア演習 II	2	3年～	○									
ブレインターンシップ	2	3年～	○									
インターンシップ	1	3年～	○									
ポストインターンシップ	2	3年～	○									
経営学科専門科目	基本科目 A	必修科目	経営学 I	2	1年～		◎				全科目必修 10単位	
		経営学 II	2	1年～		◎						
		簿記・会計概論 I	2	1年～		◎						
		簿記・会計概論 II	2	1年～		◎						
		実地調査入門	2	2年～		◎		○	○			
	基本科目 B	選択科目	経営戦略論 I	2	2年～		◎				20単位以上選択	
		経営戦略論 II	2	2年～		◎						
		経営組織論 I	2	2年～		◎						
		経営組織論 II	2	2年～		◎						
		経営財務論 I	2	2年～		◎						
		経営財務論 II	2	2年～		◎						
		マーケティング論	2	2年～		○						
		経営分析 I	2	2年～		○						
		経営分析 II	2	2年～		○						
		人的資源管理 I	2	2年～		○						
		人的資源管理 II	2	2年～		○						
		産業論	2	2年～		○						
		マーケティングリサーチ I	2	2年～		○						
		マーケティングリサーチ II	2	2年～		○						
		流通論	2	2年～		○						
		原価計算論 I	2	2年～		☆						
		原価計算論 II	2	2年～		☆						
		経営史 I	2	2年～		☆						
		経営史 II	2	2年～		☆						
		国際ビジネス論	2	2年～		○						
		生産管理	2	2年～		☆						
		民法 I	2	2年～		☆						
		民法 II	2	2年～		☆						
		ビジネスデータ解析	2	2年～		○						
		情報ビジネス論	2	3年～		☆						
コース科目	選択科目	コーポレートガバナンス論	2	2年～			○			10単位以上選択		
	企業と社会論	2	2年～			○						
	中小企業論 I	2	2年～			○						
	中小企業論 II	2	2年～			○						
	国際産業組織論	2	2年～			○						
	多国籍企業論	2	2年～			○						
	国際貿易論	2	2年～			○						
	経営心理学	2	2年～			○						
	経営立地論	2	2年～			○						
	地域産業論	2	2年～			○						
	情報マネジメント	2	2年～			○						
	知的財産権論	2	2年～			○						
	経営シミュレーション	2	2年～			○						

経営学科 D P
 DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる
 DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる
 DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる
 DP4. 思考・判断・実践する力を身につけた企業人として変化に対応する力を身につける
 DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける

科目区分	経営学科設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
経営学科専門科目	企業法	2	2年～				○			
	会社法	2	2年～				○			
	日本経済地理	2	2年～				○			
	世界経済地理	2	2年～				○			
	ホテル・ビジネス論	2	2年～				○			
	会計学Ⅰ	2	2年～				○			
	会計学Ⅱ	2	2年～				○			
	簿記原理Ⅰ	2	2年～				○			
	簿記原理Ⅱ	2	2年～				○			
	管理会計論	2	2年～				○			
	税務会計論Ⅰ	2	2年～					☆		
	税務会計論Ⅱ	2	2年～					☆		
	地域企業会計論	2	2年～					☆		
	金融商品取引法	2	2年～					☆		
	流通情報論	2	2年～					○		
	流通経営論	2	2年～					○		
	消費者行動論	2	2年～					○		
	サービスマーケティング論	2	2年～					○		
	Marketing Management	2	2年～					☆		
	観光マーケティング調査	2	2年～					☆		
	スポーツビジネス論	2	2年～					○		
	スポーツ産業論	2	2年～					○		
	スポーツマーケティング論	2	2年～					○		
	スポーツ文化論	2	2年～					○		
	生涯スポーツ実習Ⅰ	1	2年～					○		
	生涯スポーツ実習Ⅱ	1	2年～					○		
	スポーツ科学概論	2	2年～					○		
	地域企業経営論	2	2年～					○		
	観光事業論Ⅰ	2	2年～					☆		
	観光事業論Ⅱ	2	2年～					☆		
	千葉学	2	1年～					○		
	入門ツーリズムⅠ	2	1年～					○		
	入門ツーリズムⅡ	2	1年～					○		
	ベンチャービジネス論	2	2年～					○		
地域事業創造論	2	2年～					○			
アントレプレナーシップ論	2	2年～					○			
千葉県の産業と行政	2	2年～					○			
旅行ビジネス論	2	2年～					○			
地域観光論	2	2年～					○			

経営学 科目 DP		DP1. 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる DP2. 経営学の基礎的知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる DP4. 思考・判断・実践する力を身につけた企業人として変化に対応する力を身につける DP5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける										
科目区分	経営学設置科目名	単位数	配当学年	必要単位数	◎必ず履修すべき科目(最重要科目) ○履修を推奨する科目(重要科目) ☆能力向上に役立つ科目(発展科目)					卒業要件等		
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5			
経営学 専門科目	展開科目 選択科目	経済理論A	2	2年～	16 単位			☆			16単位以上選択	
		経済理論B	2	2年～				☆				
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆				
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆				
		マクロ経済学Ⅰ	2	2年～				☆				
		マクロ経済学Ⅱ	2	2年～				☆				
		経済政策Ⅰ	2	2年～				☆				
		経済政策Ⅱ	2	2年～				☆				
		金融論Ⅰ	2	2年～				☆				
		金融論Ⅱ	2	2年～				☆				
		有価証券法	2	2年～				○				
		統計学総論Ⅰ	2	2年～				○				
		統計学総論Ⅱ	2	2年～				○				
		企業金融論Ⅰ	2	2年～				☆				
		企業金融論Ⅱ	2	2年～				☆				
		労働法	2	2年～				☆				
		国際法Ⅰ	2	2年～				☆				
		国際法Ⅱ	2	2年～				☆				
		経済統計Ⅰ	2	2年～				☆				
		経済統計Ⅱ	2	2年～				☆				
		日本経済論Ⅰ	2	2年～				☆				
		日本経済論Ⅱ	2	2年～				☆				
		銀行論Ⅰ	2	2年～				☆				
	銀行論Ⅱ	2	2年～			☆						
	経済学特論Ⅰ	2	2年～			☆						
	経済学特論Ⅱ	2	2年～			☆						
	演習科目 必修科目	専門導入演習Ⅰ	1	2年～	8 単位		○	○	○	◎		全科目必修8単位
		専門導入演習Ⅱ	1	2年～			○	○	○	◎		
		専門演習Ⅰ	1	3年～			○	○	◎	◎		
		専門演習Ⅱ	1	3年～			○	○	◎	◎		
		卒業演習Ⅰ	1	4年～			○	○	◎	◎		
		卒業演習Ⅱ	1	4年～			○	○	◎	◎		
		卒業論文・卒業研究	2	4年～			◎	◎	◎	◎		
自由選択科目	各科目群から卒業要件単位を超えて自由に選択した科目			14 単位					14単位以上選択			
卒業要件単位数 124単位												
到達目標	企業経営コース		商業・会計コース		スポーツビジネスコース		地域・起業コース					
	企業経営全般に関する応用的知識と考え方の修得		商業や会計に関する応用的知識と考え方の修得		スポーツビジネスに関する応用的知識と考え方の修得		地域(特に千葉県)に密着した産業特性と、個々の経営特性を修得し、起業家的能力を修得					

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI・DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1													
小計		10		12												22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1												4	
小計		2		2												4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座 数学Ⅰ	2 2	憲法 数学Ⅱ	2 2	法学 統計学Ⅰ	2 2	社会心理学 統計学Ⅱ	2 2								16	
小計		4		4		4		4								16	
情報科目 (2)							情報セキュリティ論	2								2	
小計								2								2	
キャリア科目 (2)									実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2				4	
小計										2		2				4	
経営学科 専門科目	基本科目A (10)	●経営学Ⅰ ●簿記・会計概論Ⅰ	2 2	●経営学Ⅱ ●簿記・会計概論Ⅱ	2 2	●実地調査入門	2									10	
	小計		4		4		2									10	
	基本科目B (20)					経営戦略論Ⅰ 経営史Ⅰ	2 2	経営戦略論Ⅱ 経営史Ⅱ	2 2	経営組織論Ⅰ 経営財務論Ⅰ 経営分析Ⅰ 人的資源管理Ⅰ	2 2 2 2	経営組織論Ⅱ 経営財務論Ⅱ 経営分析Ⅱ 人的資源管理Ⅱ	2 2 2 2			24	
	小計						4		4		8		8			24	
	コース科目 (10)					コーポレートガバナンス論 中小企業論Ⅰ 経営心理学	2 2 2	企業と社会論 中小企業論Ⅱ	2 2	経営立地論	2	地域産業論 企業法	2 2	会社法	2		18
	小計						6		4		2		4		2		18
	展開科目 (16)					経済理論A	2	経済理論B	2	金融論Ⅰ 企業金融論Ⅰ	2 2	金融論Ⅱ 企業金融論Ⅱ	2 2	銀行論Ⅰ	2	銀行論Ⅱ	2
小計						2		2		4		4		2		16	
演習科目 (8)					●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	8
小計						1		1		1		1		1	3	8	
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																0	
小計																0	
合計		20		22		19		17		17		19		5		5	124

1年計 42

2年計 36

3年計 36

4年計 10

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI・DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1														
小計		10		12													22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													4	
小計		2		2													4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座 政治学	2 2	法学 憲法	2 2	数学Ⅰ 統計学Ⅰ	2 2	数学Ⅱ 統計学Ⅱ	2 2									16	
小計		4		4		4		4									16	
情報科目 (2)					AI概論	2				AI・データサイエンス実践	2						4	
小計						2					2						4	
キャリア科目 (2)							企業の魅力発見	2									2	
小計								2									2	
経営学科 専門科目	基本科目A (10)	●経営学Ⅰ ●簿記・会計概論Ⅰ	2 2	●経営学Ⅱ ●簿記・会計概論Ⅱ	2 2	●実地調査入門	2										10	
	小計		4		4		2										10	
	基本科目B (20)					経営戦略論Ⅰ 経営分析Ⅰ	2 2	経営戦略論Ⅱ 経営分析Ⅱ	2 2	経営財務論Ⅰ 原価計算論Ⅰ 民法Ⅰ	2 2 2	経営財務論Ⅱ 原価計算論Ⅱ 民法Ⅱ 情報ビジネス論	2 2 2 2				22	
	小計						4		4		6		8				22	
	コース科目 (10)					会計学Ⅰ 簿記原理Ⅰ	2 2	会計学Ⅱ 簿記原理Ⅱ	2 2	税務会計論Ⅰ 管理会計論	2 2	税務会計論Ⅱ 地域企業会計論	2 2	会社法	2	消費者行動論	2	20
	小計						4		4		4		4		2		2	20
	展開科目 (16)					経済理論A 金融論Ⅰ	2 2	経済理論B 金融論Ⅱ	2 2	有価証券法 労働法	2 2			企業金融論Ⅰ	2	企業金融論Ⅱ	2	16
	小計						4		4		4				2		2	16
演習科目 (8)					●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	8	
小計						1		1		1		1		1		3	8	
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																	0	
小計																	0	
合計		20		22		21		19		15		15		5		7	124	

1年計 42

2年計 40

3年計 30

4年計 12

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI-DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1														
小計		10		12													22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1													4	
小計		2		2													4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座 スポーツ教育Ⅰ 数学Ⅰ	2 1 2	スポーツ教育Ⅱ 数学Ⅱ	1 2	憲法 統計学Ⅰ	2 2	社会心理学 統計学Ⅱ	2 2									16	
小計		5		3		4		4									16	
情報科目 (2)					プレゼンテーション論	2											2	
小計						2											2	
キャリア科目 (2)									実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2					4	
小計										2		2					4	
経営学科 専門科目	基本科目A (10)	●経営学Ⅰ ●簿記・会計概論Ⅰ	2 2	●経営学Ⅱ ●簿記・会計概論Ⅱ	2 2	●実地調査入門	2										10	
	小計		4		4		2										10	
	基本科目B (20)				経営戦略論Ⅰ 経営組織論Ⅰ	2 2	経営戦略論Ⅱ 経営組織論Ⅱ	2 2	マーケティング論 人的資源管理Ⅰ 民法Ⅰ	2 2 2	人的資源管理Ⅱ 民法Ⅱ	2 2	マーケティングリサーチⅠ	2	マーケティングリサーチⅡ	2	22	
	小計					4		4		6		4		2		2	22	
	コース科目 (10)				スポーツ産業論 生涯スポーツ実習Ⅰ スポーツ科学概論	2 1 2	スポーツビジネス論 生涯スポーツ実習Ⅱ 地域企業経営論	2 1 2	企業法	2	スポーツマーケティング論 スポーツ文化論	2 2	サービスマーケティング論	2				18
	小計					5		5		2		4		2			18	
	展開科目 (16)				経済理論A 労働法	2 2	経済理論B	2	ミクロ経済学Ⅰ 国際法Ⅰ 日本経済論Ⅰ	2 2 2	ミクロ経済学Ⅱ 国際法Ⅱ 日本経済論Ⅱ	2 2 2						18
小計					4		2		6		6						18	
演習科目 (8)				●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	1 2	8	
小計					1		1		1		1		1		3	8		
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																	0	
小計																	0	
合計		21		21		22		16		17		17		5		5	124	

1年計 42

2年計 38

3年計 34

4年計 10

区分	1年次(42単位)				2年次(42単位)				3年次(42単位)				4年次(46単位)				合計	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎科目 (22)	●文章表現 ●入門経済学 ●キャリアデザインを学ぶ ●健康科学 ●情報基礎Ⅰ ●基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 1 1	●口頭表現 ●基礎数学 ●入門経営学 ●キャリアプランニング ●AI・DSへのいざない ●情報基礎Ⅱ ●基礎演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1														
小計		10		12													22	
言語科目 (4)	●英語ⅠA ●英語ⅠB	1 1	●英語ⅡA ●英語ⅡB	1 1														
小計		2		2													4	
教養科目 (16)	敬天愛人講座 憲法	2 2	法学 社会学	2 2	数学Ⅰ 統計学Ⅰ	2 2	数学Ⅱ 統計学Ⅱ	2 2										
小計		4		4		4		4									16	
情報科目 (2)											AI・データサイエンス実践	2						
小計												2					2	
キャリア科目 (2)							企業の魅力発見	2	実践的キャリア演習Ⅰ	2	実践的キャリア演習Ⅱ	2						
小計								2		2		2					6	
経営学科 専門科目	基本科目A (10)	●経営学Ⅰ ●簿記・会計概論Ⅰ	●経営学Ⅱ ●簿記・会計概論Ⅱ	●実地調査入門	2 2	2 2												
	小計				4	4		2									10	
	基本科目B (20)					経営戦略論Ⅰ 経営組織論Ⅰ 経営財務論Ⅰ	2 2 2	経営戦略論Ⅱ 経営組織論Ⅱ 経営財務論Ⅱ	2 2 2	経営分析Ⅰ 原価計算論Ⅰ 生産管理	2 2 2	経営分析Ⅱ 原価計算論Ⅱ	2 2					
	小計						6		6		4		6				22	
	コース科目 (10)					地域事業創造論 経営立地論	2 2	ベンチャービジネス論 千葉県の産業と行政	2 2	中小企業論Ⅰ	2	中小企業論Ⅱ 地域企業経営論	2 2					
	小計						4		4		2		4				14	
	展開科目 (16)						経済理論A	2	経済理論B	2	労働法 日本経済論Ⅰ	2 2	有価証券法 日本経済論Ⅱ	2 2	金融論Ⅰ 銀行論Ⅰ	2 2	金融論Ⅱ 銀行論Ⅱ	2 2
小計							2		2		4		4				20	
演習科目 (8)						●専門導入演習Ⅰ	1	●専門導入演習Ⅱ	1	●専門演習Ⅰ	1	●専門演習Ⅱ	1	●卒業演習Ⅰ	1	●卒業演習Ⅱ ●卒業論文・卒業研究	1 2	
小計							1		1		1		1		1		3	
各科目群から卒業要件 単位を超えて自由に 選択した科目の単位 (14)																		
小計																	0	
合計		20		22		19		19		13		19		5		7	124	

1年計 42

2年計 38

3年計 32

4年計 12

【資料9】 経済学科及び経営学科における専任教員1人当たりの学生数対比表

区 分	専任教員数		収容定員		S T比率	
	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
経済学部 経済学科	人 14	人 <u>16</u>	人 465	人 <u>525</u>	人 33.2	人 <u>32.8</u>
経済学部 経営学科	人 14	人 <u>16</u>	人 445	人 <u>525</u>	人 31.8	人 <u>32.8</u>

<参考>

「大学基準協会 大学評価達成度並びに水準に関する評定事項」より抜粋

平成19年度大学評価 達成度並びに水準に関する評定事項

水準に関する評定項目

「②教養教育担当教員を含め、各学部における専任教員1人当たりの学生数が、人文・社会系では60名以内、自然系、芸術学・体育学・家政学系では40名以内、医学・歯学については10名以内である。ただし、人文・社会系であっても、心理学や社会福祉学など実験・実習が重視される学部、あるいは卒業論文を必修として課している学部においては40名以内とする。」

【資料10-1】

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要

（経済学部 経済学科）

科 区 目 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
学 部 共 通 科 目	基礎科目	文章表現	1前	2			○									兼4
		口頭表現	1後	2			○									兼4
		基礎数学	1前・1後	2			○									兼1
		入門経済学	1前・1後	2			○			9	2	1				オムニバス
		入門経営学	1前・1後	2			○									兼13
		キャリアデザインを学ぶ	1前	2			○									兼1
		キャリアプランニング	1後	2			○									兼1
		AI・DSへのいざない	1前・1後	2			○									兼6
		健康科学	1前・1後	2			○									兼1
		情報基礎Ⅰ	1前	1					○							兼3
		情報基礎Ⅱ	1後	1					○							兼3
		基礎演習Ⅰ	1前	1				○		11	2	1				兼14
		基礎演習Ⅱ	1後	1				○		11	2	1				兼14
		小計（13科目）	—	22	0	0	—	—	—	11	2	1	0	0		兼29
言 語 科 目	英語ⅠA	1前	1			○										兼4
	英語ⅠB	1前	1			○										兼5
	英語ⅡA	1後	1			○										兼4
	英語ⅡB	1後	1			○										兼5
	日本語Ⅰ	1前	2			○										兼1
	日本語Ⅱ	1後	2			○										兼1
	小計（6科目）	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0		兼9	
教 養 科 目	フランス語Ⅰ	1前		1		○										兼2
	フランス語Ⅱ	1後		1		○										兼2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1		○										兼2
	ドイツ語Ⅱ	1後		1		○										兼2
	中国語Ⅰ	1前		1		○										兼1
	中国語Ⅱ	1後		1		○										兼1
	応用中国語Ⅰ	2前		1		○										兼1
	応用中国語Ⅱ	2後		1		○										兼1
	時事英語Ⅰ	2前		1		○										兼1
	時事英語Ⅱ	2後		1		○										兼1
	ビジネス英語Ⅰ	2前		1		○										兼1
	ビジネス英語Ⅱ	2後		1		○										兼1
	Basic GrammarⅠ	1前		1		○										兼1
	Basic GrammarⅡ	1後		1		○										兼1
	コリア語Ⅰ	1前		1		○										兼1
	コリア語Ⅱ	1後		1		○										兼1
	TOEIC®向上講座Ⅰ	2前		2		○										兼2
	TOEIC®向上講座Ⅱ	2後		2		○										兼2
	SpeakingⅠ	2前		1		○										兼2
	SpeakingⅡ	2後		1		○										兼2
	WritingⅠ	2前		1		○										兼3
	WritingⅡ	2後		1		○										兼3
	ListeningⅠ	2前		1		○										兼3
	ListeningⅡ	2後		1		○										兼3
DebateⅠ	2前		1		○										兼1	
DebateⅡ	2後		1		○										兼1	

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
	English Conversation(オンライン英会話) I	1前		1				○	3							兼1	
	English Conversation(オンライン英会話) II	1後		1				○								兼1	
	敬天愛人講座	1前・1後		2		○										兼1	オムニバス
	敬愛プログラム	1後		2			○									兼1	
	スポーツ教育 I	1前		1				○								兼1	
	スポーツ教育 II	1後		1				○								兼1	
	哲学	1後		2		○										兼1	
	心理学	1前		2		○										兼1	
	社会心理学	1後		2		○										兼1	
	歴史学	1後		2		○										兼1	
	中国文化 I	1前		2		○										兼1	
	中国文化 II	1後		2		○										兼1	
	文学	1前		2		○										兼1	
	日本語学	1前		2		○										兼1	
	言語学	1後		2		○										兼1	
	法学	1前・1後		2		○										兼1	
	憲法	1前・1後		2		○										兼1	
	政治学	1前		2		○										兼1	
	社会学	1後		2		○										兼1	
	数学 I	1前		2		○										兼1	
数学 II	1後		2		○			兼1									
統計学 I	1前		2		○			兼1									
統計学 II	1後		2		○			兼1									
環境科学	1前		2		○			兼1									
ボランティア活動	1前		2		○			兼1									
小計 (51科目)		—	0	74	0	—			3	0	0	0	0	兼37			
情 報 科 目	情報概論	1前・1後		2		○			0	0	0	0	0	兼4			
	データサイエンス総論	1後		2		○											
	英語で学ぶPython	1後		2		○											
	アルゴリズム論	2前		2		○											
	プレゼンテーション論	2前・2後		2		○											
	情報セキュリティ論	2後		2		○											
	AI概論	2前		2		○											
	プログラミング	2後		2		○											
AIデータサイエンス実践	3後		2		○												
小計 (9科目)		—	0	18	0	—			0	0	0	0	0	兼4			
キ ャ リ ア 科 目	実践会話 I	2前		2		○			1						兼1		
	実践会話 II	2後		2		○											
	キャリアディベロップメント	2前		2		○											
	企業の魅力発見	2後		2		○											
	実践的キャリア演習 I	3前		2		○											
	実践的キャリア演習 II	3後		2		○											
	プレインターンシップ	3前		2		○											
	インターンシップ	3後		1				○									
	ポストインターンシップ	3後		2		○											
小計 (9科目)		—	0	17	0	—			1	0	0	0	0	兼3			
経 済 学 科 専 門 科 目	基本科目 A	1前	2			○			3								
	経済理論A	1後	2			○											
	経済理論B	1前	2			○											
	日本経済史 I	1後	2			○											
	日本経済史 II	1前	2			○											
	西洋経済史 I	1後	2			○											
	西洋経済史 II	2前	2			○											
フィールドワーク入門	2前	2			○												
小計 (7科目)		—	6	8	0	—			7	1	0	0	0	兼0	オムニバス		

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
基 本 科 目 B	ミクロ経済学Ⅰ	2前		2		○			2						
	ミクロ経済学Ⅱ	2後		2		○			2						
	マクロ経済学Ⅰ	2前		2		○			1						
	マクロ経済学Ⅱ	2後		2		○			1						
	経済政策Ⅰ	2前		2		○			1						
	経済政策Ⅱ	2後		2		○			1						
	経済学特論Ⅰ	2前		2		○			1						
	経済学特論Ⅱ	2後		2		○			1						
	社会政策Ⅰ	2前		2		○			1						
	社会政策Ⅱ	2後		2		○			1						
	財政学Ⅰ	2前		2		○			1						
	財政学Ⅱ	2後		2		○			1						
	金融論Ⅰ	2前		2		○				1					
	金融論Ⅱ	2後		2		○				1					
	国際経済論Ⅰ	2前		2		○				1					
	国際経済論Ⅱ	2後		2		○				1					
	簿記・会計概論Ⅰ	2前		2		○									兼2
	簿記・会計概論Ⅱ	2後		2		○									兼2
	会計学Ⅰ	2前		2		○									兼1
	会計学Ⅱ	2後		2		○									兼1
民法Ⅰ	2前		2		○									兼1	
民法Ⅱ	2後		2		○									兼1	
統計学総論Ⅰ	2前		2		○									兼1	
統計学総論Ⅱ	2後		2		○									兼1	
知的財産権論	2後		2		○									兼1	
情報マネジメント	2前		2		○									兼1	
小計(26科目)		—	0	52	0	—			6	2	0	0	0	兼5	
コ ー ス 科 目	公共経済学	2前		2		○			1						
	公共選択論	2後		2		○			1						
	地方財政論Ⅰ	2前		2		○			1						
	地方財政論Ⅱ	2後		2		○			1						
	地方自治論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	地方自治論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	社会保障論Ⅰ	2前		2		○			1						
	社会保障論Ⅱ	2後		2		○			1						
	社会福祉論	2前		2		○			1						
	福祉経済論	2後		2		○			1						
	行政法Ⅰ	2前		2		○									兼1
	行政法Ⅱ	2後		2		○									兼1
	企業法	2後		2		○									兼1
	会社法	2前		2		○									兼1
	経済統計Ⅰ	2前		2		○									兼1
	経済統計Ⅱ	2後		2		○									兼1
	証券経済論Ⅰ	2前		2		○				1					
	証券経済論Ⅱ	2後		2		○				1					
	銀行論Ⅰ	2前		2		○				1					
	銀行論Ⅱ	2後		2		○				1					
国際金融論Ⅰ	2前		2		○					1					
国際金融論Ⅱ	2後		2		○					1					
企業金融論Ⅰ	2前		2		○									兼1	
企業金融論Ⅱ	2後		2		○									兼1	
保険論	2前		2		○									兼1	

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
進 路 支 援 科 目	金融事情Ⅰ	2前		2		○			1								
	金融事情Ⅱ	2後		2		○			1								兼1
	有価証券法	2後		2		○											
	日本経済論Ⅰ	2前		2		○			1								
	日本経済論Ⅱ	2後		2		○			1								兼1
	日本経済地理	2前		2		○											兼1
	世界経済地理	2後		2		○											兼1
	アメリカ経済論Ⅰ	2前		2		○					1						
	アメリカ経済論Ⅱ	2後		2		○					1						
	ヨーロッパ経済論Ⅰ	2前		2		○			1								
	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2後		2		○			1								
	中東経済論	2後		2		○											兼1
	アジア経済論	2前		2		○											兼1
	国際貿易論	2後		2		○											兼1
	労働経済論Ⅰ	2前		2		○			1								
	労働経済論Ⅱ	2後		2		○			1								
	労働法	2前		2		○											兼1
	進路支援講座A(数的リテラシー)	1前		2		○											兼1
	進路支援講座B(数的リテラシー)	1後		2		○											兼1
	進路支援講座C(公務員)	2前		2		○											兼1
	進路支援講座D(公務員)	2後		2		○											兼1
進路支援講座E(公務員)	2前		2		○											兼1	
進路支援講座F(公務員)	2後		2		○											兼1	
進路支援講座G(日経新聞を読む)	2前		2		○					1							
進路支援講座H(日経新聞を読む)	2後		2		○					1							
進路支援講座I(教職)	2前		2		○			1									
進路支援講座J(教職)	2後		2		○			1									
小計(52科目)	—	—	0	104	0	—	—	—	7	2	0	0	0	0	0	0	兼13
展 開 科 目	経済学史Ⅰ	2前		2		○											兼1
	経済学史Ⅱ	2後		2		○											兼1
	社会思想史Ⅰ	2前		2		○											兼1
	社会思想史Ⅱ	2後		2		○											兼1
	金融経済の基礎知識	2前		2		○			1								
	計量経済学Ⅰ	2前		2		○			1								
	計量経済学Ⅱ	2後		2		○			1								
	環境経済学Ⅰ	2前		2		○			1								
	環境経済学Ⅱ	2後		2		○			1								
	地域経済論	2後		2		○			1								
	食料経済論	2前		2		○											兼1
	農業政策	2後		2		○											兼1
	経済数学Ⅰ	2前		2		○											兼1
	経済数学Ⅱ	2後		2		○											兼1
	経営学Ⅰ	2前		2		○											兼1
	経営学Ⅱ	2後		2		○											兼1
	国際地域論Ⅰ	2前		2		○			1								兼3 オムニバス
	国際地域論Ⅱ	2後		2		○			1								兼3 オムニバス
	地域産業論	2後		2		○											兼1
	経営立地論	2前		2		○											兼1
交通論	2前		2		○			1									
ビジネスデータ解析	2前		2		○											兼1	
情報ビジネス論	3後		2		○											兼1	
小計(23科目)	—	—	0	46	0	—	—	—	5	0	0	0	0	0	0	0	兼13

科 区 目 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
演 習 科 目	専門導入演習Ⅰ	2前	1				○		9	2	1			
	専門導入演習Ⅱ	2後	1				○		9	2	1			
	専門演習Ⅰ	3前	1				○		9	2	1			
	専門演習Ⅱ	3後	1				○		9	2	1			
	卒業演習Ⅰ	4前	1				○		9	2	1			
	卒業演習Ⅱ	4後	1				○		9	2	1			
	卒業論文・卒業研究	4後	2				○		9	2	1			
小計（7科目）		—	8	0	0	—			9	2	1	0	0	兼0
教 職 及 び 教 科 に 関 す る 科 目	日本史概論Ⅰ	1前		2			○		1					
	日本史概論Ⅱ	1後		2			○		1					
	世界史概論Ⅰ	1前		2			○			1				
	世界史概論Ⅱ	1後		2			○			1				
	地理学概論Ⅰ	1前		2			○							兼1
	地理学概論Ⅱ	1後		2			○							兼1
	地誌学Ⅰ	1前		2			○							兼1
	地誌学Ⅱ	1後		2			○							兼1
	哲学概論Ⅰ	1前		2			○							兼1
	哲学概論Ⅱ	1後		2			○							兼1
	比較政治学	1前		2			○							兼1
	社会学概論	1前		2			○							兼1
	自然地理学Ⅰ	1前		2			○							兼1
	自然地理学Ⅱ	1後		2			○							兼1
	教育原論	1前		2			○		1					
	教育課程論	1後		2			○							兼1
	発達心理学	1前		2			○							兼1
	教育心理学	1後		2			○							兼1
	特別支援教育概論	2前		2			○							兼1
	教職概論	1前		2			○		1					
	教育行政	2前		2			○							兼1
	教育法規	2後		2			○							兼1
	教育方法・技術論	2後		2			○							兼1
	教育とICT活用	2後		2			○							兼1
	社会科・地歴科指導法Ⅰ	2前		2			○		1					
	社会科・地歴科指導法Ⅱ	2後		2			○		1					
	地理歴史科指導法	2前		2			○							兼1
	社会科・公民科指導法Ⅰ	2前		2			○							兼1
	社会科・公民科指導法Ⅱ	2後		2			○							兼1
	公民科指導法	2前		2			○							兼1
	道徳教育指導法	2後		2			○		1					
	総合的な学習の時間の指導法	2後		2			○							兼1
	特別活動指導法	2前		2			○							兼1
生徒・進路指導論	2後		2			○							兼1	
教育相談	2後		2			○							兼1	
教職実践演習	4後		2			○		1						
教育実習指導	3後		1			○		1						
中学校教育実習	4前		4				○	1						
高等学校教育実習	4前		2				○	1						
小計（39科目）		—	0	79	0	—			3	1	0	0	0	兼15
合計（242科目）			40	398	0	—			12	2	1	0	0	兼97

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号		学士(経済学)	学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
必修科目40単位、学部共通科目の教養科目の選択科目から16単位、 情報科目の選択科目から2単位、キャリア科目の選択科目から2単位、 経済学科専門科目の基本科目Bの選択科目から20単位、コース科目の 選択科目から10単位、展開科目の選択科目から16単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 【履修科目の登録の上限： 1年～3年 42単位(年間)、 4年 46単位(年間)】 なお、基本科目Aの選択科目のうち、日本経済史Ⅰ・Ⅱ又は西洋 経済史Ⅰ・Ⅱから4単位を選択必修とする。						1学年の学期区分			2期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					

【資料10-2】

別記様式第2号 (その2の1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要

(経済学部 経営学科)

科 区 目 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
学 部 共 通 科 目	基礎科目	文章表現	1前	2			○									兼4	
		口頭表現	1後	2			○									兼4	
		基礎数学	1前・1後	2			○									兼1	
		入門経済学	1前・1後	2			○									兼12 オムニバス	
		入門経営学	1前・1後	2			○			9	3	1				オムニバス	
		キャリアデザインを学ぶ	1前	2			○									兼1	
		キャリアプランニング	1後	2			○									兼1	
		AI・DSへのいざない	1前・1後	2			○			1						兼5 オムニバス	
		健康科学	1前・1後	2			○			1							
		情報基礎 I	1前	1					○								兼3
		情報基礎 II	1後	1					○								兼3
		基礎演習 I	1前	1					○	10	3	1				兼14	
		基礎演習 II	1後	1					○	10	3	1				兼14	
	小計 (13科目)	—	22	0	0			—	10	3	1	0	0		兼29		
言 語 科 目	英語 I A	1前	1			○										兼4	
	英語 I B	1前	1			○										兼5	
	英語 II A	1後	1			○										兼4	
	英語 II B	1後	1			○										兼5	
	日本語 I	1前	2			○										兼1 留学生科目	
	日本語 II	1後	2			○										兼1	
	小計 (6科目)	—	4	0	0			—	0	0	0	0	0		兼9		
教 養 科 目	フランス語 I	1前		1		○										兼2	
	フランス語 II	1後		1		○										兼2	
	ドイツ語 I	1前		1		○										兼2	
	ドイツ語 II	1後		1		○										兼2	
	中国語 I	1前		1		○			1								
	中国語 II	1後		1		○			1								
	応用中国語 I	2前		1		○			1								
	応用中国語 II	2後		1		○			1								
	時事英語 I	2前		1		○										兼1	
	時事英語 II	2後		1		○										兼1	
	ビジネス英語 I	2前		1		○										兼1	
	ビジネス英語 II	2後		1		○										兼1	
	Basic Grammar I	1前		1		○										兼1	
	Basic Grammar II	1後		1		○										兼1	
	コリア語 I	1前		1		○										兼1	
	コリア語 II	1後		1		○										兼1	
	TOEIC®向上講座 I	2前		2		○										兼2	
	TOEIC®向上講座 II	2後		2		○										兼2	
	Speaking I	2前		1		○										兼2	
	Speaking II	2後		1		○										兼2	
Writing I	2前		1		○										兼3		
Writing II	2後		1		○										兼3		
Listening I	2前		1		○										兼3		
Listening II	2後		1		○										兼3		
Debate I	2前		1		○										兼1		
Debate II	2後		1		○										兼1		

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅰ	1前		1				○								兼1	
	English Conversation(オンライン英会話)Ⅱ	1後		1				○								兼1	
	敬天愛人講座	1前・1後		2		○				2						兼12	オムニバス
	敬愛プログラム	1後		2			○			1							
	スポーツ教育Ⅰ	1前		1				○								兼1	
	スポーツ教育Ⅱ	1後		1				○								兼1	
	哲学	1後		2		○										兼1	
	心理学	1前		2		○				1							
	社会心理学	1後		2		○				1							
	歴史学	1後		2		○										兼1	
	中国文化Ⅰ	1前		2		○				1							
	中国文化Ⅱ	1後		2		○				1							
	文学	1前		2		○										兼1	
	日本語学	1前		2		○										兼1	
	言語学	1後		2		○										兼1	
	法学	1前・1後		2		○										兼1	
	憲法	1前・1後		2		○										兼1	
	政治学	1前		2		○										兼1	
	社会学	1後		2		○										兼1	
	数学Ⅰ	1前		2		○										兼1	
	数学Ⅱ	1後		2		○										兼1	
	統計学Ⅰ	1前		2		○										兼1	
	統計学Ⅱ	1後		2		○										兼1	
	環境科学	1前		2		○										兼1	
	ボランティア活動	1前		2		○										兼1	
	小計(51科目)		—	0	74	0	—			4	0	0	0	0		兼36	
	情 報 科 目	情報概論	1前・1後		2		○									兼1	
		データサイエンス総論	1後		2		○			1							
		英語で学ぶPython	1後		2		○									兼1	
アルゴリズム論		2前		2		○			1								
プレゼンテーション論		2前・2後		2		○									兼1		
情報セキュリティ論		2後		2		○			1								
AI概論		2前		2		○									兼1		
プログラミング		2後		2		○			1								
AIデータサイエンス実践	3後		2		○									兼1			
小計(9科目)		—	0	18	0	—			1	0	0	0	0		兼3		
キ ャ リ ア 科 目	実践会話Ⅰ	2前		2		○									兼1		
	実践会話Ⅱ	2後		2		○									兼1		
	キャリアディベロップメント	2前		2		○			1								
	企業の魅力発見	2後		2		○									兼1		
	実践的キャリア演習Ⅰ	3前		2		○			1								
	実践的キャリア演習Ⅱ	3後		2		○			1								
	プレインターンシップ	3前		2		○			1								
	インターンシップ	3後		1				○	1								
ポストインターンシップ	3後		2		○			1									
小計(9科目)		—	0	17	0	—			2	0	0	0	0		兼2		
経 営 学 科 専 門 科 目	基本科目A	経営学Ⅰ	1前	2		○			1						兼1		
	経営学Ⅱ	1後	2		○			1							兼1		
	簿記・会計概論Ⅰ	1前	2		○					1					兼1		
	簿記・会計概論Ⅱ	1後	2		○					1					兼1		
	実地調査入門	2前	2		○				1								
小計(5科目)		—	10	0	0	—			2	1	0	0	0		兼2		

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基 本 科 目 B	経営戦略論Ⅰ	2前		2		○			1							
	経営戦略論Ⅱ	2後		2		○			1							
	経営組織論Ⅰ	2前		2		○			1							
	経営組織論Ⅱ	2後		2		○			1							
	経営財務論Ⅰ	2前		2		○			1							
	経営財務論Ⅱ	2後		2		○			1							
	マーケティング論	2前		2		○				1						
	経営分析Ⅰ	2前		2		○			1							
	経営分析Ⅱ	2後		2		○			1							
	人的資源管理Ⅰ	2前		2		○			1							
	人的資源管理Ⅱ	2後		2		○			1							
	産業論	2前		2		○										兼1
	マーケティングリサーチⅠ	2前		2		○										兼1
	マーケティングリサーチⅡ	2後		2		○										兼1
	流通論	2前		2		○					1					
	原価計算論Ⅰ	2前		2		○				1						
	原価計算論Ⅱ	2後		2		○				1						
	経営史Ⅰ	2前		2		○										兼1
	経営史Ⅱ	2後		2		○										兼1
	国際ビジネス論	2前		2		○										兼1
生産管理	2後		2		○										兼1	
民法Ⅰ	2前		2		○										兼1	
民法Ⅱ	2後		2		○										兼1	
ビジネスデータ解析	2前		2		○				1							
情報ビジネス論	3後		2		○										兼1	
小計(25科目)		—	0	50	0	—			4	1	0	0	0	兼7		
コ ー ス 科 目	コーポレートガバナンス論	2前		2		○						1				
	企業と社会論	2後		2		○										兼1
	中小企業論Ⅰ	2前		2		○			1							
	中小企業論Ⅱ	2後		2		○			1							
	国際産業組織論	2後		2		○										兼1
	多国籍企業論	2前		2		○										兼1
	国際貿易論	2後		2		○										兼1
	経営心理学	2前		2		○			1							
	経営立地論	2前		2		○					1					
	地域産業論	2後		2		○					1					
	情報マネジメント	2前		2		○			1							
	知的財産権論	2後		2		○			1							
	経営シミュレーション	2前		2		○										兼1
	企業法	2後		2		○						1				
	会社法	2前		2		○						1				
	日本経済地理	2前		2		○					1					
	世界経済地理	2後		2		○					1					
	ホテル・ビジネス論	2後		2		○										兼1
	会計学Ⅰ	2前		2		○					1					
	会計学Ⅱ	2後		2		○					1					
	簿記原理Ⅰ	2前		2		○					1					
	簿記原理Ⅱ	2後		2		○					1					
	管理会計論	2前		2		○				1						
税務会計論Ⅰ	2前		2		○										兼1	
税務会計論Ⅱ	2後		2		○										兼1	
地域企業会計論	2後		2		○										兼1	
金融商品取引法	2前		2		○						1					
流通情報論	2後		2		○					1						

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	流通経営論	2後		2		○									兼1
	消費者行動論	2後		2		○			1						
	サービスマーケティング論	2後		2		○				1					
	Marketing Management	2後		2		○				1					
	観光マーケティング調査	2後		2		○									兼1
	スポーツビジネス論	2後		2		○			1						
	スポーツ産業論	2前		2		○			1						
	スポーツマーケティング論	2後		2		○			1						
	スポーツ文化論	2後		2		○			1						
	生涯スポーツ実習Ⅰ	2前		1				○	1						
	生涯スポーツ実習Ⅱ	2後		1				○	1						
	スポーツ科学概論	2前		2		○									兼1
	地域企業経営論	2後		2		○			1						
	観光事業論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	観光事業論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	千葉学	1前		2		○									兼1
	入門ツーリズムⅠ	1前		2		○									兼1
	入門ツーリズムⅡ	1後		2		○									兼1
	ベンチャービジネス論	2後		2		○			1						
	地域事業創造論	2前		2		○			1						
	アントレプレナーシップ論	2後		2		○									兼1
	千葉県の産業と行政	2後		2		○									兼1
	旅行ビジネス論	2前		2		○									兼1
	地域観光論	2前		2		○									兼1
	小計（52科目）	—	0	102	0	—	—	—	7	3	1	0	0		兼13
展 開 科 目	経済理論A	2前		2		○									兼3
	経済理論B	2後		2		○									兼3
	ミクロ経済学Ⅰ	2前		2		○									兼2
	ミクロ経済学Ⅱ	2後		2		○									兼2
	マクロ経済学Ⅰ	2前		2		○									兼1
	マクロ経済学Ⅱ	2後		2		○									兼1
	経済政策Ⅰ	2前		2		○									兼1
	経済政策Ⅱ	2後		2		○									兼1
	金融論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	金融論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	有価証券法	2後		2		○									兼1
	統計学総論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	統計学総論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	企業金融論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	企業金融論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	労働法	2前		2		○									兼1
	国際法Ⅰ	2前		2		○									兼1
	国際法Ⅱ	2後		2		○									兼1
	経済統計Ⅰ	2前		2		○									兼1
	経済統計Ⅱ	2後		2		○									兼1
	日本経済論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	日本経済論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	銀行論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	銀行論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	経済学特論Ⅰ	2前		2		○									兼1
	経済学特論Ⅱ	2後		2		○									兼1
	小計（26科目）	—	0	52	0	—	—	—	0	0	0	0	0		兼12

科 目 区 分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
演 習 科 目	専門導入演習Ⅰ	2前	1				○		9	3	1			
	専門導入演習Ⅱ	2後	1				○		9	3	1			
	専門演習Ⅰ	3前	1				○		9	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	1				○		9	3	1			
	卒業演習Ⅰ	4前	1				○		9	3	1			
	卒業演習Ⅱ	4後	1				○		9	3	1			
	卒業論文・卒業研究	4後	2				○		9	3	1			
小計（7科目）		—	8	0	0	—			9	3	1	0	0	兼0
教 職 及 び 教 科 に 関 す る 科 目	教育原論	1前		2			○							兼1
	教育課程論	1後		2			○							兼1
	発達心理学	1前		2			○		1					
	教育心理学	1後		2			○		1					
	特別支援教育概論	2前		2			○							兼1
	教職概論	1前		2			○							兼1
	教育行政	2前		2			○							兼1
	教育法規	2後		2			○							兼1
	教育方法・技術論	2後		2			○							兼1
	教育とICT活用	2後		2			○							兼1
	商業科指導法Ⅰ	2前		2			○							兼1
	商業科指導法Ⅱ	2後		2			○							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	2後		2			○							兼1
	特別活動指導法	2後		2			○							兼1
	生徒・進路指導論	2前		2			○							兼1
	教育相談	2前		2			○							兼1
	教職実践演習	4後		2			○							兼1
	キャリア教育・職業指導Ⅰ	2前		2			○							兼1
	キャリア教育・職業指導Ⅱ	2後		2			○							兼1
	教育実習指導	3後		1			○							兼1
	高等学校教育実習	4前		2				○						兼1
小計（21科目）		—	0	41	0	—			1	0	0	0	0	兼9
合計（224科目）			44	354	0	—			10	3	1	0	0	兼91
学位又は称号		学士(経営学)	学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
必修科目44単位、学部共通科目の教養科目の選択科目から16単位、 情報科目の選択科目から2単位、キャリア科目の選択科目から2単位、 経営学科専門科目の基本科目Bの選択科目から20単位、コース科目の 選択科目から10単位、展開科目の選択科目から16単位以上を修得し、 124単位以上修得すること。 【履修科目の登録の上限：1年～3年 42単位（年間）、 4年 46単位（年間）】						1学年の学期区分		2期						
						1学期の授業期間		15週						
						1時限の授業時間		90分						

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）

目 次

- (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
 - ア 定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析
 - イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析
 - ウ 定員を変更する学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等
 - エ 学生確保の見通し
 - A. 学生確保の見通しの調査結果
 - B. 新設学部等の分野の動向
 - C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等
 - D. 競合校の状況
 - E. 既設学部等の学生確保の状況
 - オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
- (2) 人材需要の動向等社会の要請
 - ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）
 - ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた
ものであることの客観的な根拠

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

本学の経済学部は、開設以来、教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的な人間力を有した人材として、経済学や経営学に関する理論を学び、実践を通じて現実の問題に応用する実学を身に付けた人材の養成に努めてきたことから、これまで安定的な志願者確保と高い就職実績を有しており、18歳人口の減少期においても、入学者選抜の機能を十分に維持できるだけの志願者数を確保しているとともに、就職難の時代においても、毎年多くの企業等から卒業予定者に対する求人が寄せられている。

このことは、本学の経済学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な進学需要や人材需要の動向等を踏まえたものであることの証であり、今後、本学が地域社会に対して高等教育機関としての使命と役割を一層果たしていくためには、進学希望者に対してより広く教育を受ける機会を提供することで、本学への高い進学需要に応えるとともに、より多くの有為な人材を輩出することで、地域社会に対する人的な貢献を果たす必要があると考えている。

このことから、これまでの経済学部における教育研究組織や教育研究内容及び教育研究環境などの整備状況を踏まえたうえで、受験生からの進学需要と地域社会からの人材需要の高い専門分野における養成規模の充実を図ることにより、地域社会へのさらなる貢献を目指すこととし、入学者選抜の機能が低下しない範囲内で、経済学部の経済学科と経営学科の収容定員を変更することとした。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

1 地域における進学需要動向の状況

経済学部では、高等教育を取り巻く社会環境の変化や最近の進学希望者の動向などを踏まえるとともに、昨今の地域事情を見据え、地域に根ざした高等教育機関として、地元志向の入学希望者への学習機会の提供に努めてきており、経済学部における最近5年間の入学状況をみると、千葉県内の高等学校を卒業した者の入学割合は、入学者総数1,347人の約75.9%にあたる1,022人と高いものとなっている。(資料1)

一方、新型コロナウイルス感染症が社会や経済にもたらした影響は大きく、地域間移動の制約や経済的状況の悪化などにより受験生の進路選択行動にも影響を及ぼしているとともに、政府による地方大学の振興策とも相俟って自県進学率の上昇が見込まれており、本学でも千葉県内の高等学校を卒業した者の割合がより高まることが予測されることから、地元志向の進学希望者に対する学習機会の提供にむけた対応が重要であると考えている。

2 人材需要動向の現状

経済学部では、開設以来、経済学分野及び経営学分野に関する教育研究活動を通じて、地域経済の発展に資する人材の育成にむけて、常に教育研究の改善に努めてきたことから、地

域社会からの高い評価と信頼を得ており、これまで本学に寄せられた求人件数の実績からしても、人材を受け入れる側の需要の高さをうかがうことができる。(資料2)

今般の経済学部 の 収容定員変更は、地域・社会的要請を踏まえたうえで、より多くの地域経済の発展に貢献できる有為な人材を輩出することを目的としており、収容定員変更の計画策定に伴い実施した地域企業等を中心とする人材需要に関する調査結果からも、本学の経済学部 の 卒業生を受け入れる側の高い需要を確認することができる。(資料3)

ウ 定員を変更する学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

1 定員を変更する学科等の趣旨目的、教育内容

経済学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経済学分野」として、本学の教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的な人間力を有した人材として、経済学や経営学に関する理論を学び、実践を通じて現実の問題に応用する実学を身に付けることとしている。

経済学部 の 経済学科では、経済学に関する学修を通じて、経済学の知識を基に社会の発展に活かせる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経済学の体系的な理解のもと、経済学的な思考に基づく判断力を身に付け、経済社会における問題解決にむけた経済活動を主体的・創造的に実践することのできる人材を養成することとしている。

また、経済学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑な単位の取得が可能となるよう、養成する具体的な人材像に対応したコースとして、「公共経済コース」、「金融経済コース」、「現代経済コース」の3つのコースを設定しており、学生の興味と関心や卒業後の進路に応じた適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。

経営学科では、経営学に関する学修を通じて、グローバルに展開する企業や地域密着型の企業で活躍できる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経営学に関する幅広い知識とともに、実践的な現場対応力を身に付け、グローバルとローカルの2つの地域的視点で組織をマネジメントできる人材を養成することとしている。

また、経営学科では、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修のもとに、円滑な単位の取得が可能となるよう、養成する具体的な人材像に対応したコースとして、「企業経営コース」、「商業・会計コース」、「スポーツビジネスコース」、「地域・起業コース」の4つのコースを設定しており、学生の興味と関心や卒業後の進路に応じた適切な授業科目の履修が可能となるよう配慮している。

2 アやイで分析した課題に対して定員を変更する学科等がどのように貢献できるのか

経済学科及び経営学科の定員を変更することは、高等教育を取り巻く社会的、地域的な進学需要や人材需要の動向等を踏まえたものであり、(ア) や (イ) において課題として掲げている「地元志向の進学希望者に対してより広く教育を受ける機会を提供する」ことについては、学生受入れの面から地域社会に貢献できるものであり、「より多くの有為な人材を輩出す

る」ことについては、人材養成の面から地域経済の発展に貢献できるものと考えている。

3 定員設定の理由

定員設定の理由は、千葉県の人口の動向等、千葉県高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況、競合校の状況、さらには、千葉県を中心に所在する高等学校に在籍している高校生に対する進学需要調査、千葉県を中心に所在する企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業等に対する採用意向調査の結果などを総合的に勘案するとともに、経済学科及び経営学科における教員組織、教育課程、施設設備及び学部運営に係る財務的な視点等を勘案したうえで、教育の質の保証の観点から、充実した教育研究体制の確保が可能となるよう配慮し、経済学科の入学定員を現行の115名から130名とし、経営学科の入学定員を現行の110名から130名とすることとした。

4 今、定員を変更しなければいけない理由

今般、定員変更を計画している経済学科と経営学科は、長年にわたり培ってきた経済学分野及び経営学分野に関する教育研究実績をもとに、昨今の進学希望者からの進学需要の高い教育組織における定員規模の充実を図ることにより、地元志向の進学希望者に対して広く教育を受ける機会を提供する必要があると考えている。

また、地域社会が抱える様々な分野における経済及び経営に関する諸課題への対応にむけた教育研究組織として、地域社会からの人材需要の高い専門分野における養成規模の充実を図ることにより、多くの有為な人材を輩出することで、地域社会に対するさらなる人的な貢献を果たす必要があると考えている。

5 定員を変更する学科等の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

入学金、授業料等の学生納付金については、大学及び学部運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、競合が想定される私立大学（千葉商科大学、麗澤大学、千葉経済大学）の学部・学科等における学生納付金の設定状況を勘案したうえで、教育研究経費比率や経営経費依存率を見極めつつ、大学及び学部の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務状況による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定している。（資料4）

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

(1) 進学需要調査結果

経済学科及び経営学科の収容定員の変更計画を策定するにあたり、定員充足の見込みについて、客観的な根拠となるデータから検証することを目的として、千葉県を中心に所在する高等学校の2年生と1年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

その結果、高等学校卒業後に「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、本学の経済学部「興味・関心がある」と回

答し、本学の経済学部「受験を希望する（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む）」と回答した者のうち、本学の経済学部合格した場合「経済学科への進学を希望する」と回答した者は、2年生219人、1年生209人となっている。

同様に、高等学校卒業後に「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、本学の経済学部「興味・関心がある」と回答し、本学の経済学部「受験を希望する（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む）」と回答した者のうち、本学の経済学部合格した場合「経営学科への進学を希望する」と回答した者は、2年生151人、1年生158人となっている。

このような千葉県を中心に所在する一部の高等学校の2年生と1年生に限定した調査結果においても、経済学科及び経営学科の入学定員を上回る進学意向が確認できることから、学生確保の見込みがあると考えられる。（資料5）

（2）進学需要調査結果に基づく推計 ―中長期的な学生確保の見通し―

経済学科及び経営学科の収容定員変更後における中長期的な学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、学校基本調査報告及び収容定員変更に伴う進学需要調査結果から学生確保の見通しにおける推計を行った。

その結果、経済学部への受験予測者数については、収容定員変更後の入学定員260人に対して、収容定員変更後3年目は420人、4年目は419人となっており、経済学科への進学予測者数については、収容定員変更後の入学定員130人に対して、収容定員変更後3年目は248人、4年目も248人となっている。

また、経営学科への進学予測者数については、収容定員変更後の入学定員130人に対して、収容定員変更後3年目は171人、4年目も171人となっており、その後においても、受験者数や進学者数が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保を見込むことができる結果となっている。（資料6）

B. 新設学部等の分野の動向

日本私立学校振興・共済事業団による「令和4（2022）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」による「主な学部別の志願者・入学者動向」における「経済学部」の全国的な動向をみると、令和元年度から令和4年度までの4年間の入学定員に対する志願者数と入学定員充足率の平均は、入学定員38,892人に対して志願者数376,738人、入学定員充足率102.39%と安定した志願者数と定員充足率で推移しており、志願倍率においても4年間の平均志願倍率は9.69倍と高いものとなっている。

一方、「経営学部」の全国的な動向をみると、令和元年度から令和4年度までの4年間の入学定員に対する志願者数と入学定員充足率の平均は、入学定員27,626人に対して志願者数272,512人、入学定員充足率104.28%と安定した志願者数と定員充足率で推移しており、志願倍率においても4年間の平均志願倍率は9.86倍と高いも

のとなっている。

このように、今般、収容定員変更を計画している経済学科及び経営学科と同分野の経済学部及び経営学部における最近の全国的な志願者・入学者動向から、当該分野における安定的な志願者・入学者数の状況が見てとれることから、十分な学生確保を見込むことができると考えている。(資料7)

C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

(1) 千葉県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

令和3年度の千葉県の学校基本調査によると、経済学科と経営学科の収容定員変更の初年度に受験対象者となる千葉県内の高等学校に在籍している1年生の生徒数は46,066人、収容定員変更2年目に受験対象者となる千葉県内の中学校に在籍している3年生の生徒数は52,775人となっている。

また、収容定員変更3年目に受験対象者となる2年生の生徒数は52,787人で、収容定員変更4年目に受験対象者となる1年生の生徒数は52,703人で、千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校等への令和3年度の進学率(99.0%)を勘案した場合、今後、千葉県内の大学受験対象者が大きく減少することはないと、中長期的な学生確保の見通しがあるものと思われる。(資料8)

(2) 千葉県の人口動向等 一年齢別人口による中長期的な見通し

全国的に18歳人口の減少が予測されている中で、千葉県における学齢人口の減少は比較的緩やかな傾向が示されており、千葉県が公表している最新の年齢(5歳階級)別推計人口をみると、14歳~10歳の人口は267,487人、9歳~5歳の人口は250,875人となっており、今後の大学受験対象者となる14歳~5歳までの年齢別人口は、微増減を繰り返しながら穏やかに推移していくことから、中長期的にみても大学受験対象者が急激に減少することはないものと見込まれる。(資料9)

(3) 千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況による見通し

令和3年度の千葉県の学校基本調査によると、千葉県内の高等学校を卒業した者の過去4年間の大学進学状況は、平成30年度は卒業生49,149人のうち大学進学者は27,381人で大学進学率は55.7%、令和元年度は卒業生48,998人のうち大学進学者は26,975人で大学進学率は55.1%、令和2年度は卒業生48,289人のうち大学進学者は27,030人で大学進学率は56.0%、令和3年度は卒業生48,202人のうち大学進学者は28,068人で大学進学率は58.2%となっている。

また、千葉県内の高等学校を卒業した者の過去4年間の大学進学率については、平成30年度の55.7%から令和3年度では58.2%と2.5ポイント上昇していることから、今後、千葉県内の大学進学者が大きく減少することはないと、中長期的な学生確保の見通しがあるものと思われる。(資料10)

(4) 千葉県内の高等学校を卒業した者の入学状況

経済学部における最近5年間の入学状況をみると、千葉県内の高等学校を卒業した者の割合は、入学者総数1,347人の約75.9%にあたる1,022人と高いものとなっており、最近5年間の入学者数等の状況をみると、千葉県内の高等学校を卒業した者の経済学部への入学者の傾向は今後も続くものと見込まれ、先に記した千葉県内の高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況等と併せてみた場合、中長期的にも安定した志願者と入学者の確保を見込むことができると考えられる。(資料1)

D. 競合校の状況

経済学科との競合が想定される千葉県内の私立大学は、千葉商科大学商経学部経済学科(入学定員200人)と麗澤大学経済学部経済学科(入学定員110人)で、各大学が公表している入試結果による最近3年間の志願者等の状況を見ると、2大学の合計募集人員310人に対して、2大学の平均志願者数約1,755人、平均志願倍率約12.55倍、平均定員充足率約1.06%となっている。

経営学科との競合が想定される千葉県内の私立大学は、千葉商科大学商経学部経営学科(入学定員180人)と麗澤大学経済学部経済学科(入学定員110人)で、各大学が公表している入試結果による最近3年間の志願者等の状況を見ると、募集人員290人に対して、2大学の平均志願者数約1,981人、平均志願倍率約14.86倍、平均定員充足率約1.09%となっている。

また、2年次から学科選択制を導入している千葉経済大学経済学部経済学科及び経営学科(総入学定員250人)における最近3年間の志願者等の状況を見ると、募集人員250人に対して平均志願者数約610人、平均志願倍率約2.43倍、平均定員充足率約1.23%となっており、千葉県内の競合が想定される私立大学の経済学科及び経営学科では、18歳人口の減少期においても安定した志願者数の確保と定員充足率を維持しており、このような競合が想定される私立大学の志願者動向等からも十分な定員充足を見込むことができると考えられる。(資料11)

E. 既設学部等の学生確保の状況

今般、収容定員変更を計画している経済学部の最近5年間の入学定員225人に対する平均志願者数は約630人、平均志願倍率は約2.8倍、平均定員充足率は約1.19%となっており、18歳人口の減少期においても安定した学生確保の状況を維持している。

また、既設の国際学部及び教育学部における最近5年間の入学定員に対する志願者数及び志願倍率、定員充足率等は、別添資料12の通りとなっており、いずれも安定した学生確保の状況を維持している。(資料12)

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保に向けた具体的な取組状況は、大学案内やキャンパスガイド、パンフレット等

の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、新聞、雑誌、車内広告等の各種メディアを活用したPR活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととしている。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会、保護者向け説明会をはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通じた活動や想定される進路など、様々な教育情報について、高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

1 高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、募集広報に係る高校訪問を専門とする担当部署の職員が中心となって、高等学校を中心とした重点募集対象地域の選定から最重点訪問校や重点訪問校のセグメントによる高等学校募集訪問計画の策定により、高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。(資料13)

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介をしてもらえるなどの効果が期待される。

2 オープンキャンパス

本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、施設内を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうための入学促進イベントとして、オープンキャンパスの実施を予定しており、学長による大学紹介や学部長による学部紹介、在学生や教職員による施設見学会、教員予定者による模擬授業、大学で学べる学問内容、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、よりミスマッチの少ない学生を入学させることの効果が期待される。(資料14)

3 高校教員向け説明会

高等学校の教員を対象とする説明会を開催する予定としており、学長による大学紹介、学部・学科別の個別説明、開学初年度の入試概要、奨学金制度、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととし、本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらふことの効果が期待される。(資料15)

4 進学相談会

全国の主要な都市で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配付や学部紹介DVDの放映から、学位授与の方針・教育課程編成の方針・入学者受入の方針、授業科目や講義等の内容、想定される卒業後の進路などに関する情報を広く提供することにより、広域から学生を確保することの効果期待される。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

経済学部では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経済学分野」として、本学の教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的な人間力を有した人材として、経済学や経営学に関する理論を学び、実践を通じて現実の問題に応用する実学を身に付けることとしている。

経済学部の経済学科では、経済学に関する学修を通じて、経済学の知識を基に社会の発展に活かせる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経済学の体系的な理解のもと、経済学的な思考に基づく判断力を身に付け、経済社会における問題解決にむけた経済活動を主体的・創造的に実践することのできる人材を養成することとしている。

また、経営学科では、経営学に関する学修を通じて、グローバルに展開する企業や地域密着型の企業で活躍できる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経営学に関する幅広い知識とともに、実践的な現場対応力を身に付け、グローバルとローカルの2つの地域的視点で組織をマネジメントできる人材を養成することとしている。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1 求人状況及び就職状況

本学に対する最近4年間の求人件数は、平成30年度16,068件、令和元年度15,533件、令和2年度16,137件、令和3年度17,458件となっており、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、多数の求人件数を得ている。

一方、経済学科の過去4年間の就職実績は、平成30年度は就職希望者116人に対して就職者数114人で就職率は約98.27%、令和元年度は就職希望者85人に対して就職者数83人で就職率は約97.64%、令和2年度は就職希望者97人に対して就職者数95人で就職率は約97.93%、令和3年度は就職希望者82人に対して就職者数81人で就職率は約98.78%となっており、高い就職率で推移している。

また、経営学科の過去4年間の就職実績は、平成30年度は就職希望者58人に対して就職者数57人で就職率は約98.27%、令和元年度は就職希望者50人に対して就職者数48人で就職率は約96.00%、令和2年度は就職希望者72人に対して就職者数65人で就職率は約90.27%、令和3年度は就職希望者94人に対して就職者

数90人で就職率は約95.74%となっており、高い就職率で推移している。

このことは、経済学科と経営学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものであり、収容定員を増加した場合でも、就職先の確保及び卒業後の進路については十分に見込めるものとする。(資料2)

2 人材需要調査結果

一般の収容定員変更の計画を策定するうえで、経済学科と経営学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、千葉県を中心に所在する企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業等を対象として、経済学科と経営学科の卒業生に対する人材需要に関するアンケート調査を実施した。

調査対象企業等における今後の人材の採用見込については、調査票回収件数158件の約67.7%にあたる107件が「増加すると思う」と回答していることから、今後における人材の採用見込みの高さをうかがうことができる。

経済学部で養成する人材の必要性については、調査票回収件数158件の約94.9%にあたる150件が「必要性を感じる」と回答していることから、経済学部で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる結果となっている。

また、経済学部で学んだ卒業生の採用については、調査票回収件数158件の約6.3%にあたる10件が「経済学科の卒業生を採用したいと思う」と回答しており、調査票回収件数158件の約2.5%にあたる4件が「経営学科の卒業生を採用したいと思う」と回答しているとともに、調査票回収件数158件の約88.6%にあたる140件が「所属の学科を問わずに採用したいと思う」と回答しており、経済学部で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

さらに、「経済学科の卒業生を採用したいと思う」及び「経営学科の卒業生を採用したいと思う」並びに「所属の学科を問わずに採用したいと思う」と回答した企業等の採用人数については、「1人」と回答したのが40件、「2人」と回答したのが23件、「3人以上」と回答したのが66件、「人数は未定」と回答したのが25件となっており、採用人数「3人以上」と回答した企業等の採用人数を3人、「人数は未定」と回答した企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると309人となり、この採用人数からも、経済学部で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような千葉県を中心に所在する企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業等に限定した調査結果においても、経済学部の経済学科と経営学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、収容定員を変更した場合においても、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。(資料3)

学生確保の見通し等を記載した書類(別添資料)

目 次

- 【資料 1】 経済学部の過去 5 年間の千葉県内高等学校出身の入学者数等の状況
- 【資料 2】 経済学部の過去 4 年間の求人件数等
- 【資料 3】 経済学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 ― 抜粋 ―
- 【資料 4】 競合が想定される私立大学の学生納付金
- 【資料 5】 経済学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 ― 抜粋 ―
- 【資料 6】 学校基本調査報告及び進学需要調査結果に基づく進学需要推計
- 【資料 7】 学部別の志願者・入学者動向 ― 抜粋 ―
- 【資料 8】 千葉県内の高等学校及び中学校の在籍者数
- 【資料 9】 千葉県の人口動向等
- 【資料 1 0】 千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況
- 【資料 1 1】 競合大学の志願者数等の状況
- 【資料 1 2】 最近 5 年間の既設学部の志願者数等の状況
- 【資料 1 3】 高等学校訪問の具体的計画
- 【資料 1 4】 オープンキャンパス年間計画
- 【資料 1 5】 高校教員向け説明会
- 【資料 1 6】 進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

【資料 1】 経済学部 of 過去5年間の千葉県内高等学校出身の入学数等の状況

経済学部

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	計
入学定員	225	225	225	225	225	
志願者数	470	656	806	645	572	3149
受験者数	458	636	779	615	550	3038
合格者数	375	395	384	377	260	1791
入学数	263	290	275	280	239	1347
千葉県内高校 出身者数	187	232	198	223	182	1022
県内入学 比率	71.1%	80.0%	72.0%	79.6%	76.2%	75.9%

※ 経済学部は2年次学科選択制としているため学部により算出

【資料 2】 経済学部 過去の4年間の求人件数等

経済学部 経済学科

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
求人件数	16,068	15,533	16,137	17,458
卒業者数	122	92	112	105
就職希望者数	116	85	97	82
就職者数	114	83	95	81
就職率	98.27%	97.64%	97.93%	98.78%

経済学部 経営学科

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (平成31年度) (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
求人件数	16,068	15,533	16,137	17,458
卒業者数	67	62	84	110
就職希望者数	58	50	72	94
就職者数	57	48	65	90
就職率	98.27%	96.00%	90.27%	95.74%

※ 注意

求人件数については大学全体のデータ

【資料3】 経済学部に進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 - 抜粋 -

2. 人材の採用見込み

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 158 件の約 67.7%にあたる 107 件が「増加すると思う」と回答している。

問2 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	増加すると思う	107	67.7
2	増加すると思わない	51	32.3
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

3. 経済学部で養成する人材の必要性

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、経済学部で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 158 件の約 94.9%にあたる 150 件が「必要性を感じる」と回答していることから、敬愛大学の経済学部で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 経済学部で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	150	94.9
2	必要性を感じない	8	5.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

4. 経済学部で学んだ卒業生の採用

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、経済学部で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 158 件の約 6.3%にあたる 10 件が「経済学科の卒業生を採用したいと思う」と回答しており、回答件数 158 件の約 2.5%にあたる 4 件が「経営学科の卒業生を採用したいと思う」と回答している。

また、回答件数 158 件の約 88.6%にあたる 140 件が「学科の所属を問わず採用したいと思う」と回答しており、敬愛大学の経済学部で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問4 経済学部で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	経済学科の卒業生を採用したいと思う	10	6.3
2	経済営科の卒業生を採用したいと思う	4	2.5
3	学科の所属を問わず採用したいと思う	140	88.6
4	採用したいと思わない	4	2.5
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

5. 経済学部で学んだ卒業生の採用人数

問4で、経済学部で学んだ卒業生を「採用したい」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは40件、「2人」と回答したのは23件、「3人以上」と回答したのは66件、「人数は未定」と回答したのは25件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると309人となり、これらの採用人数からも敬愛大学の経済学部の経済学科及び経営学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科及び経営学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 経済学部で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	40	26.0
2	2人	23	14.9
3	3人以上	66	42.9
4	人数は未定	25	16.2
	未回答・不明	0	0.00
	合計	154	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	採用したいと思う×採用人数1人	40	40
2	採用したいと思う×採用人数2人	23	46
3	採用したいと思う×採用人数3人以上	66	198
4	採用したいと思う×採用人数数は未定	25	25
	合計	154	309

【資料4】競合が想定される私立大学の学生納付金

大学名	学部名	学科名	入学初年度納付金額 (その他の納付金及び委託徴収金等を除く)			
			合計	入学金	授業料	施設・ 設備費
敬愛大学	経済学部	経済学科 経営学科	1,340,000	250,000	780,000	250,000
千葉商科大学	商経学部	経済学科 経営学科	1,245,000	185,000	820,000	200,000
麗澤大学	経済学部	経済学科 経営学科	1,390,000	260,000	830,000	300,000
千葉経済大学	経済学部	経済学科 経営学科	1,207,000	210,000	710,000	52,000

※注意 (出典)

日本私立大学団体連合会 令和4年度 学生納付金調査 一抜粋一

【資料5】 経済学部の進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 - 抜粋 -

< 2年生 >

5. 経済学部への進学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、経済学部合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数6,640人の約13.0%にあたる860人が「経済学科への進学を希望する」と回答しており、回答者数6,640人の約9.8%にあたる650人が「経営学科への進学を希望する」と回答している。

なお、問1で高等学校卒業後の進路を「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、問2で進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、問3で経済学部「興味・関心がある」と回答し、かつ問4で経済学部の「受験を希望する」と回答した者のうち、経済学部合格した場合「経済学科への進学を希望する」と回答した者は219人、「経営学科への進学を希望する」と回答した者は151人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科と経営学科への進学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経済学科への進学を希望する	860	13.0
2	経営学科への進学を希望する	650	9.8
3	進学を希望しない	5,008	75.4
	未回答・不明	122	1.8
	合計	6,640	100.00

問1×問2×問3×問4×問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経済学科への進学希望	219
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経営学科への進学希望	151

< 1年生 >

5. 経済学部への進学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、経済学部合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数8,174人の約15.5%にあたる1,268人が「経済学科への進学を希望する」と回答しており、回答者数8,174人の約10.7%にあたる872人が「経営学科への進学を希望する」と回答している。

なお、問1で高等学校卒業後の進路を「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、問2で進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、問3で経済学部「興味・関心がある」と回答し、かつ問4で経済学部の「受験を希望する」と回答した者のうち、経済学部合格した場合「経済学科への進学を希望する」と回答した者は209人、「経営学科への進学を希望する」と回答した者は158人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の1年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科と経営学科への進学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経済学科への進学を希望する	1,268	15.5
2	経営学科への進学を希望する	872	10.7
3	進学を希望しない	5,977	73.1
	未回答・不明	57	0.7
	合計	8,174	100.00

問1×問2×問3×問4×問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経済学科への進学希望	209
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経営学科への進学希望	158

【資料6】 学校基本調査報告及び進学需要調査結果に基づく進学需要推計

		令和8年度 (中学2年生)	令和9年度 (中学1年生)	令和10年度 (小学6年生)	令和11年度 (小学5年生)
小・中学校在籍者数	*1	52,787	52,703	52,658	52,207
高校在籍者数	*2	99.0%	52,259	52,176	52,131
受験対象人口	*3	58.2%	30,415	30,366	30,340
進学希望分野	*4	15.7%	4,775	4,767	4,763
受験者数(学部)	*5	8.8%	420	419	419
進学者数(経済)	*6	59.1%	248	248	248
進学者数(経営)	*7	40.7%	171	171	169

*1 千葉県「学校基本調査」より 令和3年度 小・中学校生徒数

*2 千葉県「学校基本調査」より 令和3年度 小・中学校生徒数×高等学校進学率

*3 千葉県「学校基本調査」より 令和3年度 千葉県大学等進学率

*4 進学需要等に関する調査より 経済学・経営学関係への進学希望者(第1希望): 1,043人(15.7%)

*5 進学需要等に関する調査より 経済学部の受験希望者: 587人(8.8%)

*6 進学需要等に関する調査より 経済学科の進学希望者: 219人(59.1%)

(調査結果よりクロス集計) ※[大学進学]∧[経済学・経営学]∧[興味・関心]∧[受験希望]=371人

※[大学進学]∧[経済学・経営学]∧[興味・関心]∧[受験希望]∧[進学希望]
=219人

$219 / 371 \times 100 = 59.1$

*7 進学需要等に関する調査より 経営学科の進学希望者: 151人(40.7%)

※[大学進学]∧[経済学・経営学]∧[興味・関心]∧[受験希望]=371人

※[大学進学]∧[経済学・経営学]∧[興味・関心]∧[受験希望]∧[進学希望]
=151人

$151 / 371 \times 100 = 40.7$

【参考】クロス集計結果

1: 大学進学	3,646
1: 大学進学×1: 経済学・経営学関係×1: 興味・関心×1: 受験希望(経済学部)	371
1: 大学進学×1: 経済学・経営学関係×1: 興味・関心×1: 受験希望×1: 進学希望(経済学科)	219
1: 大学進学×1: 経済学・経営学関係×1: 興味・関心×1: 受験希望×1: 進学希望(経営学科)	151

※進学需要等に関する調査結果より集計

【資料7】 学部別の志願者・入学者動向（大学）―抜粋―

【経済学部】

年度	入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率
令和元年度	39,077	422,743	39,805	101.86
令和2年度	38,695	391,925	39,733	102.68
令和3年度	39,013	350,241	39,567	101.42
令和4年度	38,782	342,042	40,180	103.60
4年間平均	38,892	376,738	39,821	102.39

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋

【経営学部】

年度	入学定員	志願者数	入学者数	定員充足率
令和元年度	26,870	296,026	27,889	103.79
令和2年度	27,861	292,165	29,329	105.27
令和3年度	27,966	252,916	28,882	103.28
令和4年度	27,806	248,941	29,136	104.78
4年間平均	27,626	272,512	28,809	104.28

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋

【資料8】 千葉県内の高等学校及び中学校の在籍者数

【高等学校 学年別生徒数】

区 分	本科		
	1 学年		
	計	男	女
令和3年度	46,066	23,505	22,561

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【中学校 学年別生徒数】

区 分	1 学年			2 学年			3 学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和3年度	52,703	26,981	25,722	52,787	27,029	25,758	52,775	27,029	25,746

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【中学校 高等学校進学者】

区 分	計			高等学校進学者			高等学校進学率 (%)
	計	男	女	計	男	女	
令和3年度	51,297	26,296	25,001	50,788	26,013	24,775	99.0

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【資料9】 千葉県的人口動向等

【年齢（5歳階級、各歳）別、男女別人口】

年齢	総数	男	女
5～9	250,875	128,806	122,969
10～14	267,487	137,506	129,981

千葉県年齢別・町丁字別人口令和4年度より抜粋

【資料10】 千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況

【高等学校 大学等進学者】

区 分	計			大学等進学者			大学等進学 率 (%)
	計	男	女	計	男	女	
平成30年度	49,149	25,092	24,057	27,381	13,597	13,784	55.7
令和元年度	48,998	25,000	23,998	26,975	13,507	13,468	55.1
令和2年度	48,289	24,567	23,722	27,030	13,433	13,597	56.0
令和3年度	48,202	24,461	23,741	28,068	14,142	13,926	58.2

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【資料11】 競合大学の志願者数等の状況

大学名	学部名	学科名	年度	入学定員	志願者	志願倍率	合格者	入学者	充足率	
千葉商科大学	商経学部	経済学科	2020	200	2211	11.05	458	220	1.10%	
			2021		1463	7.31	565	208	1.04%	
			2022		1304	6.52	606	228	1.14%	
			計		4978	24.88	1629	656	3.28%	
			平均		1659.3人	8.29	543人	218.7人	1.09%	
		経営学科	2020	180	2406	13.66	535	184	1.02%	
			2021		1673	9.29	613	191	1.06%	
			2022		1330	7.38	572	222	1.23%	
			計		5409	30.33	1720	597	3.31%	
			平均		1803人	10.11	573.3人	199人	1.10%	
麗澤大学	経済学部	経済学科	2020	110	1903	17.30	628	136	1.23%	
			2021		1055	9.59	501	108	0.98%	
			2022		2591	23.55	1200	100	0.90%	
			計		5549	50.44	2329	344	3.11%	
			平均		1849.7人	16.81	776.3人	114.7人	1.03%	
		経営学科	2020	110	2206	20.05	756	137	1.24%	
			2021		1276	11.60	612	109	0.99%	
			2022		2994	27.21	1391	112	1.01%	
			計		6476	58.86	2759	358	3.24%	
			平均		2158.7人	19.62	919.7人	119.3人	1.08%	
千葉経済大学	経済学部	経済学科	2020	250	727	2.90	352	305	1.22%	
			2021		617	2.46	343	315	1.26%	
			2022		487	1.94	334	308	1.23%	
			計		1831	7.30	1029	928	3.71%	
			平均		610.3人	2.43	343人	309.3人	1.23%	
		経営学科								
※ 千葉経済大学 学部一括入試により、学科別の資料無し										

※ 注意 (出典)

1. 資料データは、各大学のホームページ等参照
2. 旺文社 蛭雪時代「大学真の実力 情報公開データ -抜粋-

【資料12】 最近5年間の既設学部の志願者数等の状況

経済学部

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
入学定員	225	225	225	225	225	225
志願者数	470	656	806	645	572	630
受験者数	458	636	779	615	550	608
合格者数	375	395	384	377	260	358
入学者数	262	290	275	280	239	269
定員充足率	1.16	1.28	1.22	1.24	1.06	1.19

※経済学部は2年次学科選択制としているため学部により算出

国際学部 国際学科

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
入学定員	90	98	98	98	98	96
志願者数	227	288	411	242	160	266
受験者数	220	283	395	230	156	257
合格者数	167	191	196	187	155	179
入学者数	122	119	123	108	86	112
定員充足率	1.35	1.21	1.26	1.10	0.88	1.16

※国際学部国際学科は平成元年4月より定員変更

教育学部 こども教育学科

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
入学定員	—	—	—	72	72	72
志願者数	—	—	—	206	175	191
受験者数	—	—	—	197	167	182
合格者数	—	—	—	143	161	152
入学者数	—	—	—	75	74	75
定員充足率	—	—	—	1.04	1.03	1.04

※教育学部こども教育学科は平成3年4月設置

【資料13】

高等学校訪問の具体的計画

- ① 目標設定：定員充足(260名)
- ② 担当者：募集広報に係る高校訪問を専門とするアドミッションセンター職員の複数名が中心になって活動をする。
- ③ 活動エリア：千葉県を中心に活動するが、近隣都県や教育分野に関心のある地域あるいは高等学校を選定し活動をしていく。そのため、重点高等学校、重点地域の選定を最優先に実行する。
- ④ 活動計画：4月中旬より活動を開始し、年2回以上の訪問を継続的に実施する。なお、前述の重点高等学校は意図的に訪問回数を増やし、学校間の結びつきを深める。アドミッションセンター職員は原則的に3名で対応し、そのエリア、※担当校は別途策定する。また、近年本学への受験比率が伸びている私立高校へのアプローチを重視する。中期的な施策として、アドミッション職員は、今後の少子化に向け、大学および経済学部への認知向上目的として、低学年の教員や若手の教員との関係を深めるべく、アプローチを実施。また、「旺文社」の高大接続の目的である Web コミュニケーションツールも同時に活用していく。
- ⑤ 訪問数目標設定：重点高等学校を含め延べ400校程度を目標とする。
- ⑥ その他活動計画：予備校、学習塾等にも訪問をし、「経済学部」についての募集広報活動を実施する。定員増のため、質の低下を招く恐れがある。「学習」をしっかり行っている生徒の確保も重要であることが訪問の目的である。
他大学の情報収集、経済学部等の研究も同時に行う。

※入試顧問2名には千葉県内公立学校を軸に一人40～45校程度を担当する。アドミッションセンター職員1名は私立高校を中心に千葉県内を担当し、さらに近隣都県や重点地区を担当する。予備校、学習塾も対応。

回数	月日	時間	目的	小テーマ	プログラム内容	ミニ体験授業(テーマ)	入試日程や施設使用予定 撮影検討日など備考	回数	月日	時間	目的	小テーマ	プログラム内容	入試日程や施設使用予定 撮影検討日など備考
1	5・28(日)	10:00~14:00	敬愛大学を知ろう・体験しよう	エンジキャンインバスマイフその1	大学紹介	経済	・ミニ体験授業(次回のミニ体験授業と関連のある内容や、年間を通してコンセプトを各学部設定など) ⇒双方向型での実施検討など ・学生企画(学生と教員の学び紹介)など、学びを伝える場の検討	4	8・6(日)	10:00~14:00	夏休みの入試対策を始めよう	大学紹介	大学紹介 学部・学科紹介、入試説明 対策講座 ツアー・個別相談 チューターとのトークスペース設置	対策講座(本格的に準備開始！ 面接対策講座、小論文講座)
					学部・学科紹介、入試説明	経営								
					ミニ体験授業	国際								
					キャンパスツアー・教員との個別相談	教育								
2	6・18(日)	10:00~14:00	敬愛大学を知ろう・体験しよう	エンジキャンインバスマイフその2	大学紹介	経済		5	8・23(水)	10:00~14:00	夏休みの入試対策を始めよう2	大学紹介	大学紹介 学部・学科紹介、入試説明 対策講座 ツアー・個別相談 チューターとのトークスペース設置 学生企画(1.2年生向け)	1.2年生用の企画
					学部・学科紹介、入試説明	経営								
					ミニ体験授業	国際								
					キャンパスツアー・教員との個別相談	教育								
3	7・16(日)	10:00~14:00	敬愛大学を知ろう・体験しよう	エンジキャンインバスマイフその3	大学紹介	経済		6	8・30(水)	10:00~14:00	入試対策	大学紹介	大学紹介 学部・学科紹介、入試説明 対策講座 ツアー・個別相談	
					学部・学科紹介、入試説明	経営								
					ミニ体験授業	国際								
					キャンパスツアー・教員との個別相談	教育								
	7・30(日)	10:00~14:00	入試対策と出願促進		大学紹介			7	9・9(土)	10:00~14:00	入試対策	大学紹介	大学紹介 学部・学科紹介、入試説明 対策講座 ツアー・個別相談	
					学部・学科紹介、入試説明									
					対策講座									
					ツアー・個別相談									
								7	3・20(水)	10:00~14:00	新3年生向け	大学紹介	大学紹介 学部・学科紹介 学生企画 ツアー・個別相談 チューターとのトークスペース設置	

入試・学び相談会

1	10・14 (土)	14:00～17:30	敬愛大学を知ろう&出願準備	出願促進・入試対策	教員との学び相談、入試相談、キャンパスツアー、学生とのキャンパスライフトーク
2	11・8 (水)	14:00～17:30		出願促進・入試対策	教員との学び相談、入試相談、キャンパスツアー、学生とのキャンパスライフトーク
3	12・22 (金)	14:00～17:30		高校1・2年生向けの企画	教員との学び相談、入試相談、キャンパスツアー、学生とのキャンパスライフトーク

【資料15】 高校教員向け説明会 2023 大学説明会 実施要項

日時	令和5年5月19日(金) 14:30~16:15(受付14:00) / 16:15頃~情報交換会					場所	3701 教室(説明会・情報交換会)	
出席校	説	校名	教職員	経済	学部長、入試委員長	職員		
	懇	校名		国際	学部長、入試委員長			顧問
				教育	学部長、入試委員長			
プログラム	種別	時間	内容		担当	備考		
	開式	14:30	配布物確認		室長			
	挨拶	14:30~14:40	10分	学長挨拶・教育憲章について		学長		
	第1部	14:40~15:25	45分	「2023年度入試結果と2024年度以降の入試展望」(仮)				
		15:25~16:15	各10分	①学部、学科教育について	①案:両学部長、②案:在学生による学科紹介		①案:学部、学科教育方針と方法 ②案:体験談等	
			15分	②キャリア教育の具体例と実績	キャリアセンター室長			
		15分	③入試について	アドミッションセンター室長		2023入試結果、2024入試の変更点		
	第2部	16:15~17:00	自由移動	7F廊下	情報交換会		学長、副学長、顧問、教職員	
				3701	個別相談(ブース形式)		6ブース	…学部学科、入試説明、相談
				3号館	施設見学		チューター誘導。3号館中心	3701~1F→3701(会場)または玄関見送り
準備・受付	種別	場所		担当	業務内容	配布資料等備考		
	準備	12:30~13:30	会場設営	3701	入試	<ul style="list-style-type: none"> ■会場(3701) <ul style="list-style-type: none"> ①会場清掃:当日午前中 ②12:30~設営 ・出席者席:椅子のみ。テーブルなし ・配布資料を椅子の上に配置 ・演者用の水とおしぼり(古山上げ下げ) ・演台横に、題目看板 ・PCをメディアから借りる(当日朝受け取り) ■情報交換会 会場準備 13:00~(エームサービス) 	<配布資料> <ul style="list-style-type: none"> ■クリアフォルダにセット ①プログラム②教育憲章③講演レジュメ(パワポ資料)、④経済、国際説明資料(パワポ)、⑤AI・データサイエンスリーフレット ※①~⑤をクリアフォルダにセット ■PP封筒にセット ①パンフ、②ガイド、③OCチラシ、④KIプレス、⑤敬愛スポーツ ■その他 コットンバッグ、水(常温)、グッズ ボールペン、クリアファイル(前顧問使用グッズ) <その他準備> <ul style="list-style-type: none"> ■出席校の学籍状況、指定校一覧・6部 	
	受付・誘導	14:00~	誘導①	3701		・出席者の誘導、応対	駐車スペースの確保、誘導は警備が担当	
				1F EV前		・演者の対応→ 控室:会議室 15:25に会場誘導		「資料と水」のある席へ誘導する
		16:15~	受付	3701前		出欠名簿にてチェック後、バッジ配布	名刺忘れ対策として紙、ペン	
			誘導②	情報交換会		3701廊下側の会場へ誘導		・お茶、ジュース ・おつまみ程度(クッキー、せんべい、チョコレート等。 →ケーキ、サンドイッチは不要。簡単なおつまみ程度
	ツアー			3701外側の廊下で待機。呼びかけ。				
	相談			ブースへの誘導				
		退場		ネームプレート回収(名刺そのまま)				
		待機		井上	電話応対等			

【資料 1 6】 進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

**敬愛大学 経済学部
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書**

令和5年1月

株式会社 島津理化

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
敬愛大学の経済学部に関する質問事項	
経済学部への興味・関心	4
経済学部の受験希望	5
経済学部への進学希望	6

II. 進学需要調査（集計結果）

【1年生】

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
大学進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	8
進学を希望する分野	9
敬愛大学の経済学部に関する質問事項	
経済学部への興味・関心	10
経済学部の受験希望	11
経済学部への進学希望	12

III. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	13
調査結果概要	14～19
調査対象に関する質問事項	
所在地	14
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み	15
敬愛大学の経済学部に関する質問事項	
経済学部で養成する人材の必要性	16
経済学部で学んだ卒業生の採用	17
経済学部で学んだ卒業生の採用人数	18

IV. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 経済学部 設置計画の概要

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）

I. 進学需要調査（集計結果）

【2年生】

I. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和6年4月より経済学部 of 経済学科と経営学科の収容定員変更を計画しており、この経済学部の経済学科と経営学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

- ・千葉県 39校
- ・茨城県 2校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和4年10月～令和5年1月

④調査件数

回収件数： 41校

回収者数：6,640人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数6,640人の約85.6%にあたる5,684人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数6,640人の約54.9%にあたる3,646人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	大学進学（4年制・6年制）	3,646	54.9
2	短期大学進学	204	3.1
3	専門学校進学	1,834	27.6
4	就職	802	12.1
5	その他	140	2.1
	未回答・不明	14	0.2
	合計	6,640	100.00

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「経済学・経営学関係」と回答した者が回答者数6,640人の約15.7%にあたる1,043人で最も多く、次いで「工学・理学関係」と回答した者が約10.6%にあたる702人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約9.4%にあたる627人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数／人	全体／%	件数／人	全体／%
1	経済学・経営学関係	1,043	15.7	708	10.7
2	教育学・保育学関係	627	9.4	761	11.5
3	法学・政治学関係	166	2.5	345	5.2
4	社会学・福祉学関係	232	3.5	515	7.8
5	文学・史学・哲学関係	394	5.9	465	7.0
6	工学・理学関係	702	10.6	340	5.1
7	医学・歯学・薬学関係	264	4.0	332	5.0
8	国際学関係	318	4.8	344	5.2
9	家政学・生活科学関係	191	2.9	221	3.3
10	美術学・音楽学関係	424	6.4	504	7.6
11	体育学・スポーツ学関係	396	6.0	538	8.1
12	医療技術学関係	187	2.8	293	4.4
13	看護学関係	403	6.1	251	3.8
14	その他	946	14.2	381	5.7
	未回答・不明	347	5.2	642	9.7
	合計	6,640	100.00	6,640	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

3. 経済学部への興味・関心

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、経済学部への興味・関心について質問したところ、回答者数6,640人の約15.1%にあたる1,005人が「興味・関心がある」と回答していることから、敬愛大学の経済学部への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 経済学部への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	1,005	15.1
2	興味・関心がない	5,551	83.6
	未回答・不明	84	1.3
	合計	6,640	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

4. 経済学部の受験希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、経済学部の受験希望について質問したところ、回答者数6,640人の約8.8%にあたる587人が「受験を希望する」と回答しており、敬愛大学の経済学部への受験に積極的な意向を示している。

問4 経済学部の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	587	8.8
2	受験を希望しない	5,952	89.6
	未回答・不明	101	1.5
	合計	6,640	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

5. 経済学部への進学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の2年生に、経済学部合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数6,640人の約13.0%にあたる860人が「経済学科への進学を希望する」と回答しており、回答者数6,640人の約9.8%にあたる650人が「経営学科への進学を希望する」と回答している。

なお、問1で高等学校卒業後の進路を「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、問2で進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、問3で経済学部「興味・関心がある」と回答し、かつ問4で経済学部の「受験を希望する」と回答した者のうち、経済学部合格した場合「経済学科への進学を希望する」と回答した者は219人、「経営学科への進学を希望する」と回答した者は151人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科と経営学科への進学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経済学科への進学を希望する	860	13.0
2	経営学科への進学を希望する	650	9.8
3	進学を希望しない	5,008	75.4
	未回答・不明	122	1.8
	合計	6,640	100.00

問1×問2×問3×問4×問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経済学科への進学希望	219
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経営学科への進学希望	151

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）
【1年生】

Ⅱ. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和6年4月より経済学部 of 経済学科と経営学科の収容定員変更を計画しており、この経済学部の経済学科と経営学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

- ・千葉県 42校
- ・茨城県 3校

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

令和4年10月～令和5年1月

④調査件数

回収件数： 45校

回収者数：8,174人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学進学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数8,174人の約86.6%にあたる7,082人が「大学進学（4年制・6年制）」、「短期大学進学」、「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」と回答している者は、回答者数8,174人の約53.3%にあたる4,360人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	4,360	53.3
2	短期大学進学	284	3.5
3	専門学校進学	2,438	29.8
4	就職	937	11.5
5	その他	136	1.7
	未回答・不明	19	0.2
	合計	8,174	100.00

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

2. 進学を希望する分野

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では「経済学・経営学関係」と回答した者が回答者数8,174人の約15.3%にあたる1,249人で最も多く、次いで「教育学・保育学関係」と回答した者が約9.9%にあたる807人、「工学・理学関係」と回答した者が約9.1%にあたる747人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数／人	全体／%	件数／人	全体／%
1	経済学・経営学関係	1,249	15.3	824	10.1
2	教育学・保育学関係	807	9.9	1,006	12.3
3	法学・政治学関係	218	2.7	358	4.4
4	社会学・福祉学関係	328	4.0	666	8.1
5	文学・史学・哲学関係	502	6.1	552	6.8
6	工学・理学関係	747	9.1	476	5.8
7	医学・歯学・薬学関係	327	4.0	366	4.5
8	国際学関係	328	4.0	340	4.2
9	家政学・生活科学関係	289	3.5	362	4.4
10	美術学・音楽学関係	668	8.2	714	8.7
11	体育学・スポーツ学関係	688	8.4	728	8.9
12	医療技術学関係	171	2.1	344	4.2
13	看護学関係	450	5.5	387	4.7
14	その他	1,145	14.0	441	5.4
	未回答・不明	257	3.1	610	7.5
	合計	8,174	100.00	8,174	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

3. 経済学部への興味・関心

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、経済学部への興味・関心について質問したところ、回答者数8,174人の約14.8%にあたる1,207人が「興味・関心がある」と回答していることから、敬愛大学の経済学部への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 経済学部への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	1,207	14.8
2	興味・関心がない	6,939	84.9
	未回答・不明	28	0.3
	合計	8,174	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

4. 経済学部の受験希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、経済学部の受験希望について質問したところ、回答者数8,174人の約7.2%にあたる592人が「受験を希望する」と回答しており、敬愛大学の経済学部への受験に積極的な意向を示している。

問4 経済学部の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	592	7.2
2	受験を希望しない	7,544	92.3
	未回答・不明	38	0.5
	合計	8,174	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

5. 経済学部への進学希望

敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する高等学校の1年生に、経済学部合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数8,174人の約15.5%にあたる1,268人が「経済学科への進学を希望する」と回答しており、回答者数8,174人の約10.7%にあたる872人が「経営学科への進学を希望する」と回答している。

なお、問1で高等学校卒業後の進路を「大学進学（4年制・6年制）」と回答し、問2で進学する分野を「経済学・経営学関係」と回答した者で、問3で経済学部「興味・関心がある」と回答し、かつ問4で経済学部の「受験を希望する」と回答した者のうち、経済学部合格した場合「経済学科への進学を希望する」と回答した者は209人、「経営学科への進学を希望する」と回答した者は158人となっている。

このような敬愛大学への受験実績や進学実績がある千葉県を中心に所在する一部の高等学校の1年生に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科と経営学科への進学希望の高さがうかがえることから、十分な学生確保の見通しがあると考えられる。

問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	経済学科への進学を希望する	1,268	15.5
2	経営学科への進学を希望する	872	10.7
3	進学を希望しない	5,977	73.1
	未回答・不明	57	0.7
	合計	8,174	100.00

問1×問2×問3×問4×問5 経済学部への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経済学科への進学希望	209
—	大学進学×経済学関係×興味あり×受験希望×経営学科への進学希望	158

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

Ⅲ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

敬愛大学では、令和6年4月より経済学部 of 経済学科と経営学科の収容定員変更を計画しており、この経済学部 of 経済学科と経営学科の収容定員変更の計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を中心とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への直接配布、回収

③調査実施

令和4年10月～令和4年12月

④調査件数

回答件数：158件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<調査対象に関する質問事項>

1. 所在地

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、所在地について質問したところ、回答件数 158 件の約 51.3%にあたる 81 件が「千葉県」と回答しており、次いで、約 36.7%にあたる 58 件が「東京都」と回答している。

問 1 所在地

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	千葉県	81	51.3
2	東京都	58	36.7
3	神奈川県	4	2.5
4	その他	15	9.5
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 人材の採用見込み

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 158 件の約 67.7%にあたる 107 件が「増加すると思う」と回答している。

問2 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	増加すると思う	107	67.7
2	増加すると思わない	51	32.3
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

3. 経済学部で養成する人材の必要性

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、経済学部で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 158 件の約 94.9%にあたる 150 件が「必要性を感じる」と回答していることから、敬愛大学の経済学部で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 経済学部で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	必要性を感じる	150	94.9
2	必要性を感じない	8	5.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

4. 経済学部で学んだ卒業生の採用

敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、経済学部で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 158 件の約 6.3%にあたる 10 件が「経済学科の卒業生を採用したいと思う」と回答しており、回答件数 158 件の約 2.5%にあたる 4 件が「経営学科の卒業生を採用したいと思う」と回答している。

また、回答件数 158 件の約 88.6%にあたる 140 件が「学科の所属を問わず採用したいと思う」と回答しており、敬愛大学の経済学部で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問4 経済学部で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	経済学科の卒業生を採用したいと思う	10	6.3
2	経営学科の卒業生を採用したいと思う	4	2.5
3	学科の所属を問わず採用したいと思う	140	88.6
4	採用したいと思わない	4	2.5
	未回答・不明	0	0.0
	合計	158	100.00

【調査結果概要】

<敬愛大学の経済学部に関する質問事項>

5. 経済学部で学んだ卒業生の採用人数

問4で、経済学部で学んだ卒業生を「採用したい」と回答した民間企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは40件、「2人」と回答したのは23件、「3人以上」と回答したのは66件、「人数は未定」と回答したのは25件となっている。

なお、「採用人数3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると309人となり、これらの採用人数からも敬愛大学の経済学部の経済学科及び経営学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような敬愛大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、敬愛大学の経済学部の経済学科及び経営学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 経済学部で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/%
1	1人	40	26.0
2	2人	23	14.9
3	3人以上	66	42.9
4	人数は未定	25	16.2
	未回答・不明	0	0.00
	合計	154	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	採用したいと思う×採用人数1人	40	40
2	採用したいと思う×採用人数2人	23	46
3	採用したいと思う×採用人数3人以上	66	198
4	採用したいと思う×採用人数数は未定	25	25
	合計	154	309

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数 【経済学科の卒業生を採用】

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	経済学科の卒業生を採用したいと思う×1人	3	3
2	経済学科の卒業生を採用したいと思う×2人	3	6
3	経済学科の卒業生を採用したいと思う×3人以上	3	9
4	経済学科の卒業生を採用したいと思う×人数は未定	1	1
	合計	10	19

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数 【経営学科の卒業生を採用】

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	経営学科の卒業生を採用したいと思う×1人	2	2
2	経営学科の卒業生を採用したいと思う×2人	0	0
3	経営学科の卒業生を採用したいと思う×3人以上	0	0
4	経営学科の卒業生を採用したいと思う×人数は未定	2	2
	合計	4	4

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数 【所属学科を問わず採用】

No.	カテゴリ	件数/件	全体/人
1	所属学科を問わず採用したいと思う×1人	35	35
2	所属学科を問わず採用したいと思う×2人	20	40
3	所属学科を問わず採用したいと思う×3人以上	63	189
4	所属学科を問わず採用したいと思う×人数は未定	22	22
	合計	140	286

IV. 參考資料

進学需要調査関係

□アンケート協力依頼高等学校一覧（千葉県43校、茨城県3校）

No.	県名	区分	高等学校名	所在地	集計件数		
					2年生	1年生	計
1	千葉県	公立	千葉県立若松高等学校	千葉市若葉区若松町429	34	257	291
2	千葉県	公立	千葉県立行徳高等学校	千葉市市川市塩浜4-1-1	75	90	165
3	千葉県	公立	千葉県立浦安高等学校	千葉県浦安市海楽2-36-2	105	188	293
4	千葉県	公立	千葉県立松戸高等学校	千葉県松戸市中和倉590-1	206	263	469
5	千葉県	公立	千葉県立松戸南高等学校	千葉県松戸市紙敷1199	163	194	357
6	千葉県	公立	千葉県立四街道高等学校	千葉県四街道市鹿渡809-2	304	303	607
7	千葉県	公立	千葉県立下総高等学校	千葉県成田市名古屋247	16	24	40
8	千葉県	公立	千葉県立佐原白楊高等学校	千葉県香取市佐原1861	153	162	315
9	千葉県	公立	千葉県立一宮商業高等学校	千葉県長生郡一宮町一宮3287	140	94	234
10	千葉県	公立	千葉県立安房高等学校	千葉県館山市八幡385	222	—	222
11	千葉県	公立	千葉県立君津商業高等学校	千葉県富津市岩瀬1172	—	132	132
12	千葉県	公立	千葉県立袖ヶ浦高等学校	千葉県袖ヶ浦市神納530	109	189	298
13	千葉県	公立	千葉県立京葉高等学校	千葉市市原市島野222	98	90	188
14	千葉県	公立	松戸市立松戸高等学校	千葉県松戸市紙敷2-7-5	300	304	604
15	千葉県	公立	千葉県立生浜高等学校	千葉市中央区塩田町372	187	206	393
16	千葉県	公立	千葉県立佐倉西高等学校	千葉県佐倉市下志津263	117	168	285
17	千葉県	公立	千葉県立千城台高等学校	千葉市若葉区千城台西2-1-1	266	302	568
18	千葉県	公立	千葉県立松戸六実高等学校	千葉県松戸市六高台5-150-1	194	295	489
19	千葉県	公立	千葉県立八千代東高等学校	千葉県八千代市村上881-1	—	225	225
20	千葉県	公立	千葉県立船橋二和高等学校	千葉県船橋市二和西1-3-1	241	280	521
21	千葉県	公立	千葉県立成田北高等学校	千葉県成田市玉造5-1	37	73	110
22	千葉県	公立	千葉県立柏井高等学校	千葉市花見川区柏井町1452	235	160	395
23	千葉県	公立	千葉県立船橋法典高等学校	千葉県船橋市藤原4-1-1	58	90	148
24	千葉県	公立	千葉県立市川南高等学校	千葉市市川市高谷1509	—	290	290
25	千葉県	公立	千葉県立松戸向陽高等学校	千葉県松戸市秋山682	112	99	211
26	千葉県	公立	千葉県立流山南高等学校	千葉県流山市流山9-800-1	51	59	110
27	千葉県	公立	千葉県立佐倉南高等学校	千葉県佐倉市太田1956	22	51	73
28	千葉県	公立	千葉県立市原八幡高等学校	千葉市市原市八幡1877-1	179	212	391
29	千葉県	公立	千葉県立犢橋高等学校	千葉市花見川区千種町381-1	195	222	417
30	千葉県	公立	千葉県立船橋北高等学校	千葉県船橋市神保町133-1	171	133	304

□アンケート協力依頼高等学校一覧（千葉県43校、茨城県3校）

No.	県名	区分	高等学校名	所在地	集計件数		
					2年生	1年生	計
31	千葉県	公立	千葉県立四街道北高等学校	千葉県四街道市栗山1055-4	204	262	466
32	千葉県	公立	千葉県立富里高等学校	千葉県富里市七栄181-1	183	183	366
33	千葉県	私立	敬愛大学八日市場高等学校	千葉県匝瑳市八日市場口390	86	76	162
34	千葉県	私立	千葉敬愛高等学校	千葉県四街道市四街道1522	515	434	949
35	千葉県	私立	茂原北陵高等学校	千葉県茂原市吉井上128	132	153	285
36	千葉県	私立	千葉学芸高等学校	千葉県東金市田間1999	127	134	261
37	千葉県	私立	敬愛学園高等学校	千葉市稲毛区穴川1-5-21	300	445	745
38	千葉県	私立	我孫子二階堂高等学校	千葉県我孫子市久寺家479-1	—	108	108
39	千葉県	私立	横芝敬愛高等学校	千葉県山武郡横芝光町栗山4508	60	84	144
40	千葉県	私立	東京学館高等学校	千葉県印旛郡酒々井町伊篠21	354	399	753
41	千葉県	私立	東京学館船橋高等学校	千葉県船橋市豊富町577	193	191	384
42	千葉県	私立	明聖高等学校	千葉市中央区本千葉町10-23	201	120	321
43	千葉県	私立	桜林高等学校	千葉市若葉区桜木北1-17-32	115	131	246
44	茨城県	公立	茨城県立潮来高等学校	茨城県潮来市須賀3025	—	142	142
45	茨城県	公立	茨城県立神栖高等学校	茨城県神栖市高浜1468	114	117	231
46	茨城県	公立	茨城県立波崎柳川高等学校	茨城県神栖市柳川1603-1	66	40	106
合 計					6,640	8,174	14,814

敬愛大学 経済学部
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／2年生）

敬愛大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、経済学部の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、経済学部の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『敬愛大学 経済学部 概要』をご覧ください。設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

なお、本学経済学部経済学科・経営学科は2年進級時に学科選択制としているため、出願時においては、経済学部への出願となります。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 大学進学（4年制・6年制） | 2 短期大学進学 |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 |
| 5 その他（具体的に | ） |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|----------------|--------------|------|
| 1 経済学・経営学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | |
| 5 文学・史学・哲学関係 | 6 工学・理学関係 | |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 国際学関係 | 第2希望 |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 美術学・音楽学関係 | |
| 11 体育学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | |
| 13 看護学関係 | 14 その他（具体的に | ） |

問3 あなたは、敬愛大学の経済学部に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない |
|------------|------------|

問4 あなたは、敬愛大学の経済学部の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | |
|--|
| 1 受験を希望する（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む） |
| 2 受験を希望しない |

問5 あなたは、敬愛大学の経済学部合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 経済学科への進学を希望する | 2 経営学科への進学を希望する |
| 3 進学を希望しない | |

＜敬愛大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください＞

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

敬愛大学 経済学部
進学需要等に関するアンケート調査（高校生／1年生）

敬愛大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、経済学部の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、経済学部の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ使い、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『敬愛大学 経済学部 概要』をご覧いただいたうえで、設問の順に、該当する番号を直接回答欄にご記入ください。

なお、本学経済学部経済学科・経営学科は2年進級時に学科選択制としているため、出願時においては、経済学部への出願となります。

【回答欄】

問1 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 大学進学（4年制・6年制） | 2 短期大学進学 |
| 3 専門学校進学 | 4 就職 |
| 5 その他（具体的に | ） |

問2 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。

次の中から、第2希望まで選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | | |
|----------------|--------------|------|
| 1 経済学・経営学関係 | 2 教育学・保育学関係 | 第1希望 |
| 3 法学・政治学関係 | 4 社会学・福祉学関係 | |
| 5 文学・史学・哲学関係 | 6 工学・理学関係 | |
| 7 医学・歯学・薬学関係 | 8 国際学関係 | 第2希望 |
| 9 家政学・生活科学関係 | 10 美術学・音楽学関係 | |
| 11 体育学・スポーツ学関係 | 12 医療技術学関係 | |
| 13 看護学関係 | 14 その他（具体的に | ） |

問3 あなたは、敬愛大学の経済学部に興味・関心がありますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 興味・関心がある | 2 興味・関心がない |
|------------|------------|

問4 あなたは、敬愛大学の経済学部の受験を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | |
|--|
| 1 受験を希望する（学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜・共通テストを含む） |
| 2 受験を希望しない |

問5 あなたは、敬愛大学の経済学部合格した場合、進学を希望されますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 経済学科への進学を希望する | 2 経営学科への進学を希望する |
| 3 進学を希望しない | |

＜敬愛大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください＞

これで、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

敬愛大学 経済学部 概要

(経済学部 経済学科・経営学科の入学定員を変更します)

□ 学部・学科の概要 ※学生定員、変更時期については予定

* 学部学科：経済学部 経済学科 及び 経営学科

* 学生定員：経済学部 260名 (225名から変更予定)

経済学科 130名 (115名から変更予定)、経営学科130名 (110名から変更予定)

* 変更時期：令和6年4月

* 設置場所：千葉県千葉市稲毛区穴川1-5-21

* アクセス：JR稲毛駅東口より徒歩13分・バス5分 又は京成みどり台駅より徒歩20分

□ 教育研究上の目的

【経済学部】

* 経済学部では組織として研究対象とする中心的な学問分野を「経済学分野」として、経済学や経営学の理論を学び、市場取引の仕組みや市場における人々の行動を探究するとともに、実践を通じて現実の問題に応用する実学を身につける。

□ 養成する人材

【経済学部 経済学科】

* 経済学科では、内外の経済情勢を広く学び、経済学的思考力と豊かな人間性を身につけ、建学の精神である「敬天愛人」に基づき社会の発展に貢献できる人材を養成する。

【経済学部 経営学科】

* 経営学科では、グローバルに展開する企業や地域密着型の企業で活躍できる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経営学に関する幅広い知識とともに、実践的な現場対応力も身につけ、グローバルとローカルという2つの地域的視点で組織をマネジメントできる人材を養成する。

□ 到達目標

【経済学部 経済学科】

* 経済学科では、養成する人材の目的を達成するため、以下の到達目標を定め、この目標を達成する。

- 1 社会科学を基軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。
- 2 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を身につける。
- 3 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済学的な思考に基づく適切な判断力を身につける。
- 4 社会問題への関心と創造力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行う力を身につける。

【経済学部 経営学科】

* 経営学科では、養成する人材の目的を達成するため、以下の到達目標を定め、この目標を達成する。

- 1 社会人として必要とされる健全な倫理観と一般的教養を身につけ行動できる。
- 2 経営学の基本的な知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる。
- 3 コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身につけ行動できる。
- 4 思考・判断・実践する力を身につけた企業人として変化に対応する力を身につける。
- 5 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける。

□ 想定される卒業後の進路

* 卒業後の進路としては、地域企業等の事業経営者、企業や自治体など営利・非営利の事業体に所属し、経営活動の管理や運営をはじめ、諸課題の解決、新規事業の企画や開発などに携わるとともに、将来的に中核的な管理職者となることを期待されます。

□ 学費 ※近隣の私立大学の学費との比較 (日本私立大学団体連合会 令和3年度 学生納付金調査による)

* 敬愛大学	経済学部 経済学科・経営学科とも	1,280,000円 (入学金250,000円 授業料等1,030,000円)
* 千葉商科大学	商経学部 経済学科・経営学科とも	1,245,000円 (入学金185,000円 授業料等1,060,000円)
* 千葉経済大学	経済学部 経済学科・経営学科とも	1,207,000円 (入学金210,000円 授業料等 997,000円)
* 麗澤大学	経済学部 経済学科・経営学科とも	1,390,000円 (入学金260,000円 授業料等1,130,000円)

人材需要調査関係

□アンケート協力依頼民間企業等一覧（回答件数158件）

No.	企業名等	No.	企業名等
1	株式会社 ノジマ	41	株式会社 ティエフケー
2	千葉敬愛学園	42	株式会社 三協リール
3	株式会社 ヤマナカゴーキン	43	株式会社 スリーライト
4	株式会社 ソフ	44	株式会社 広域高速ネット二九六
5	ブリヂストンタイヤサービス東日本株式会社	45	大阪富士工業株式会社
6	株式会社 ホンダカーズ東葛	46	総合警備保障株式会社
7	株式会社 小出口ロール鐵工所	47	株式会社 カンツール
8	三井E&Sシステム技研株式会社	48	ちばぎん証券株式会社
9	株式会社 スズキ自販千葉	49	ウエルシア薬局(株)
10	株式会社 千葉銀行	50	城北信用金庫
11	株式会社 ネクステージ	51	千葉トヨタ自動車株式会社
12	秀工業株式会社	52	株式会社 ナリタヤ
13	亀有信用金庫	53	株式会社 アプリケーションプロダクト
14	株式会社 サンリツ	54	株式会社 G-7・オート・サービス 関東カンパニー
15	株式会社 新昭和	55	社会福祉法人泉寿会
16	株式会社 美光商会	56	ハイテックシステム株式会社
17	株式会社 ジャルセールス	57	千葉共同サイロ株式会社
18	日神不動産株式会社	58	株式会社 MAXISエデュケーション
19	東亜外業株式会社千葉事業所	59	株式会社 成田デンタル
20	三建設備工業	60	株式会社 東天紅
21	株式会社 サイサン	61	株式会社 NSD
22	株式会社 キッツ	62	株式会社 アサンテ
23	アシザワ・ファインテック株式会社	63	株式会社 ナリコー
24	岩淵薬品株式会社	64	株式会社 リエイ
25	バインド・ギアコーポレーション株式会社	65	セコムジャスティック株式会社
26	田中商事株式会社	66	株式会社 エムエスデー
27	株式会社 協同工芸社	67	サンヨー航空サービス株式会社
28	株式会社 HBA	68	株式会社 江東微生物研究所
29	サコス株式会社	69	千葉トヨペット株式会社
30	日栄インテック株式会社	70	デンタルサポート株式会社
31	日本システム技術株式会社	71	サンコーインダストリー株式会社
32	株式会社 近鉄コスモス	72	株式会社 シー・エス・ランバー
33	株式会社 グルメ杵屋	73	株式会社 あらた
34	株式会社 ドームユナイテッド	74	日石レオン株式会社
35	日本瓦斯株式会社(ニチガス)	75	社会福祉法人生活クラブ(風の村)
36	TOTOバスクリエイト株式会社	76	株式会社 エコーパートナーズ
37	トヨタカローラ千葉株式会社	77	新日本設備株式会社
38	警視庁	78	都機工株式会社
39	株式会社 千葉ステーションビル	79	株式会社 日本保安
40	マツモト産業株式会社	80	株式会社 サンドラッグ

□アンケート協力依頼民間企業等一覧（回答件数158件）

No.	企業名等	No.	企業名等
81	株式会社 タイヨー	121	セントラル警備保障株式会社
82	富士電機ITソリューション株式会社	122	株式会社 HMKロジサービス
83	株式会社 ウチダテクノ	123	ユナイテ株式会社
84	四国紙商事株式会社	124	名鉄観光サービス株式会社
85	富士ソフト株式会社	125	新日本建設株式会社
86	株式会社 帝国ホテル	126	サンコー・エア・セルテック株式会社
87	市川農業協同組合	127	ネットヨタ千葉株式会社
88	銚子信用金庫	128	日新化工株式会社
89	千葉信用金庫	129	タキヒヨー株式会社
90	館山信用金庫	130	株式会社 千葉薬品
91	株式会社 千葉興業銀行	131	株式会社 ワールド
92	米屋株式会社	132	国際空港上屋株式会社
93	株式会社 JALナビア	133	トブレック株式会社
94	株式会社 エアーポートカーゴサービス	134	株式会社 やまと
95	千葉窯業株式会社	135	千葉交通株式会社
96	ユアサ・フナシヨク株式会社	136	株式会社 サンコウ・トータル・サービス
97	西尾レントオール株式会社	137	株式会社 スズキ自販京葉
98	ホテル日航成田(有限会社成田ホテルマネジメント)	138	株式会社 ホンダカーズ千葉
99	コスモ企業株式会社	139	株式会社 ヒロハマ
100	岩田産業株式会社	140	JALグランドサービス
101	スミテック株式会社	141	一般社団法人 千葉県経営者協会
102	渡辺パイプ株式会社	142	株式会社 ブロンコビリー
103	ANA成田エアポートサービス株式会社	143	アート引越センター株式会社
104	株式会社 スタジオアリス	144	株式会社 マイナビ
105	吉野ゴム工業株式会社	145	空間情報サービス株式会社
106	株式会社 ザ・マンハッタン	146	株式会社 高品ハウジング
107	塚本総業(株)	147	ビー・トランセホールディングス株式会社
108	東京納品代行株式会社	148	カネ美食品株式会社
109	株式会社 扇港電機	149	株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
110	竹村電気工事株式会社	150	銚子商工信用組合
111	株式会社 第一コンピュータサービス	151	生活協同組合コープみらい
112	日本空港サービス株式会社	152	株式会社 扇港電機
113	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院	153	君津市農業協同組合
114	株式会社 赤門	154	京成トラベルサービス株式会社
115	国際通信企画株式会社	155	株式会社 アーバン
116	タイハイ株式会社	156	国際自動車株式会社
117	トヨタモビリティ東京株式会社	157	松村石油株式会社
118	株式会社 アーキテクト・ディペロッパー	158	東京ベイ信用金庫
119	トランコム株式会社		
120	株式会社 エレコン		

敬愛大学 経済学部人材需要に関するアンケート調査

敬愛大学では、進学希望者のニーズに積極的に応えるため、経済学部の入学定員の見直しを検討しております。このアンケート調査は、人事・採用ご担当の皆様からのご意見をお聞きし、経済学部の入学定員の見直しに向けての基礎資料とするものですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用いることとしており、個別の回答内容について公開したりすることはありません。

回答は、別紙の『敬愛大学 経済学部 概要』をご覧ください。設問の順に選択してください。

...

* 必須

1. 貴社の所在地について、お尋ねいたします。*

千葉県

東京都

神奈川県

その他

2. 今後の貴社における人材の採用見込について、お尋ねいたします。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。*

増加すると思う

増加すると思わない

3. 敬愛大学の経済学部で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。*

必要性を感じる

必要性を感じない

4. 敬愛大学の経済学部で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。*

(1) 経済学科の卒業生を採用したいと思う

(2) 経営学科の卒業生を採用したいと思う

(3) 所属の学科を問わず採用したいと思う

(4) 採用したいと思わない

5. 質問4. で(1), (2), (3)と回答された方のみ、お答えください。敬愛大学の経済学部で学んだ卒業生を採用する場合、単年度あたりの採用見込み人数について、どのようにお考えになりますか。次の中から一つだけ選んで、ご回答ください。

- 1人
- 2人
- 3人以上
- 人数は未定

6. 敬愛大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

回答を入力してください

7. 貴社名をご記入ください。*

回答を入力してください

8. ご回答者のお名前をご記入ください。*

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

回答を入力してください

送信

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

Powered by Microsoft Forms |

このフォームの所有者は、応答データの使用方法についてのプライバシーに関する声明を提供していません。個人情報や機密情報を記載しないでください。

[利用規約](#)

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	ナカヤマ ユキオ 中山 幸夫 <令和3年4月>		文学修士		敬愛大学学長 (令和3年4月～令和6年3月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。